

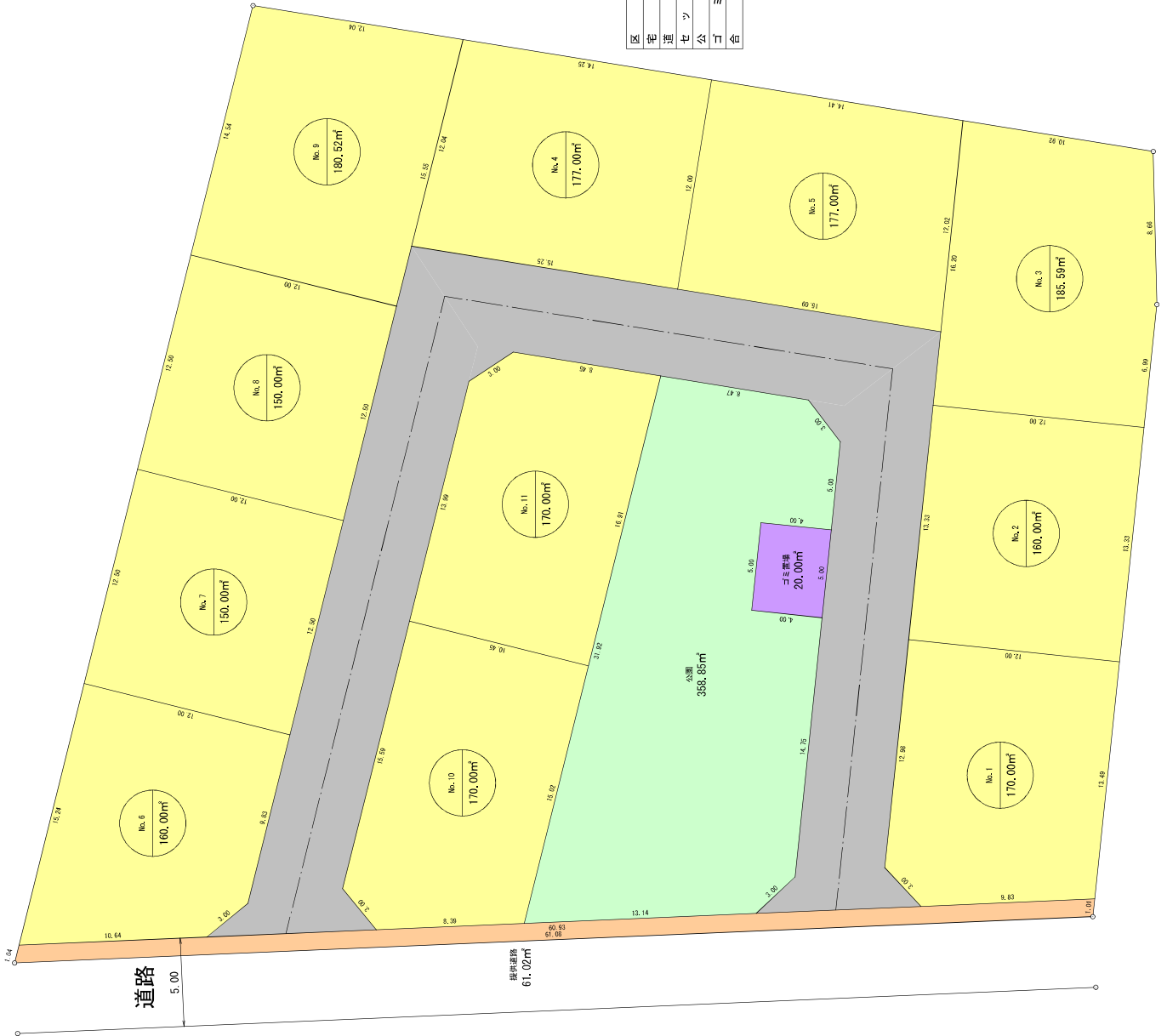
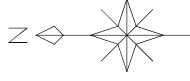
# 宅地割り計画の図面作成

座標・地番を読み込み、宅地割り計画で3パターンの計画データを入力します。

その後、宅地割り計画データを基に図面を自動作成して編集する流れで解説します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。





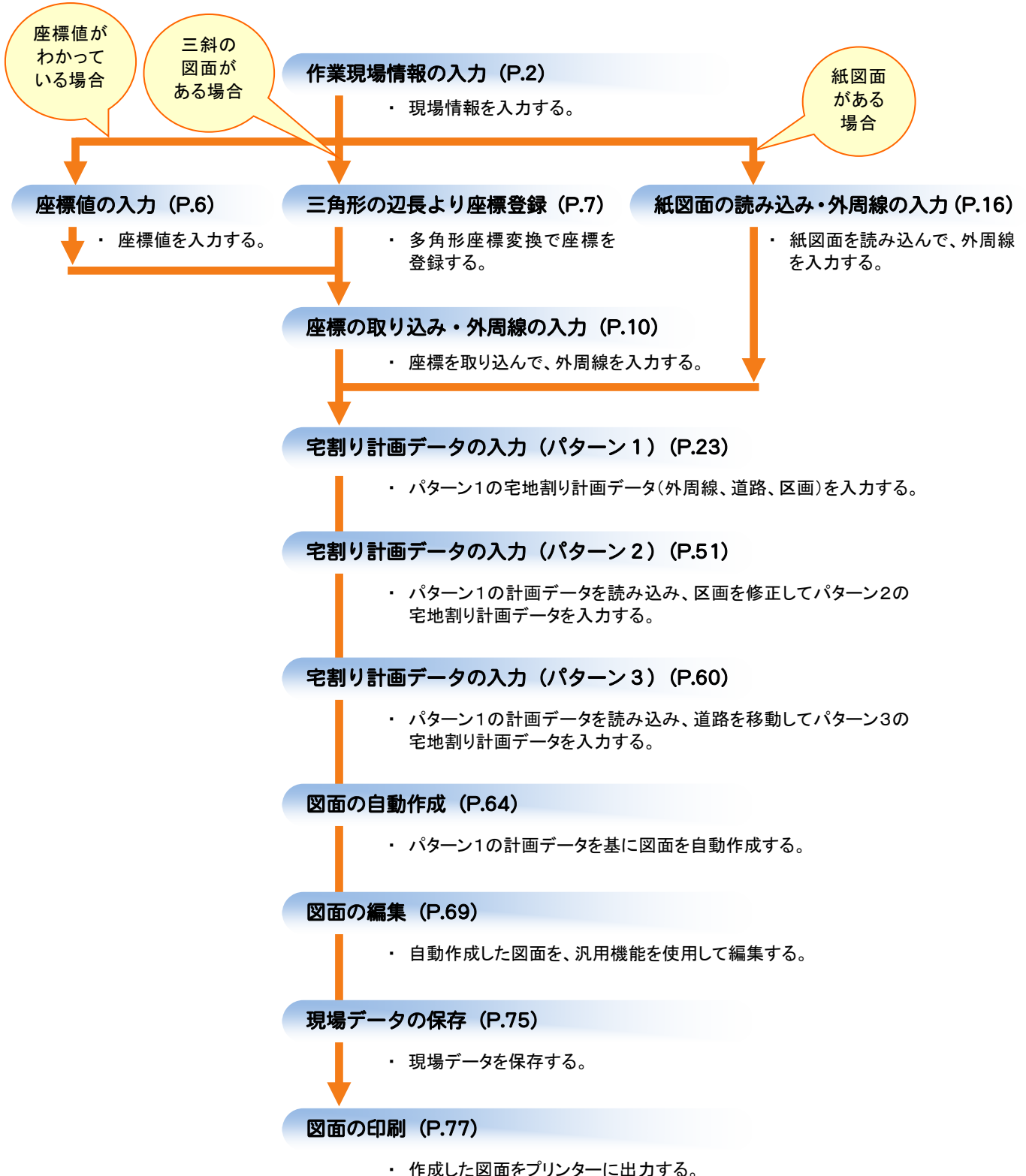
区分	面積	面積 (坪)	比率	率色	別備	考
空地	1890.11m <sup>2</sup>	559.65坪	66.75%			
道路	481.63m <sup>2</sup>	145.69坪	17.38%			
セットバック	61.02m <sup>2</sup>	18.45坪	2.20%			
公園	358.85m <sup>2</sup>	108.55坪	12.95%			
コトニ準拠	20.00m <sup>2</sup>	6.05坪	0.72%			
合計	2771.61m <sup>2</sup>	838.41坪	100.00%			

1. 入力例の説明	1
2. 作業現場情報の入力	2
2-1 [現場管理]を起動する	2
2-2 工区を作成する	3
2-3 現場を作成する	4
3. 座標値がわかっている場合・・・座標値の入力	6
3-1 座標値を入力する	6
4. 三斜の図面がある場合・・・ 三角形の辺長より座標登録	7
4-1 [多角形座標変換]でデータを入力する	7
4-2 座標を登録する	9
4-3 [多角形座標変換]を終了する	9
5. 座標の取り込み・外周線の入力	10
5-1 [宅地割り計画]を起動する	10
5-2 入力値の丸めなどを設定する	10
5-3 区画属性マスターを設定する	11
5-4 区画名、区画面積、辺長表示を設定する	11
5-5 座標登録したデータを取り込む	12
5-6 外周線を入力する	14
6. 紙図面がある場合・・・ 紙図面の読み込み・外周線の入力	16
6-1 紙図面の読み込み	16
6-2 外周線を入力する	20
6-3 縮小された紙図面を読み込む場合	21
7. 宅地割り計画データの入力(パターン1)	23
7-1 セットバックを入力する	23
7-2 道路を入力する	25
7-3 分割線入力で区画を分割する	33
7-4 定面積分割で区画を分割する	34
7-5 ゴミ置場区画を分割する	44
7-6 区画情報を設定する	46
7-7 [宅地割り計画]を終了する	50
7-8 作業データ名を変更する	50

8. 宅地割り計画データの入力(パターン2)	51
8-1 [宅地割り計画]を起動する	51
8-2 他の計画データを読み込む	52
8-3 パターン2の区画を入力する	53
8-4 区画の名称の設定する	58
8-5 [宅地割り計画]を終了する	59
8-6 作業データ名を変更する	59
9. 宅地割り計画データの入力(パターン3)	60
9-1 [宅地割り計画]を起動する	60
9-2 他の計画データを読み込む	61
9-3 道路を移動する	62
9-4 [宅地割り計画]を終了する	63
9-5 作業データ名を変更する	63
10. 図面の自動作成	64
10-1 [宅地割り計画]を起動する	64
10-2 図面のスタイルを設定する	65
10-3 図面を配置する	66
11. 図面の編集	69
11-1 線を入力する	69
11-2 文字を入力する	70
11-3 寸法線を入力する	71
11-4 重複文字を検索・移動する	72
11-5 表を移動する	73
11-6 方位マークを入力する	74
12. 現場データの保存	75
12-1 現場データを保存する	75
13. 図面の印刷	77
13-1 図面を印刷する	77

# 1 入力例の説明

本章では、下図の流れ図に従い、3つのパターンの宅地割り計画データを入力して、図面を作成する操作を解説します。パターン2のデータはパターン1のデータを読み込み、区画を修正して作成します。パターン3のデータはパターン1のデータを読み込み、道路を移動して作成します。図面はパターン1の宅地割り計画データを基に作成する操作を解説します。



# 2 作業現場情報の入力

[BLUETREND XA Ver.7 現場管理]では、BLUETREND XAで作成したデータを管理します。作業現場情報を詳細に入力することで、複数の現場(または図面)が管理しやすくなります。また、複数の現場をまとめた「工区」という単位で管理することもできます。工区は、作業現場の地区や時期などの条件によって分類することをお勧めします。

2

作業現場情報の入力

## 2-1 [現場管理]を起動する

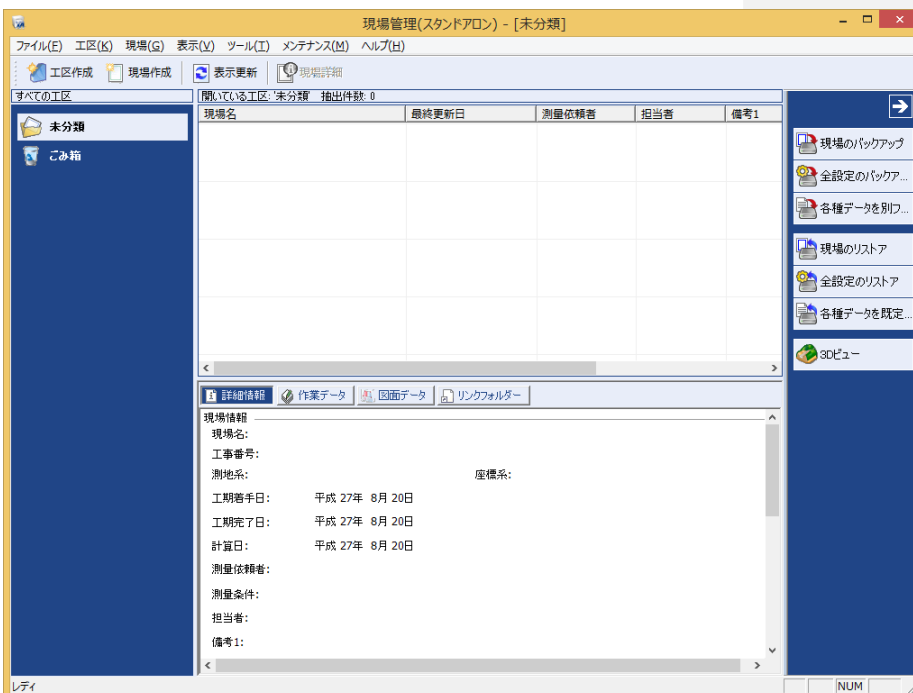
[BLUETREND XA Ver.7 現場管理]を起動します。



1 デスクトップ画面で[BLUETREND XA Ver.7 現場管理]をダブルクリックします。



Windows7をお使いの方は、画面左下の[スタートボタン]—[すべてのプログラム]—[FukuiComputerApplication]—[BLUETREND XA Ver.7 現場管理]をクリックして起動することができます。



関連のある複数の現場データをまとめる単位として[工区]があり、親工区とサブ工区に分けて現場データを階層管理することもできます。

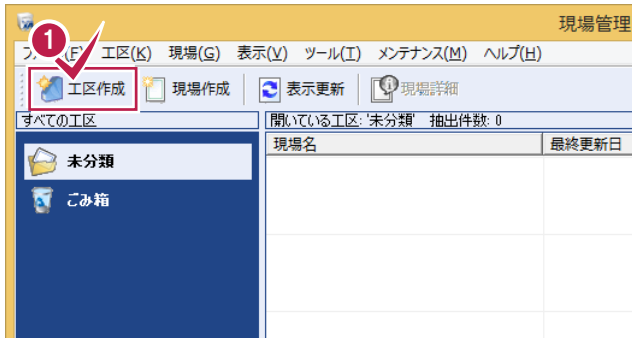
工区には名称をつけることができ、作成できる工区数にも制限はありません。(ハードディスク容量に依存)

工区で現場を分けることや現場情報を詳細に入力することにより、現場データを管理しやすくなります。

(工区の使用例：担当者別、発注者別、地区別、年度別、月別)

## 注意

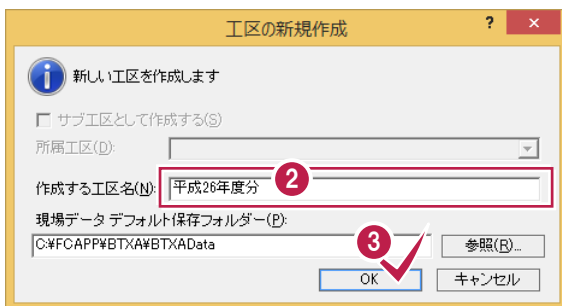
現場の詳細は現場データを少なくとも1度は保存しなければ設定できません。



1 [工区作成]をクリックします。

2 [工区名]を入力します。

3 [OK]をクリックします。

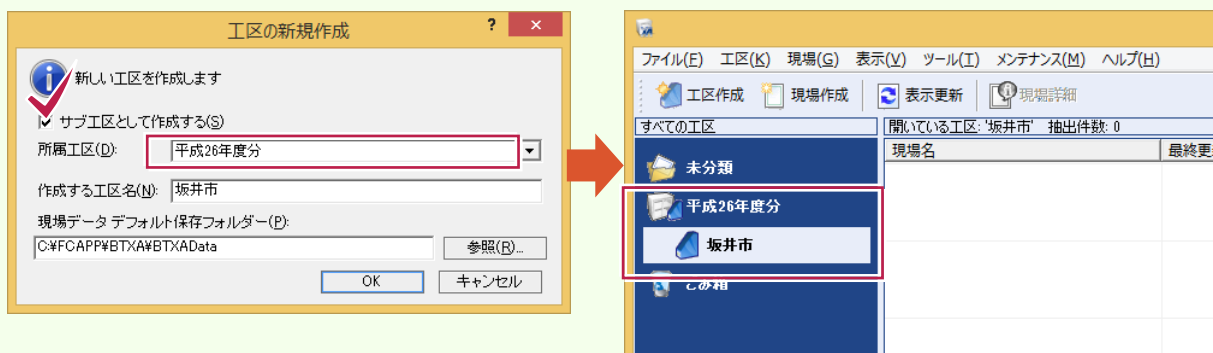


## メモ

## 工区の階層化について

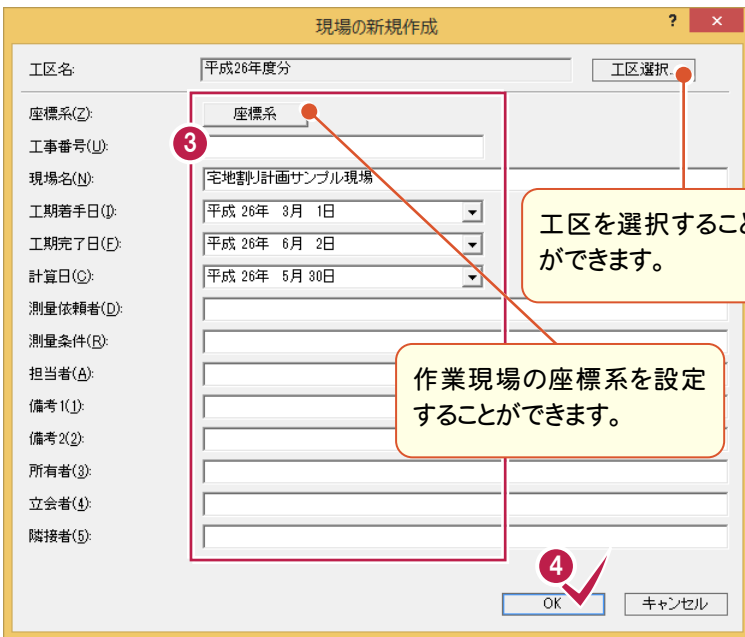
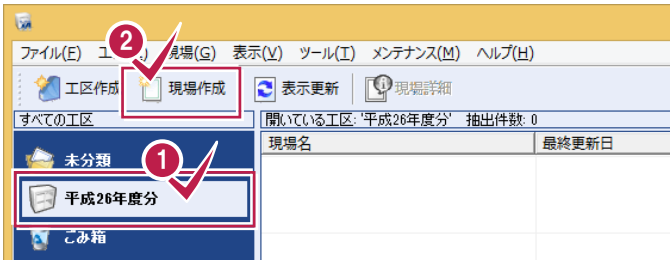
[サブ工区として作成する]にチェックを入れて、所属工区で親工区を選択することにより、親工区とサブ工区の2階層で仕分けすることができます。工区数が多くなった場合でも管理がしやすくなります。

(下図の例では、親工区を「平成 26 年度分」、サブ工区を「坂井市」と設定しています。)



## 2-3 現場を作成する

現場を作成します。



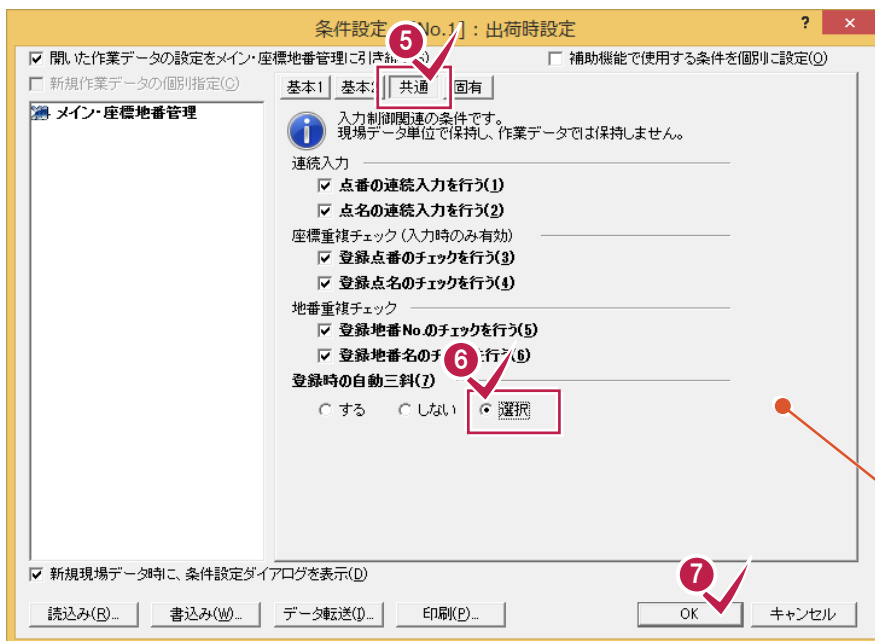
- 1 入力した工区をクリックします。  
ここでは工区を新規作成したため、現時点では現場が存在しません。
- 2 [現場作成]のアイコンをクリックします。
- 3 [現場名]など、必要な項目を入力します。
- 4 [OK]をクリックします。  
BLUETREND XA の作業ウィンドウがアクティブになり、[条件設定]ダイアログが表示されます。

**メモ** 起動モードについて

サーバーインストールした場合、ここで現場占有か現場共有かを選択することが可能です。詳細は[マニュアル]の[入門編]にある「共同作業の運用方法」を参照してください。







5 [共通]タブをクリックします。

6 「登録時の自動三斜」の  
[選択]をオンにします。

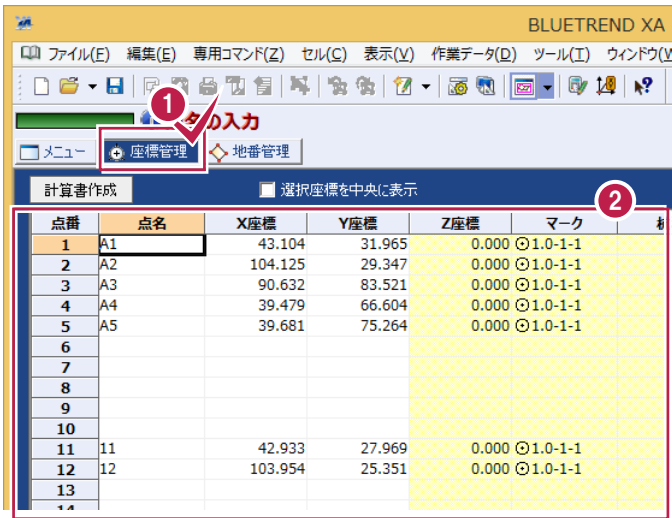
7 [OK]をクリックします。

[条件設定]についての詳細  
はヘルプを参照してください。

# 3 座標値がわかっている場合・・・ 座標値の入力

座標値がわかっている場合は[座標管理]で座標値を入力します。

## 3-1 座標値を入力する



- 1 [座標管理]タブをクリックします。
- 2 点名、X座標、Y座標を入力します。

「座標値の入力」を終了したら、「座標値の取り込み・外周線の入力」(P.10)へお進みください。

3 座標値がわかっている場合・・・座標値の入力

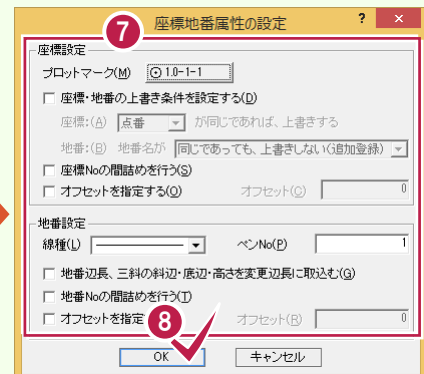
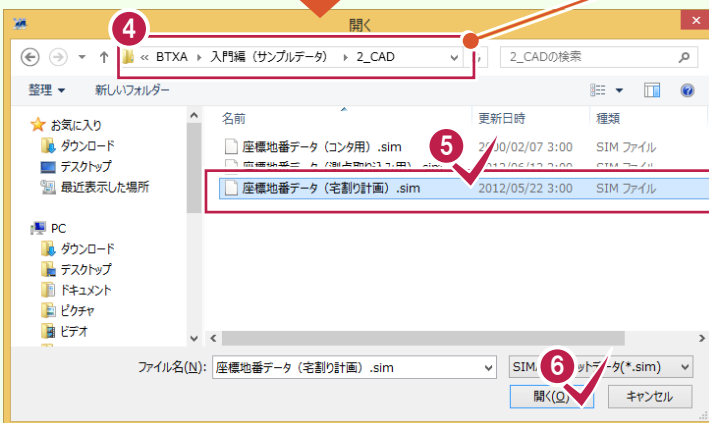


### SIMA データの読み込みについて

弊社で用意した SIMA データ「座標地番データ(宅割り計画).sim」を読み込んで座標を入力することもできます。

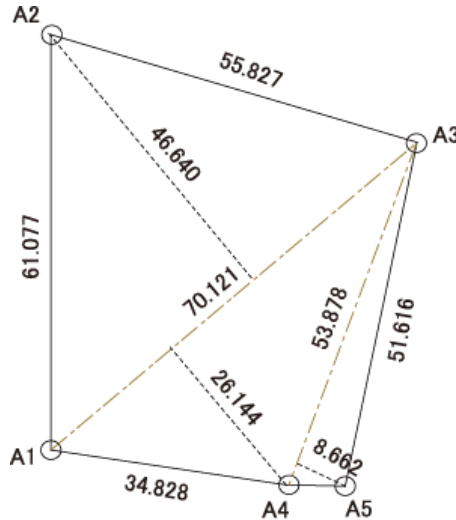


「座標地番データ(宅割り計画).sim」は [マニュアル]の[入門編(サンプルデータ)]にあります。



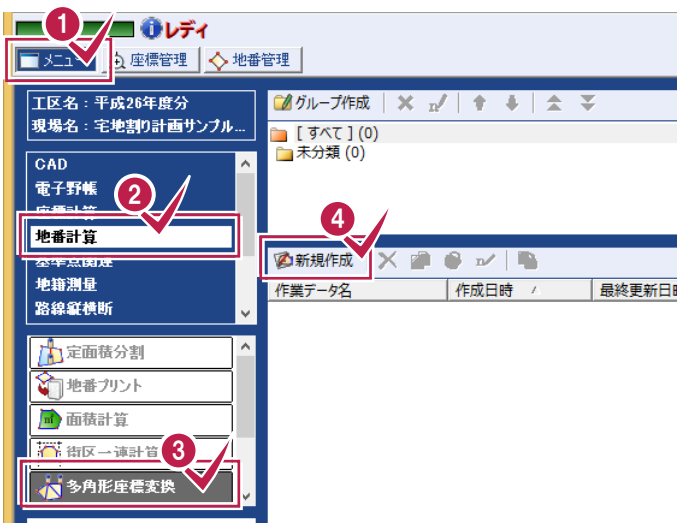
# 4 三斜の図面がある場合・・・ 三角形の辺長より座標登録

座標値がなく三角形の辺長だけわかっている場合は、2円の交点の計算を利用して、連続的に座標値に変換します。入力例では、下図の三斜図面から座標を作成します。

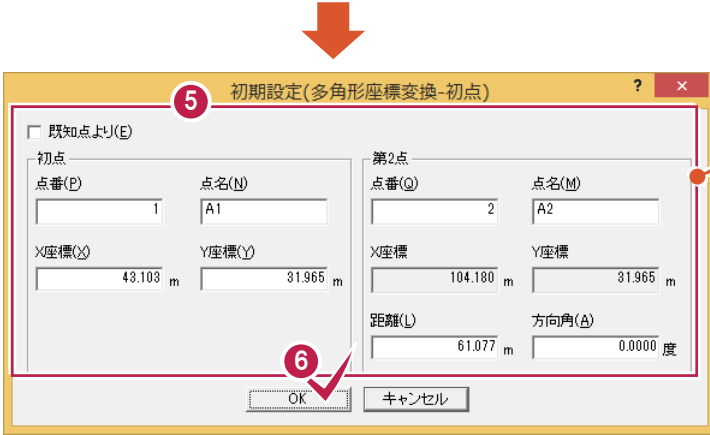


4 三斜の図面がある場合・・・三角形の辺長より座標登録

## 4-1 [多角形座標変換]でデータを入力する



- 1 [メニュー]をクリックします。
- 2 [地番計算]をクリックします。
- 3 [多角形座標変換]をクリックします。
- 4 [新規作成]をクリックします。
- 5 初点の座標と2点目の点、2点目までの距離と方向角を入力して、入力の基準を決めます。
- 6 [OK]をクリックします。



入力例では下記のように入力します。

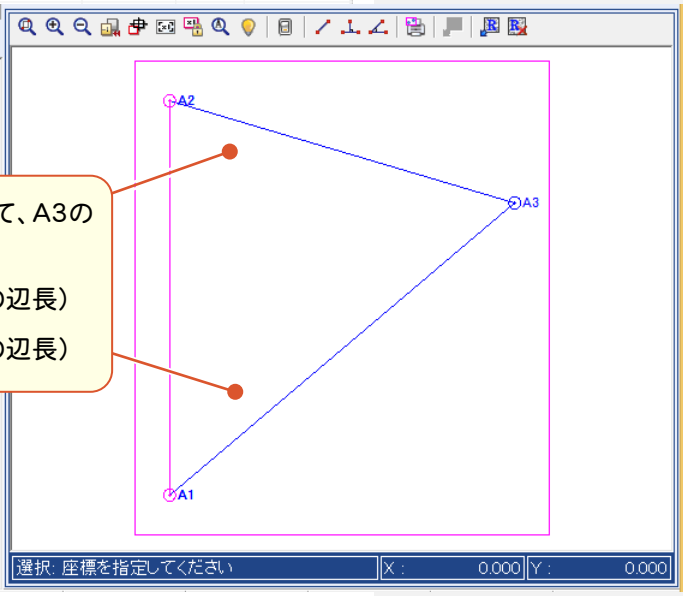
[初点]の[点番]:「1」、[点名]:「A1」、  
[X座標]:「43.103」、[Y座標]:「31.965」  
(点名は入力しなくても先に進めます。)

[第2点]の[点番]:「2」、[点名]:「A2」  
[距離]:「61.077」、[角度]:「0」  
(点名は入力しなくても先に進めます。距離、方向角は、縦軸の距離を入力した場合は「0」、横軸の場合は「90」と入力した方がわかりやすいです。)

No.	P1点番	P1点名	P2点番	P2点名	P1距離	P2距離	登録点番	登録点名
1	1	A1	2	A2	70.121	55.827		A3
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

- 7 [P1距離][P2距離]を入力します。
- 8 [登録点名]に「A3」と入力します。

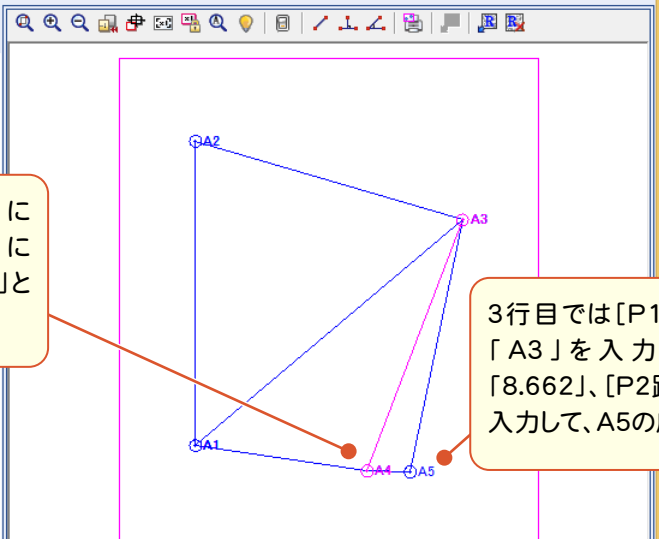
入力例では下記のように入力して、A3の座標値を求めます。  
 [P1距離]:「70.121」(A1-A3の辺長)  
 [P2距離]:「55.827」(A2-A3の辺長)



No.	P1点番	P1点名	P2点番	P2点名	P1距離	P2距離	登録点番	登録点名
1	1	A1	2	A2	70.121	55.827	3	A3
2	1	A1	3	A3	34.828	53.878	4	A4
3	4	A4	3	A3	8.662	51.616	5	A5
4								
5								
6								
7								
8								
9								

- 9 2行目からは、三角形を作成する基準の2点を入力して、入力した点からの距離を入力します。

2行目では[P1]に「A1」、[P2]に「A3」を入力し、[P1距離]に「34.828」、[P2距離]に「53.878」と入力して、A4の座標値を求めます。



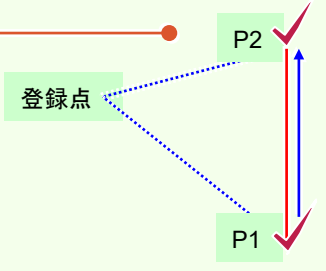
3行目では[P1]に「A4」、[P2]に「A3」を入力し、[P1距離]に「8.662」、[P2距離]に「51.616」と入力して、A5の座標値を求めます。



距離の入力について

登録点が P1 から P2 へ向かう進行方向に対して左側にある場合、P2 からの距離はマイナスをつけて入力してください。

この場合、進行方向に対して左側にあるので、P2からの距離をマイナスで入力します。

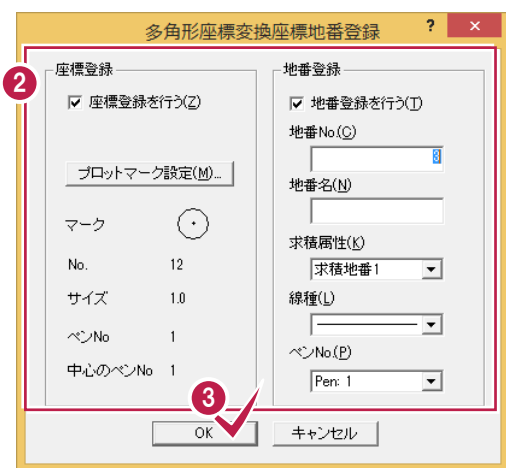


## 4-2 座標を登録する

多角形座標変換で求めた座標を登録します。



1 [登録]をクリックします。



2 登録する座標のマーク、地番名などを設定します。

3 [OK]をクリックします。

## 4-3 [多角形座標変換]を終了する

多角形座標変換で求めた座標を登録します。



1 [データクローズ]をクリックします。  
[多角形座標変換]ウィンドウが閉じ、メインメニューへ戻ります。

「三角形の辺長より座標登録」を終了したら、「座標値の取り込み・外周線の入力」(P.10)へお進みください。

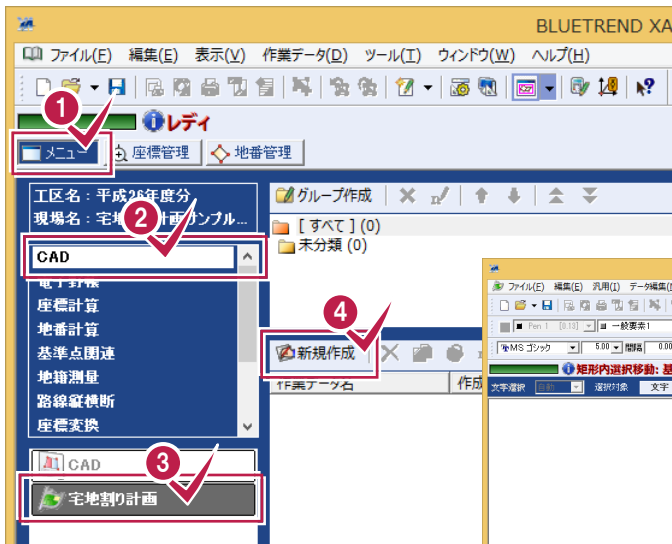
登録された座標から面積を計算(直角座標法)するため、底辺と高さから算出する三斜法との面積に誤差が生じます。

面積を合わせたい場合は、「座標値の取り込み・外周線の入力」で外周線入力後、外周線で囲まれた領域を面積調整します。

# 5 座標の取り込み・外周線の入力

[宅地割り計画]で登録した座標値を取り込み、外周線を入力します。

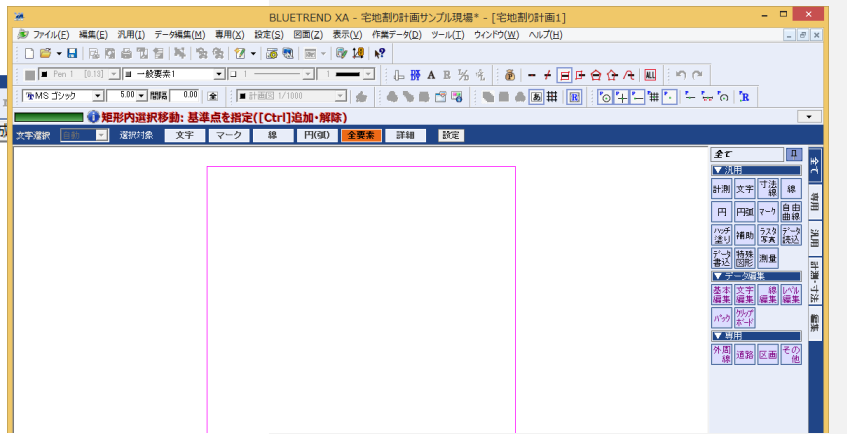
## 5-1 [宅地割り計画]を起動する



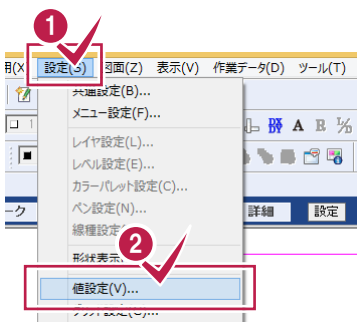
1 [メニュー]をクリックします。

2 3 4

[CAD] - [宅地割り計画] - [新規作成] をクリックします。



## 5-1 入力値の丸めなどを設定する

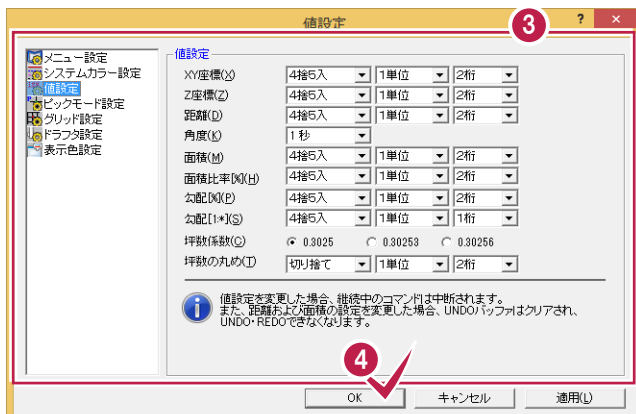


1 2

[設定] - [値設定] をクリックします。

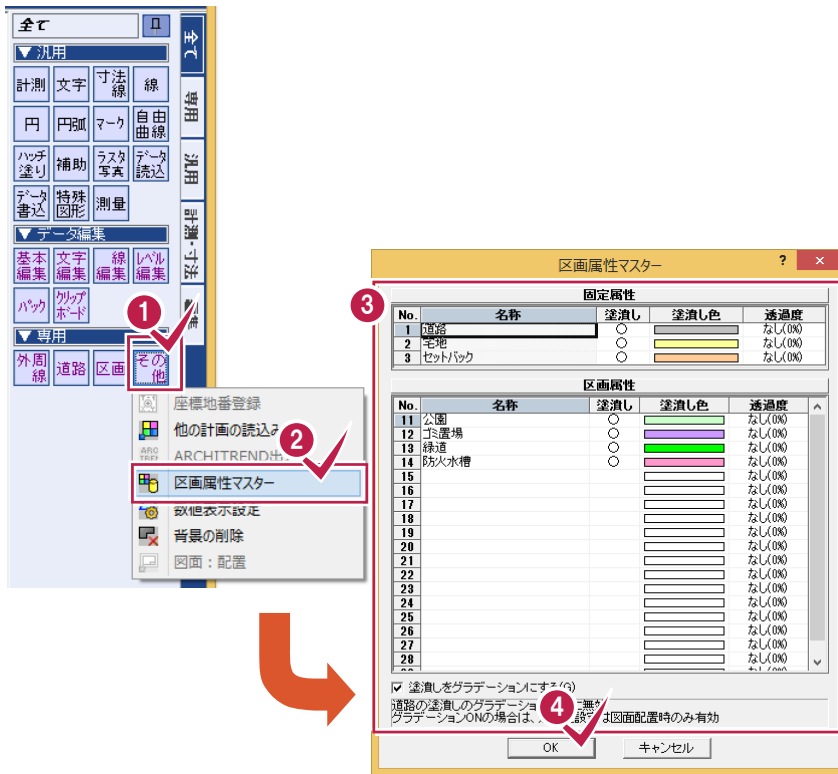
3 4

座標、角度、面積、勾配などの丸めを設定して、[OK]をクリックします。



## 5-3 区画属性マスターを設定する

区画属性の名称、塗潰しの有無、塗潰し色、透過度を設定します。

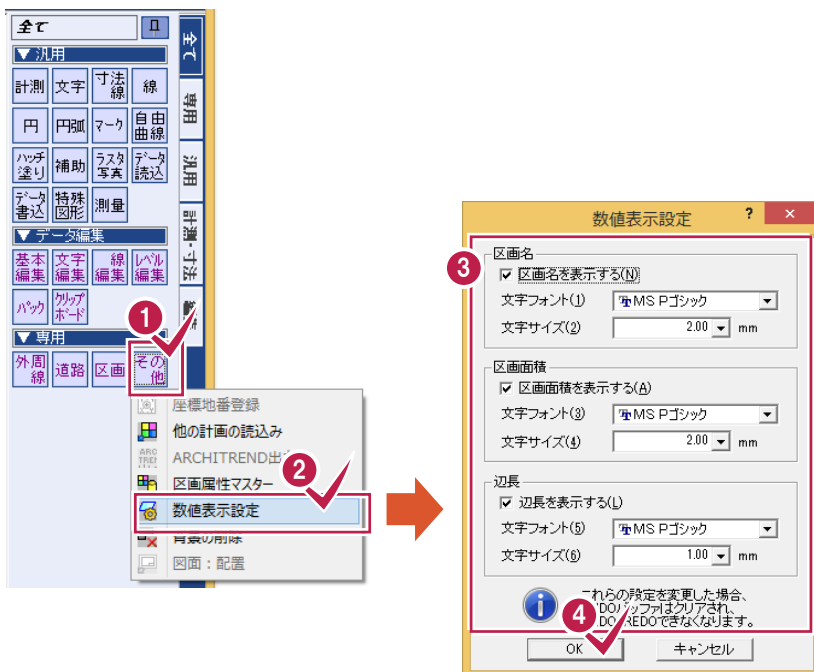


- 1 [その他]をクリックします。
- 2 [区画属性マスター]をクリックします。
- 3 区画属性の名称、塗潰しの有無、塗潰し色、透過度を設定します。
- 4 [OK]をクリックします。

5 座標の取り込み・外周線の入力

## 5-4 区画名、区画面積、辺長表示を設定する

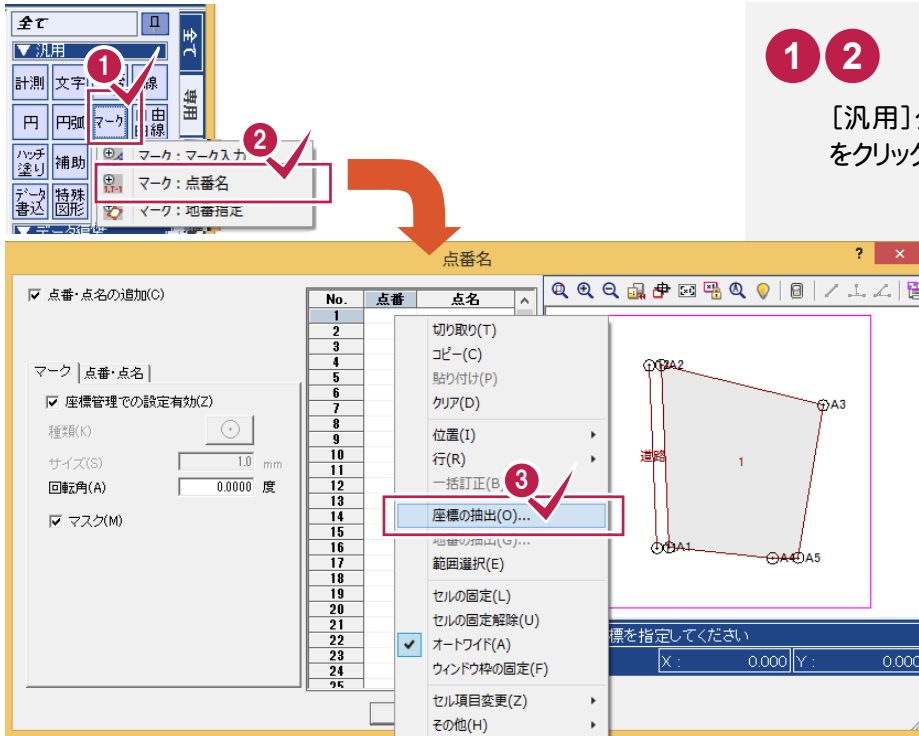
区画名、区画面積、辺長の表示を設定します。



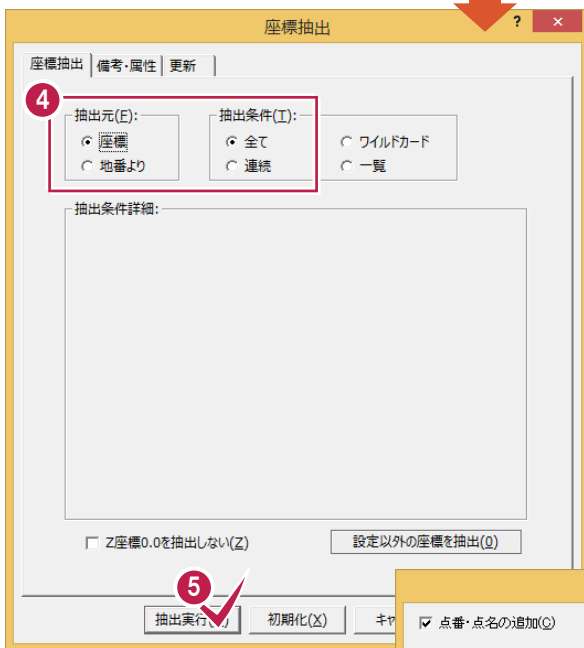
- 1 [その他]をクリックします。
- 2 [数値表示設定]をクリックします。
- 3 [表示する項目のチェックをオンにして、表示文字列のフォント、サイズを設定します。]
- 4 [OK]をクリックします。

## 5-5 座標登録したデータを取り込む

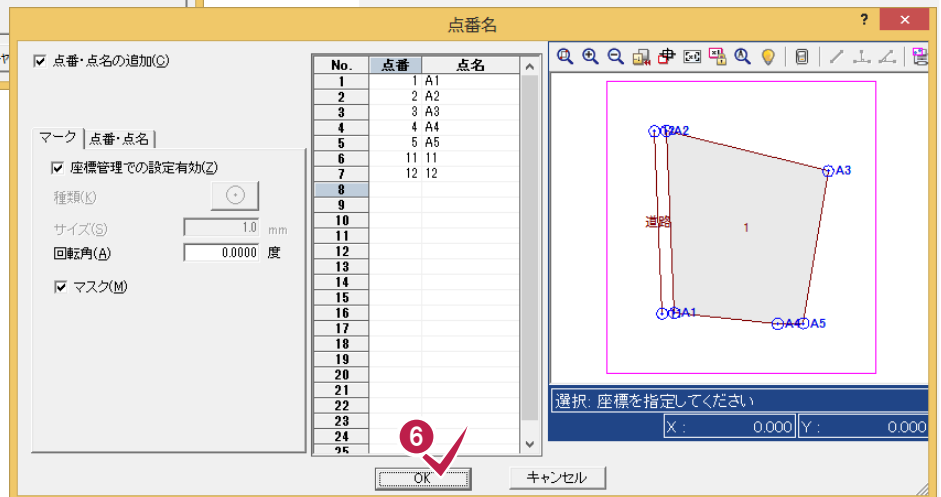
[座標管理]に登録されているデータを取り込みます。



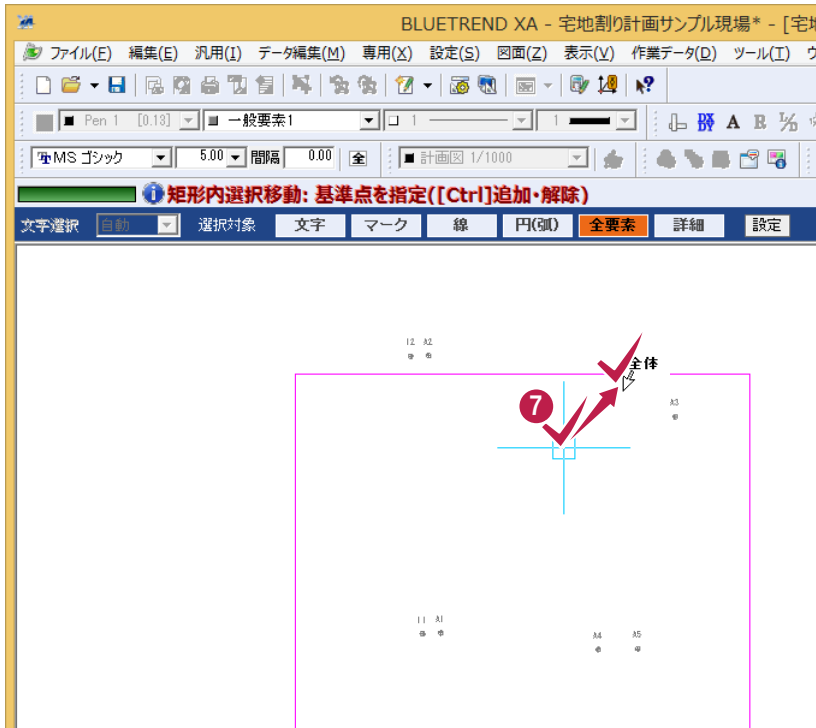
- 1
  - 2
- [汎用]グループの[マーク]—[点番号]をクリックします。



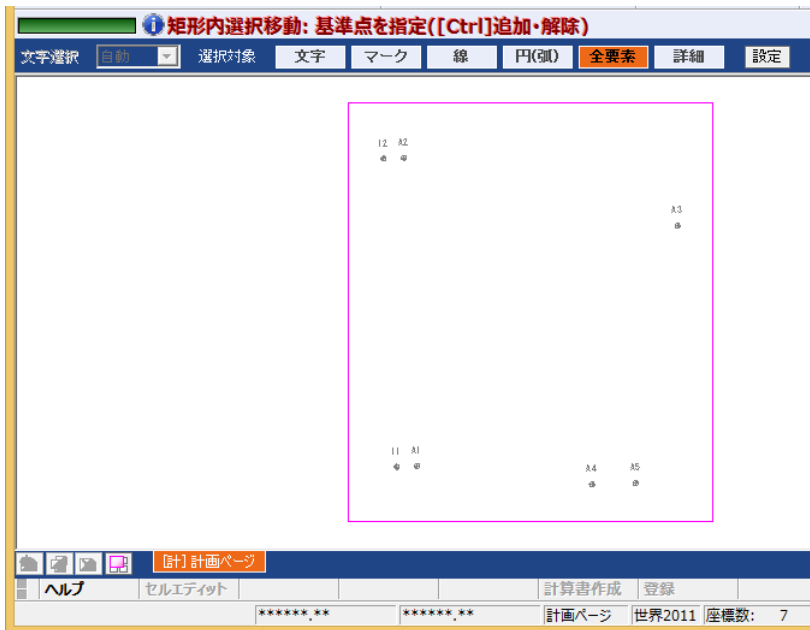
- 3
  - 4
  - 5
  - 6
- セル上で右クリックして[座標の抽出]をクリックします。
- [抽出元]で[座標]、[抽出条件]で[全て]が選択されていることを確認します。
- [抽出実行]をクリックします。
- [OK]をクリックします。  
すべての座標データが取り込まれます。







**7** 右上方向にマウスの両ボタンをドラッグ&ドロップします。全体が表示されます



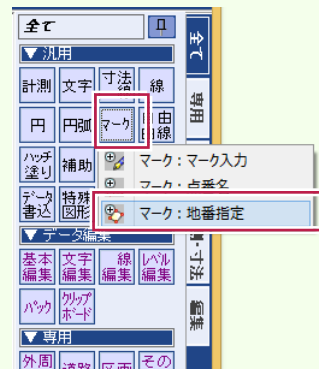
5

座標の取り込み・外周線の入力



### メモ 地番登録したデータの取り込み

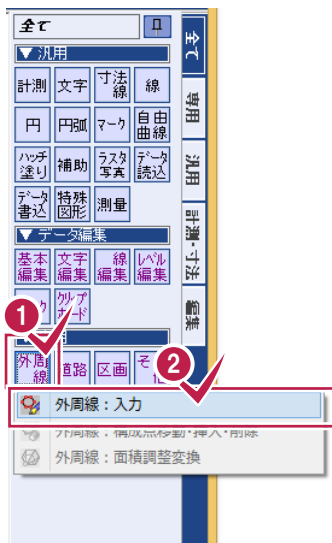
地番登録したデータは、[汎用]グループの[マーク]-[地番指定]で取り込むことができます。



# 5-6

## 外周線を入力する

入力したマークより外周線を入力します。外周線で囲まれた領域は区画になります。



1 [外周線]をクリックします。

2 [入力]をクリックします。

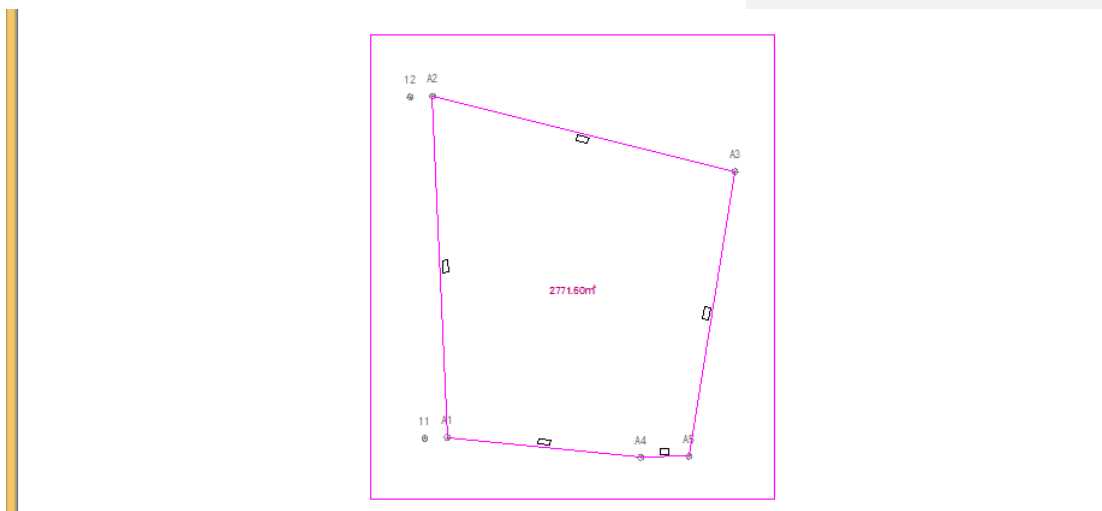
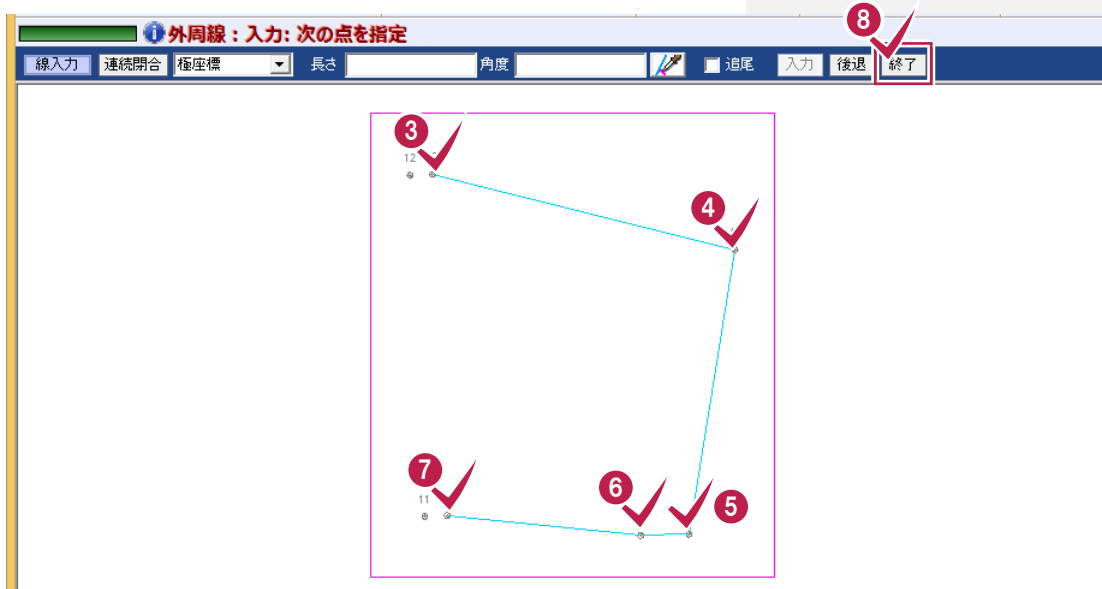
3 4 5 6 7

「A2」→「A3」→「A5」→「A4」→「A1」の順にクリックします。

8 [終了]をクリックします。

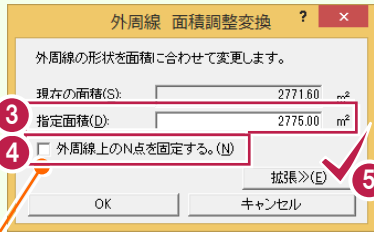
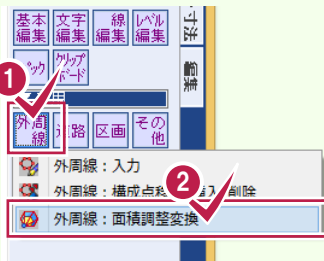
5

座標の取り込み・外周線の入力



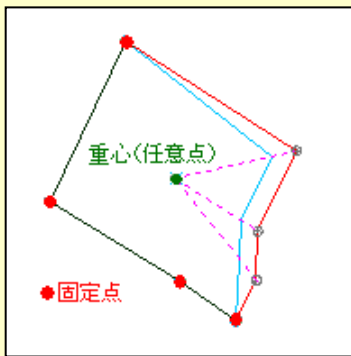
## 外周線で囲まれた領域の面積調整について

図面上の面積と合わない場合は、[外周線]-[面積調整変換]で面積を調整します。

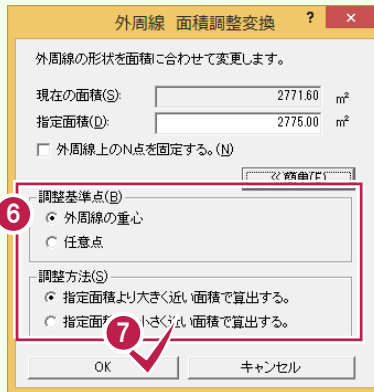
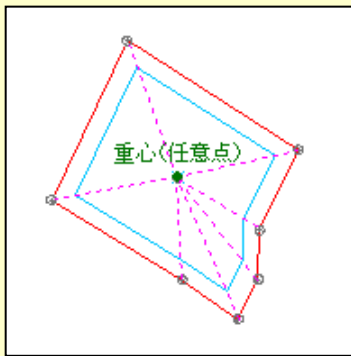


- 1 [外周線]をクリックします。
- 2 [面積調整変換]をクリックします。

外周線上の構成点をN点固定し面積を調整する場合はチェックをオンにします。N点固定の場合は[OK]ボタン(1回目)あるいは[再計算]ボタン(2回目以降)をクリック後、画面上で固定点を指定します。



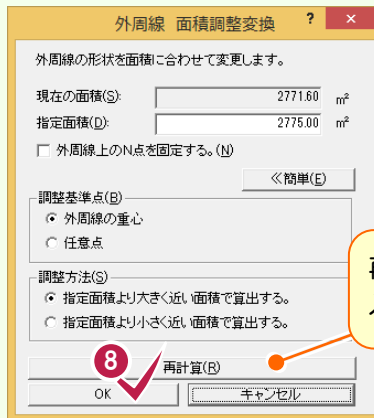
チェックがオフのときは1点指定で面積を調整します



- 3 4
- [指定面積]に調整後の面積を入力して、N点を固定して面積調整変換をする場合は、[外周線上のN点を固定する]のチェックをオンにします。

- 5 [拡張]をクリックします。

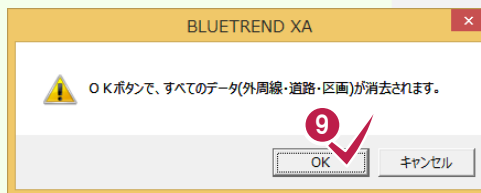
- 6 7
- 調整基準点、調整方法を選択して、[OK]をクリックします。



- 8 調整が確定の場合は、[OK]をクリックします。

再度、調整する場合は、調整面積を入力し[再計算]で調整します。

- 9 [OK]をクリックします。



「座標の取り込み・外周線の入力」を終了したら、「宅地割り計画データの入力(パターン1)」(P.23)へお進みください。

# 6 紙図面がある場合・・・ 紙図面の読み込み・外周線の入力

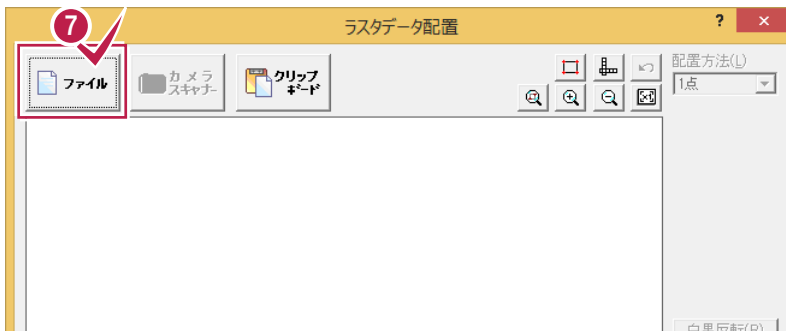
紙図面がある場合は、[宅地割り計画]で紙図面を読み込み、外周線を入力します。

## 6-1 紙図面の読み込み

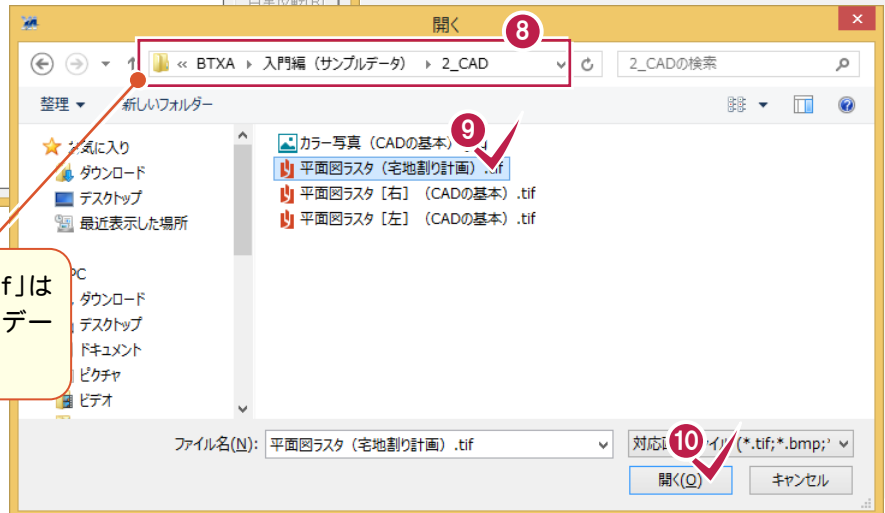
紙図面を読み込みます。入力例では、弊社で用意した「平面図ラスタ(宅地割り計画).tif」を読み込みます。



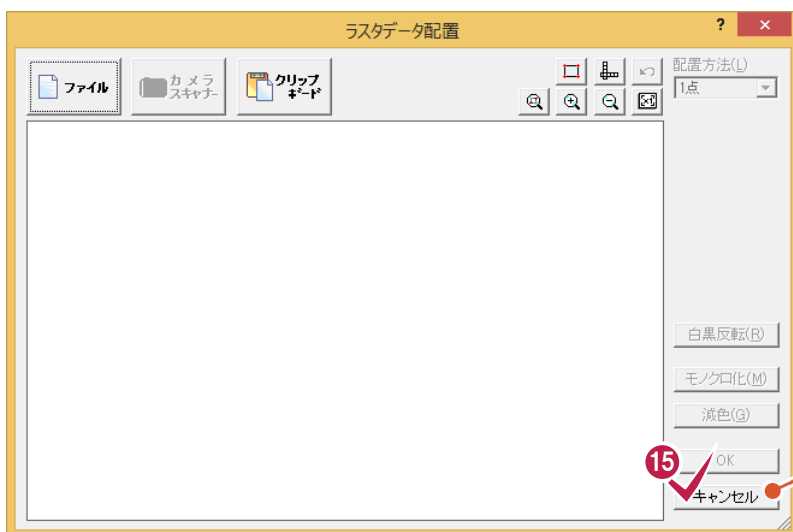
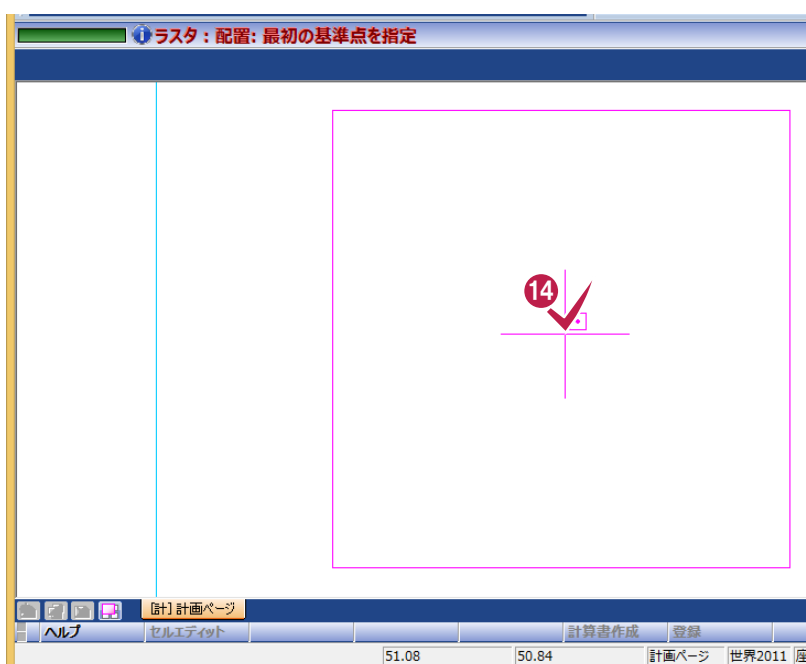
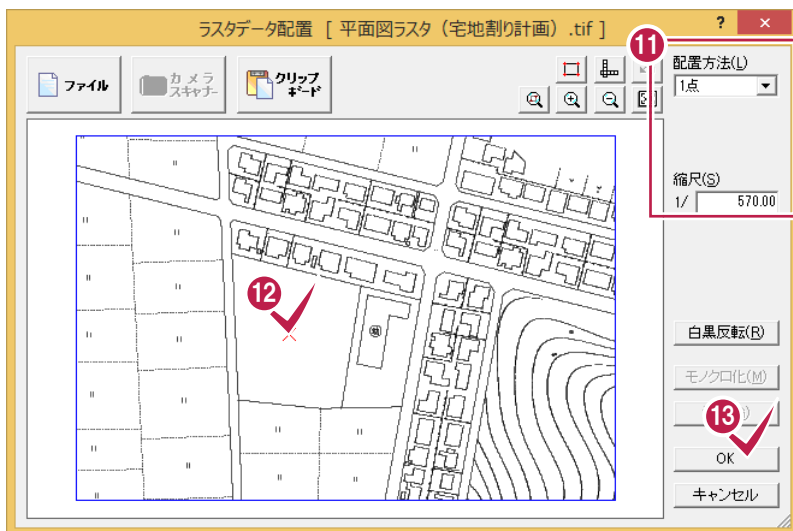
- 1 [メニュー]をクリックします。
- 2 3 4 [CAD]－[宅地割り計画]－[新規作成]をクリックします。
- 5 6 [汎用]グループの[ラスタ・写真]－[配置]をクリックします。



- 7 [ファイル]をクリックします。
- 8 ファイルの場所を選択します。
- 9 「平面図ラスタ(宅地割り計画).tif」をクリックします。
- 10 [開く]をクリックします。



「平面図ラスタ(宅地割り計画).tif」は  
[マニュアル]の[入門編(サンプルデータ)]にあります。



**11** [配置方法]で「1点」を選択して、[縮尺]に「570」と入力します。元図面が縮小されている場合は「2点」で配置してください。(P.22参照)

**12** 配置の基準をクリックします。

**13** [OK]をクリックします。

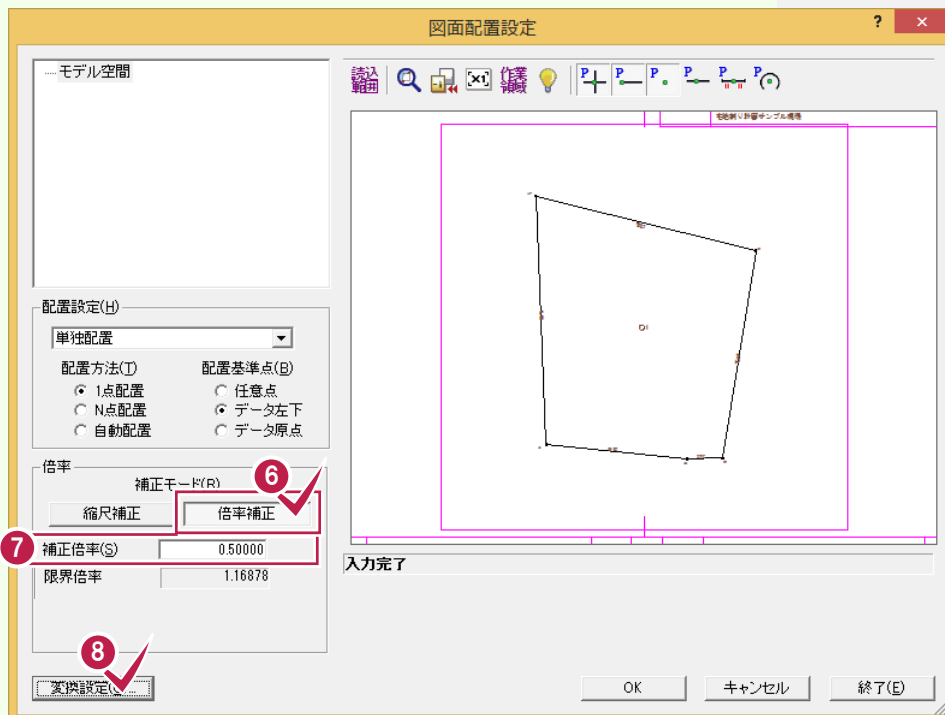
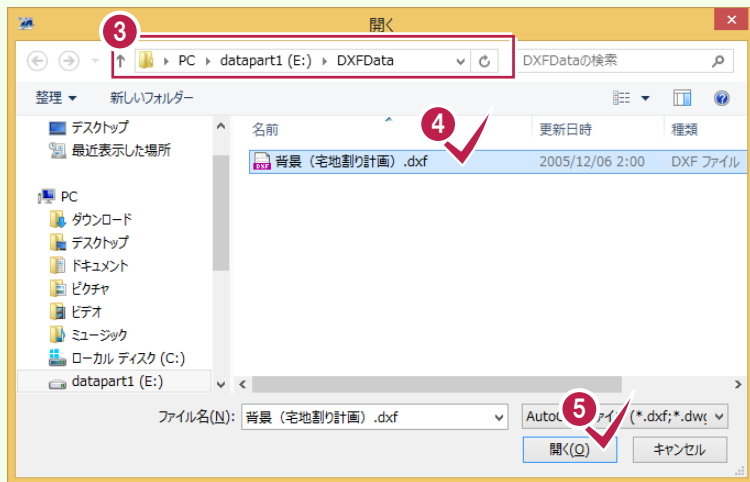
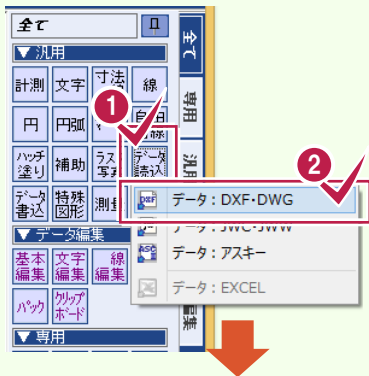
**14** CAD上での配置位置をクリックします。ラスターデータが配置されて、再度、[ラスターデータ配置]ダイアログが表示されます。

**15** [キャンセル]をクリックします。

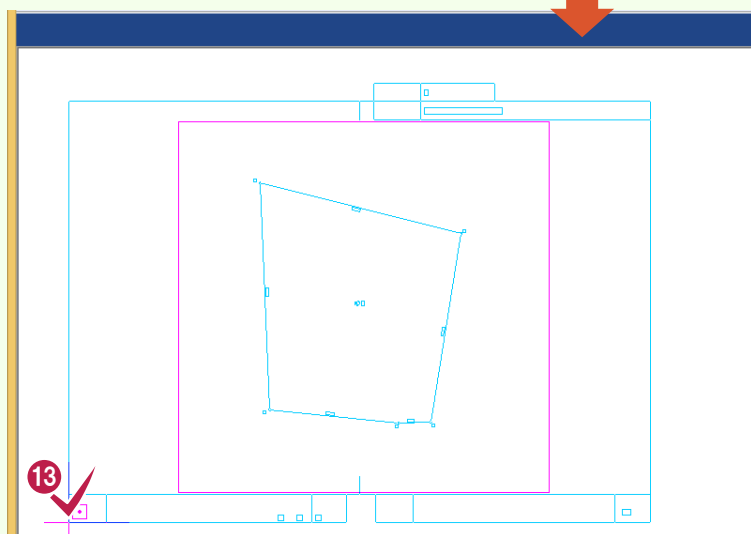
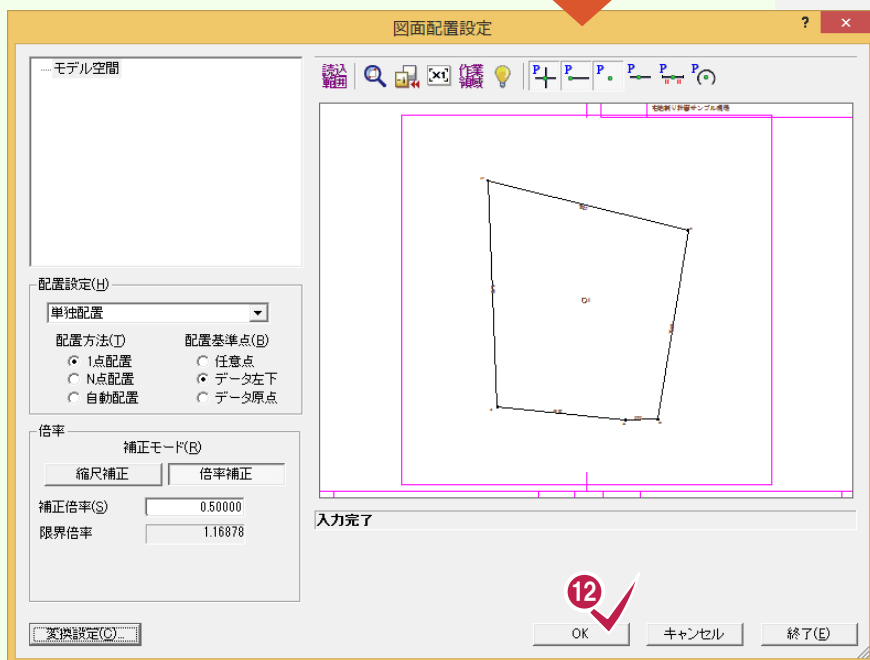
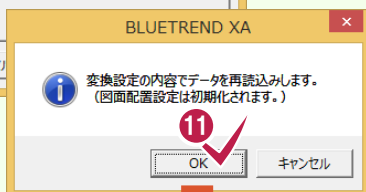
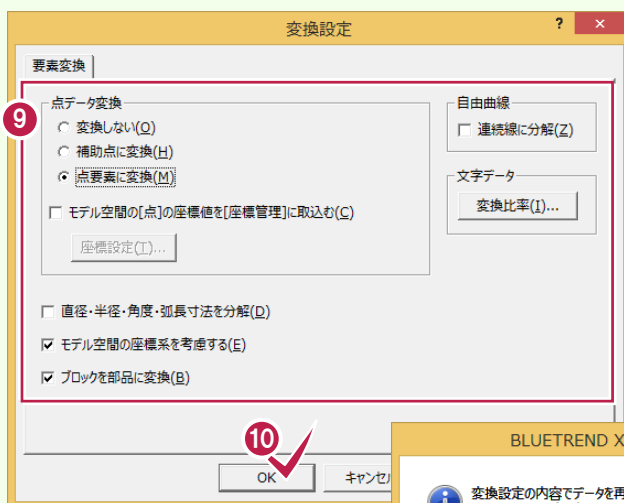
続けてラスターデータを入力できますがここでは終了するので[キャンセル]をクリックします。

## DXF/DWG 形式の図面を背景として読み込む

DXF/DWG 形式の図面を背景として読み込むこともできます。



- 1 [汎用]グループの[データ読み込み]をクリックします。
- 2 [DXF・DWG]をクリックします。
- 3 任意のDXFファイルの場所を選択します。
- 4 DXFファイルをクリックします。
- 5 [開く]をクリックします。
- 6 7 [倍率補正]をクリックし、「補正倍率」に「0.5」と入力します。背景データが用紙枠におさまります。
- 8 [変換設定]をクリックします。



- 9 読み込み時の設定を行います。
- 10 [OK]をクリックします。
- 11 [OK]をクリックします。  
[図面配置設定]ダイアログに戻ります。

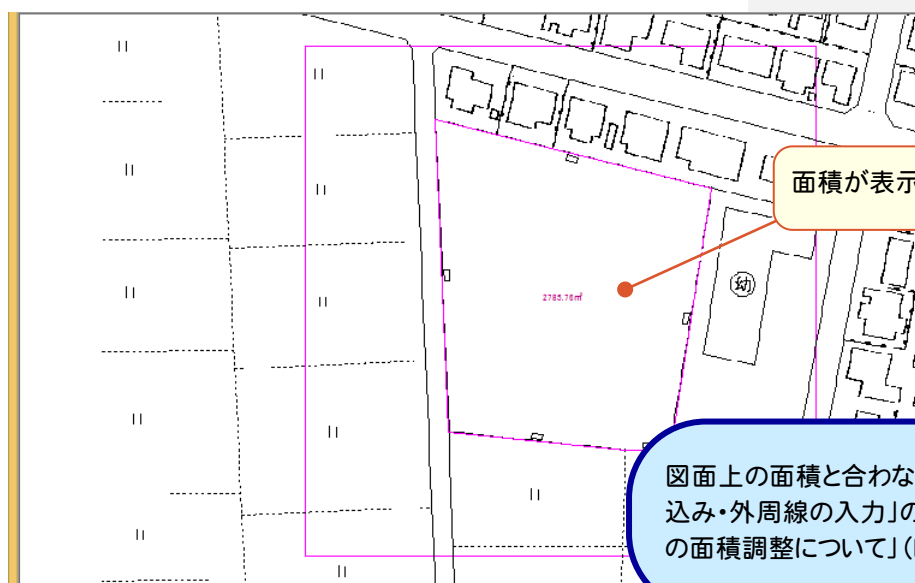
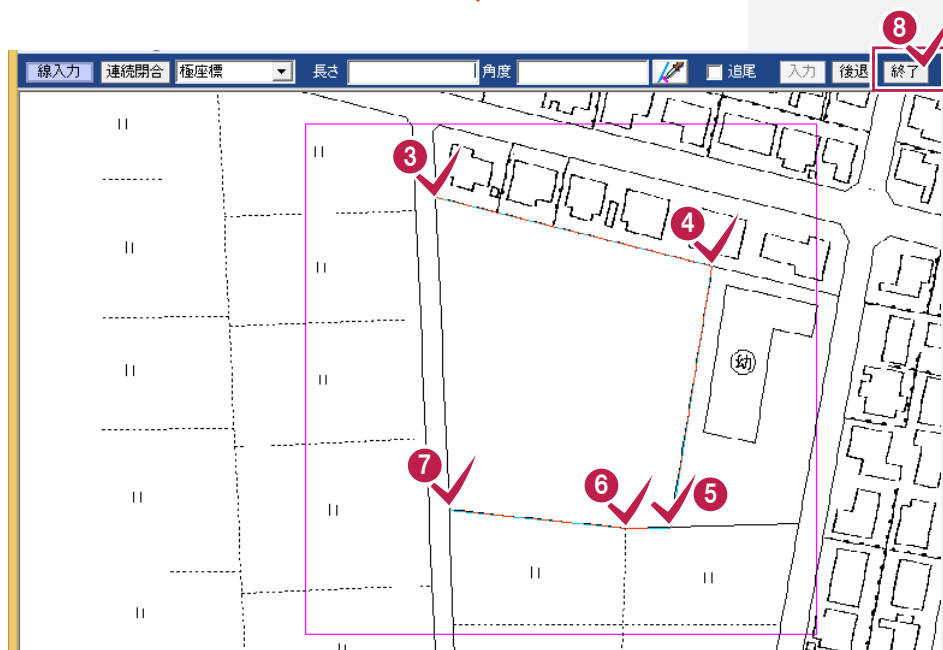
- 12 [OK]をクリックします。
- 13 図面の配置位置をクリックします。
- 14 [OK]をクリックします。



## 6-2 外周線を入力する



- 1 [専用]グループの[外周線]をクリックします。
- 2 [入力]をクリックします。
- 3 4 5 6 7  
外周線の各点をクリックします。
- 8 [終了]をクリックします  
外周線により区画が作成され、面積が表示されます。



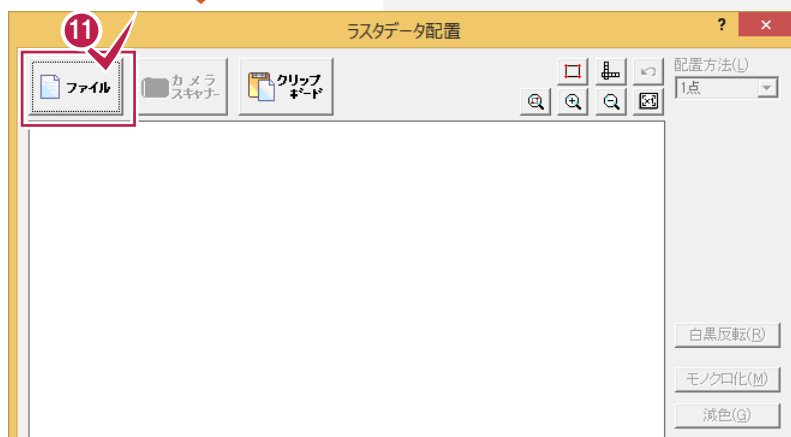
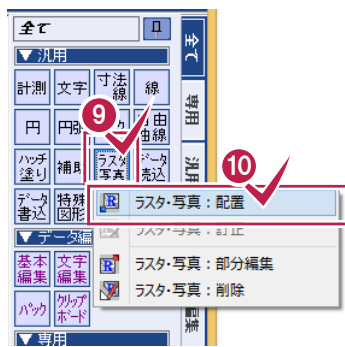
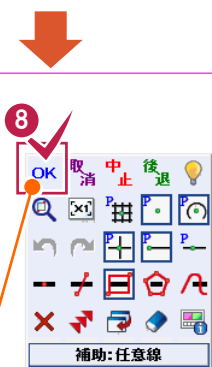
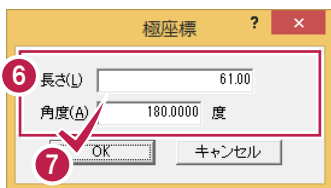
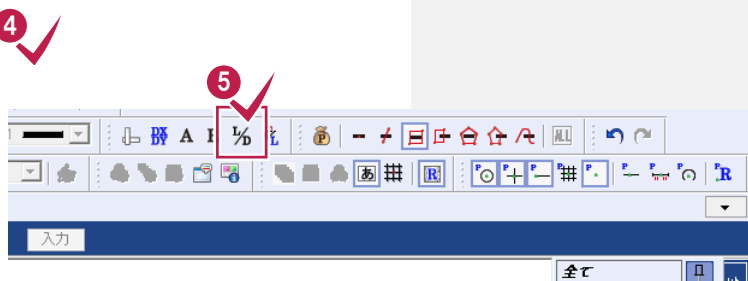
図面上の面積と合わない場合は、前記した「座標の取り込み・外周線の入力」の[メモ]「外周線で囲まれた領域の面積調整について」(P.15)を参照してください。



# 6-3

## 縮小された紙図面を読み込む場合

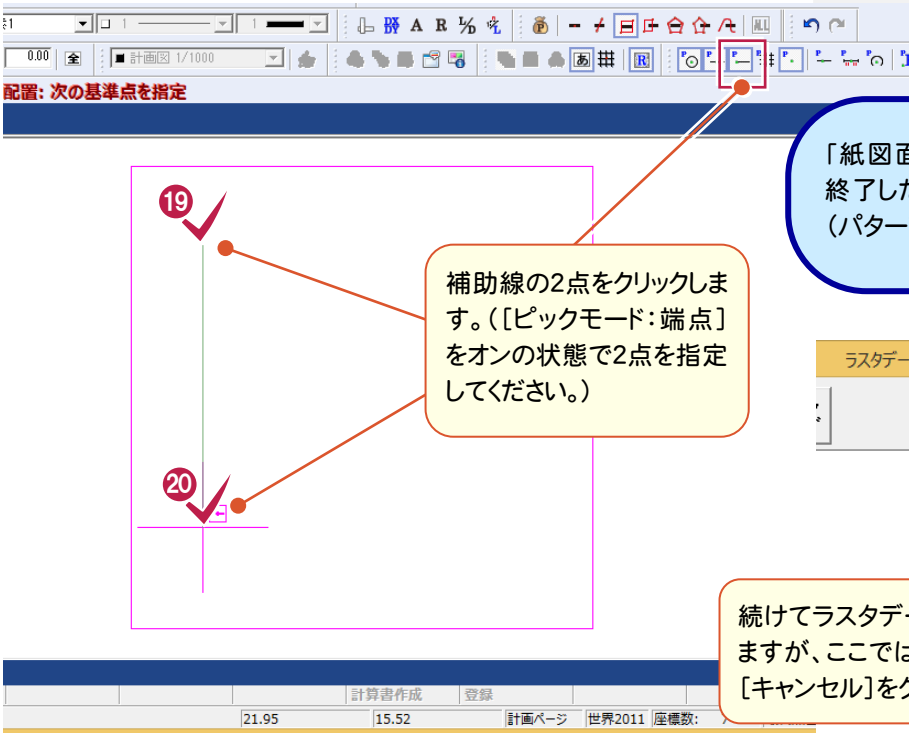
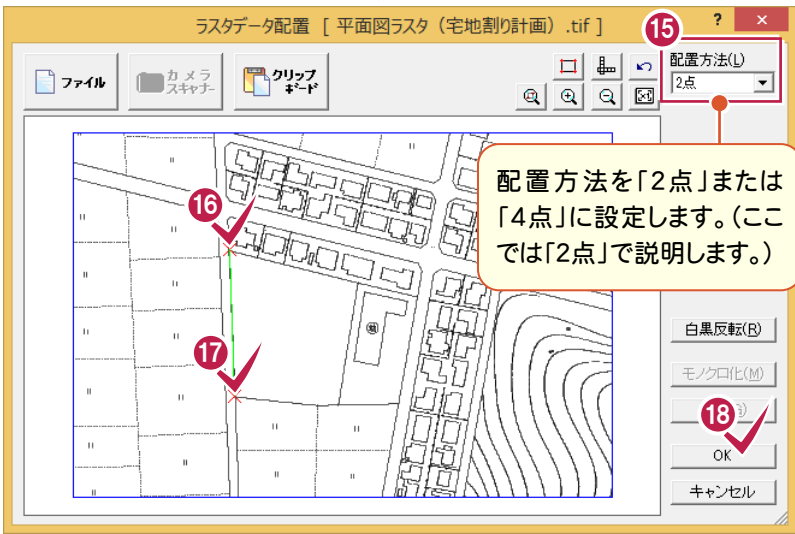
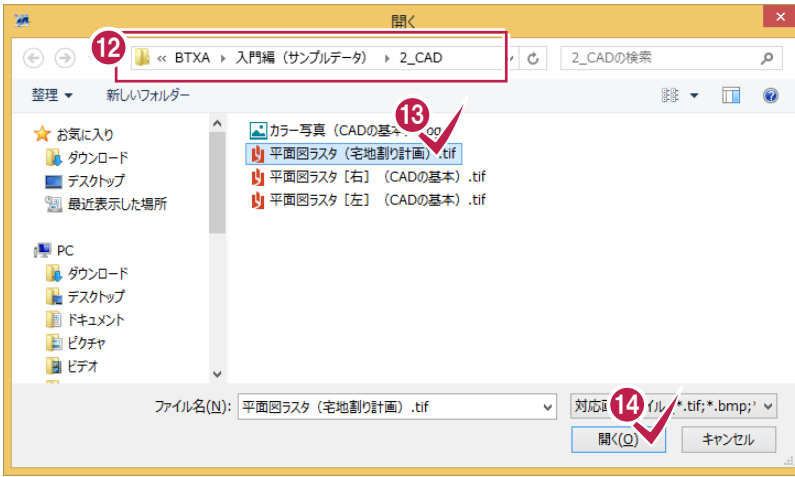
距離がわかっている区画辺を補助線で入力して、配置時にそれに合わせて補正します。



補助線の入力が終了したら右クリックして[OK]をクリックします。

- 1 [汎用]グループの[補助]をクリックします。
- 2 [任意線]をクリックします。
- 3 [無限補助線]のチェックをオフにします。
- 4 補助線の始点をクリックします。
- 5 [極座標入力]のアイコンをクリックします。

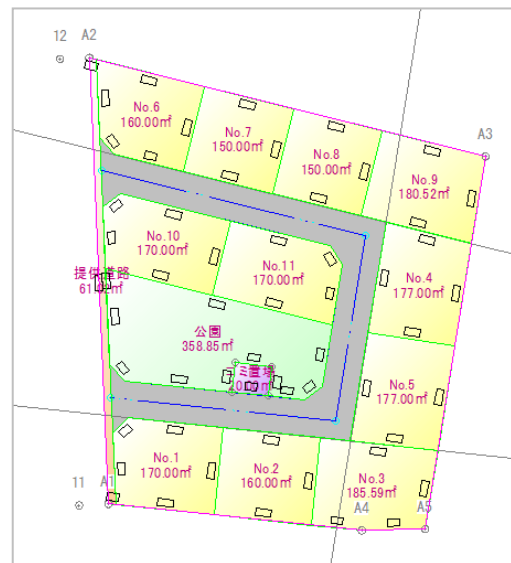
- 6 7 距離と方向角を入力して[OK]をクリックします。
- 8 右クリックして[OK]をクリックします。
- 9 [汎用]グループの[ラスタ・写真]をクリックします。
- 10 [配置]をクリックします。
- 11 [ファイル]をクリックします。



- 12 ファイルの場所を選択します。
  - 13 「平面図ラスタ (宅地割り計画).tif」をクリックします。
  - 14 「開く」をクリックします。
  - 15 配置方法を「2点」または「4点」に設定します。(ここでは「2点」で説明します。)
  - 16 17 補助線の基準の2点をクリックします。
  - 18 [OK]をクリックします。
  - 19 20 CAD上で補助線の2点をクリックします。ラスタデータが配置されて、再度、「ラスタデータ配置」ダイアログが表示されます
  - 21 [キャンセル]をクリックします。
- 続けてラスタデータを入力できませんが、ここでは終了するので [キャンセル] をクリックします。

# 7 宅地割り計画データの入力 (パターン1)

[宅地割り計画]で、道路、区画を入力します。  
本書では、パターン1(右図参照)の宅地割り計画データを入力する操作を解説します。

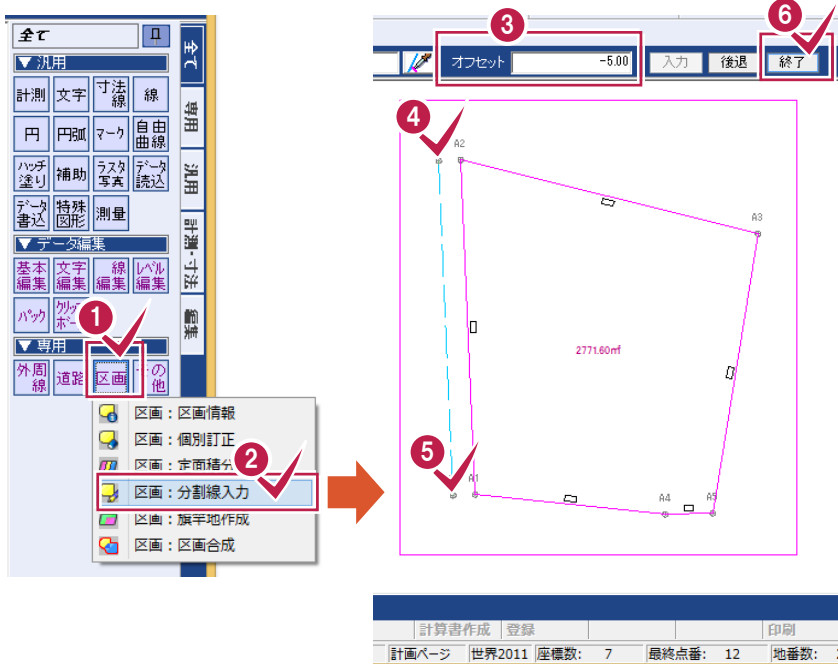


## 7-1 セットバックを入力する

入力例では、敷地の左側に接する道路の幅員が4mになっていますが、敷地の一部分を道路部分(セットバック部分)として、幅員を5mにします。

### 分割線を入力する

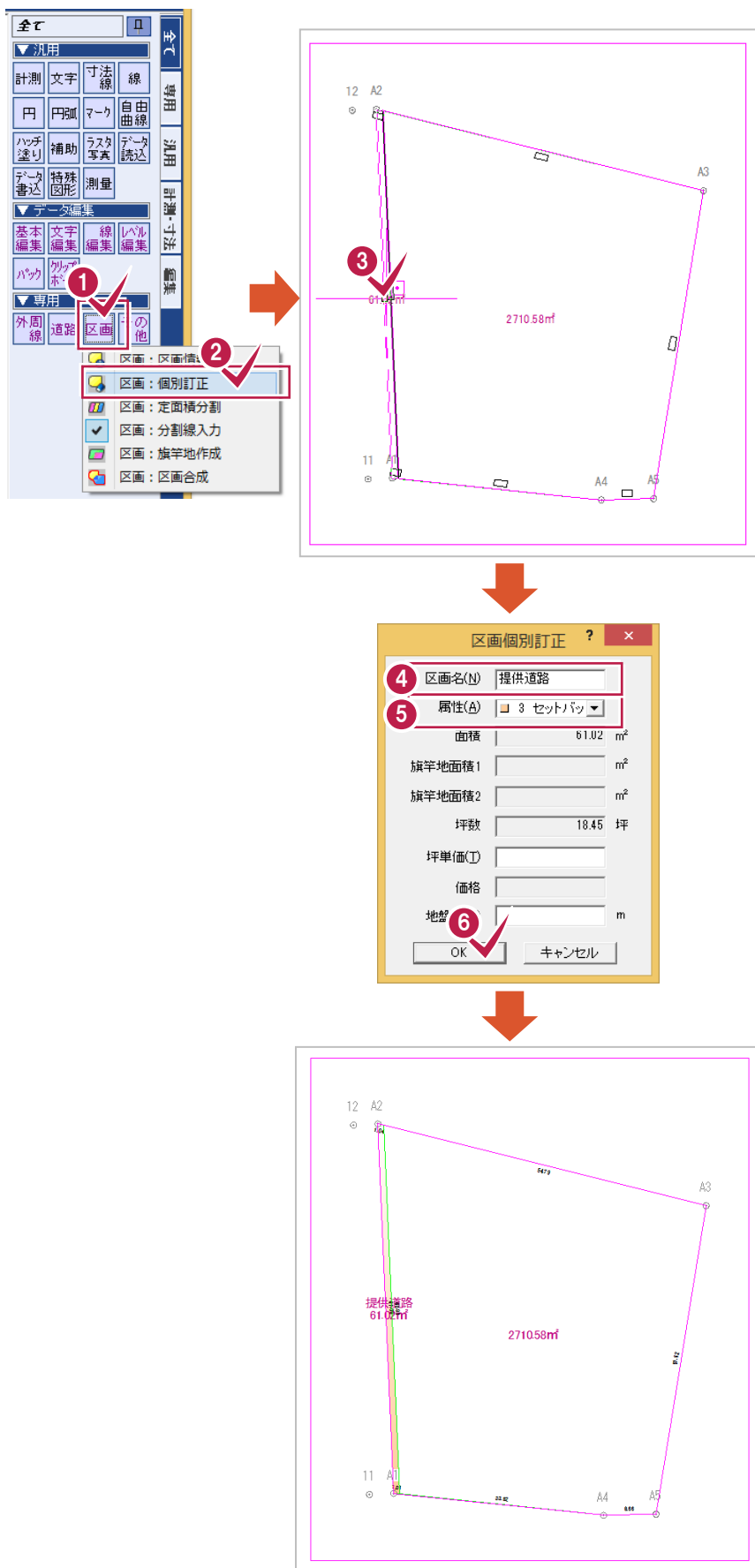
敷地の左側の2点を結ぶ道路線より幅員5mのところ分割線を入力します。  
ここでは、[区画]-[分割線入力]コマンドを使用して解説します。



- 1 [専用]グループの[区画]をクリックします。
- 2 [分割線入力]をクリックします。
- 3 インputバーの[オフセット]に「-5」と入力します。
- 4 5 敷地の左側の2点をクリックします。
- 6 [終了]をクリックします。

## セットバックの区画情報を設定する

分割した区画にセットバックの区画情報を設定します。  
ここでは、[区画]-[個別訂正]コマンドを使用して解説します。



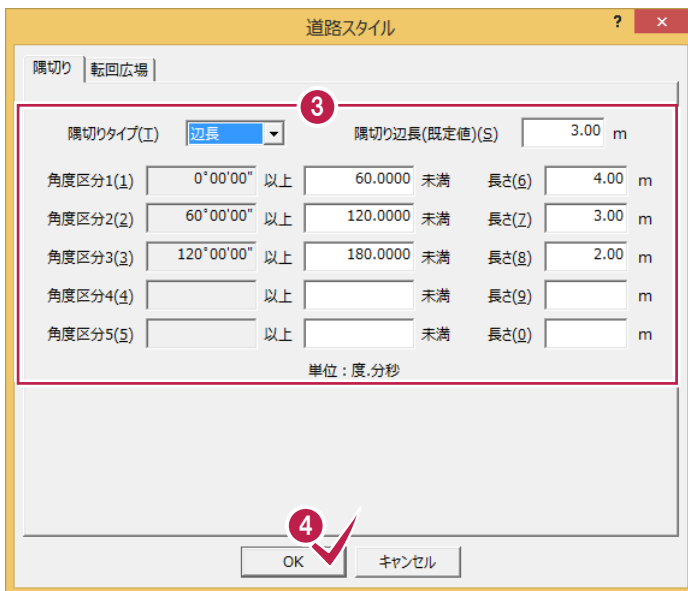
道路を入力します。

入力例では、外周線から12m内側に道路を入力します。

### セットバックの区画情報を設定する

分割した区画にセットバックの区画情報を設定します。

ここでは、[区画]－[個別訂正]コマンドを使用して解説します。



1 [専用]グループの[道路]をクリックします。

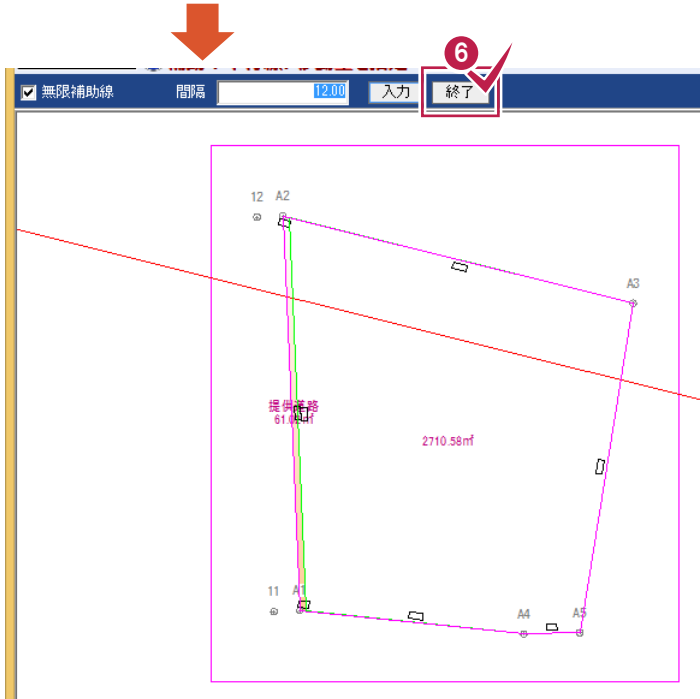
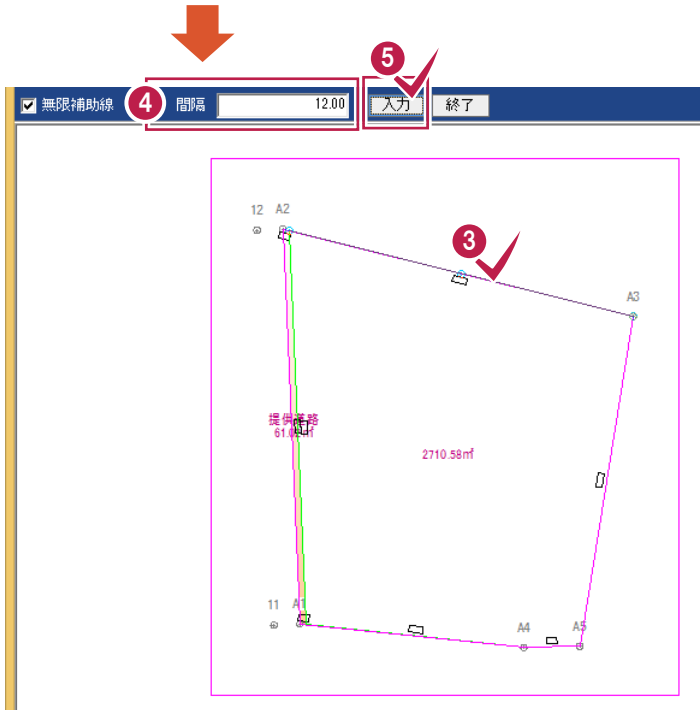
2 [道路スタイル]をクリックします。

3 隅切りのスタイルを設定します。

4 [OK]をクリックします。

## 外周線に平行に補助線を入力する

上、右、下側の3本の外周線より12m内側に補助線を入力します。  
[補助]—[平行線]コマンドを使用して解説します。



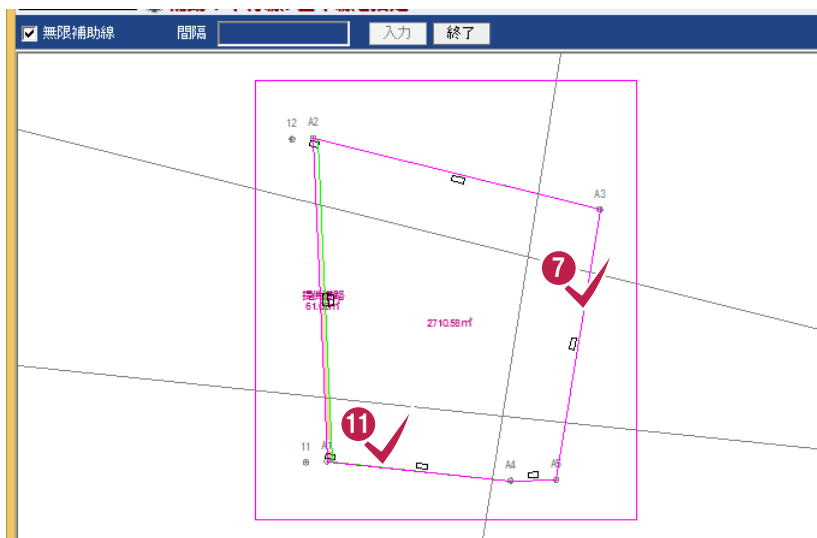
1 [汎用]グループの[補助]をクリックします。

2 [平行線]をクリックします。

3 基準となる外周線をクリックします。

4 5  
インプットバーの[間隔]に「12」と入力し、[入力]をクリックします。  
補助線が仮入力されます

6 [終了]をクリックします。  
補助線が確定入力され、操作を終了します。



7 8 9 10

同様に 3 ~ 6 の操作を繰り返して、右側の外周線の12m内側に補助線を入力します。

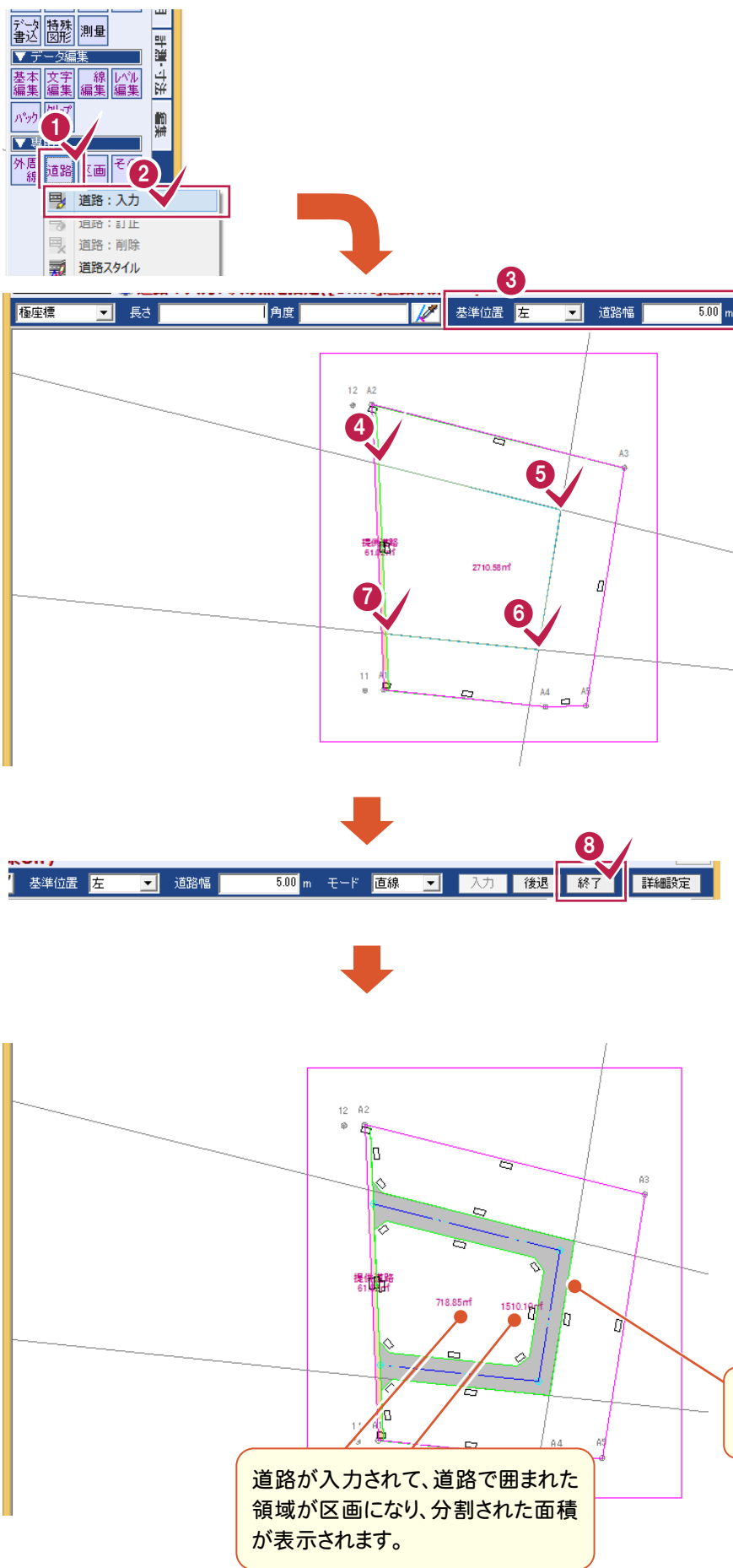
11 12 13 14

同様に 3 ~ 6 の操作を繰り返して、下側の外周線の12m内側に補助線を入力します。



## 道路を入力する

補助線の交点を指定して、道路幅が5mの道路を入力します。



1 [専用]グループの[道路]をクリックします。

2 [入力]をクリックします。

3 インputバーの[基準位置]が「左」、[道路幅]が「5」に設定されていることを確認します。

4 5 6 7  
道路の左側の点を順にクリックします。

8 入力を終了したら、インputバーの[終了]をクリックします。  
道路が入力されて、道路で囲まれた領域が区画になり、分割された面積が表示されます。

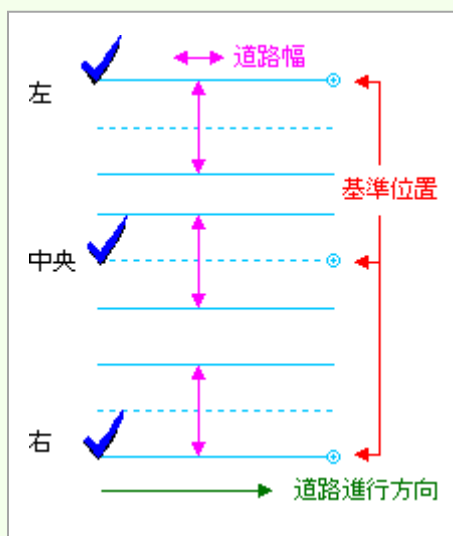
区分属性マスタの「道路」の設定で表示されます。

道路が入力されて、道路で囲まれた領域が区画になり、分割された面積が表示されます。



### 基準位置について

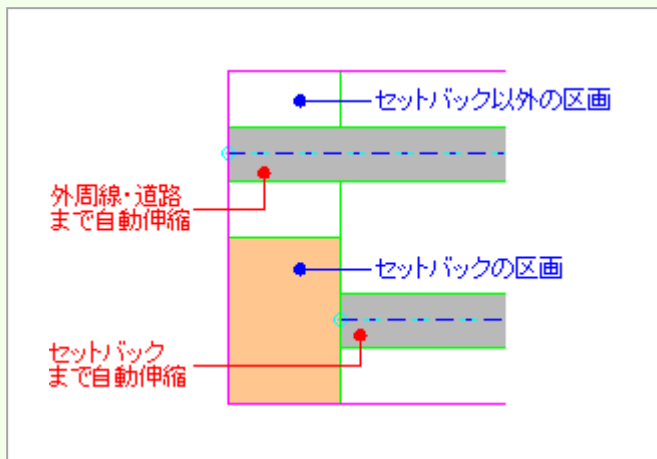
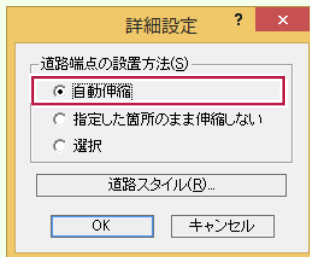
道路の進行方向(始点→終点)に向かって、左・中央・右になります。  
 通過点で基準位置や道路幅を変更することはできません。



### 詳細設定について

#### [自動伸縮]

端点が道路領域内の場合は、交差点として接合するよう設置します。  
 外周線(セットバックが外周線に接しているときはセットバック区画の線)より外に端点がある場合は、外周線(セットバック区画)に接するように設置します。端点の位置が上記いずれでもない場合は、外周線、セットバック、道路のどれかにぶつかるまで延長します。

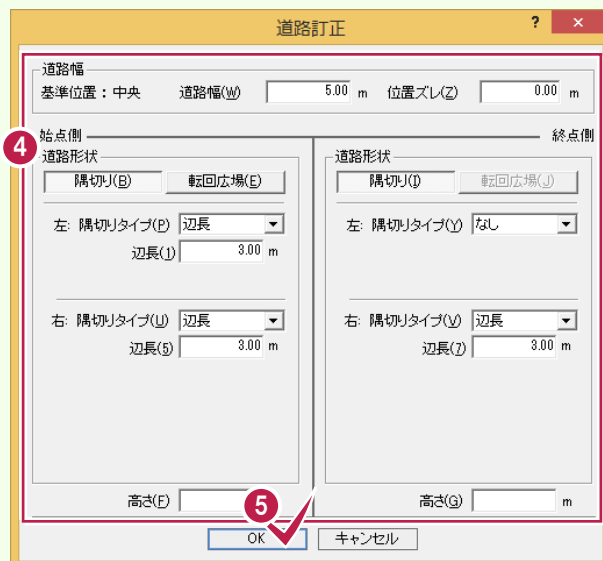
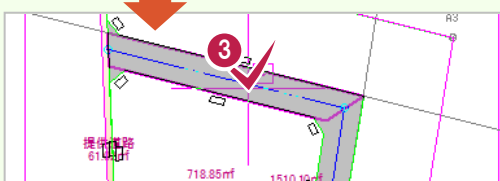


#### [指定した箇所のまま伸縮しない]

端点が道路領域内にある場合は、交差点として接合するように設置します。  
 端点が外周線上(セットバック区画の線上)にある場合は、外周線(セットバック区画の線)に接するように設置します。  
 端点の位置が上記いずれでもない場合は、道路進行方向に対して90度方向に道路端部を閉じるように設置します。

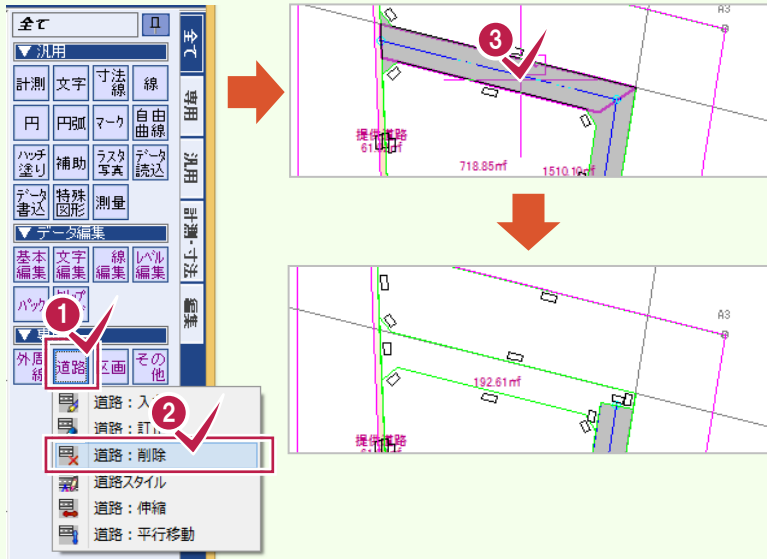
### 道路を訂正する

[全て]-[道路]-[訂正]で、隈切りなどを訂正することができます。



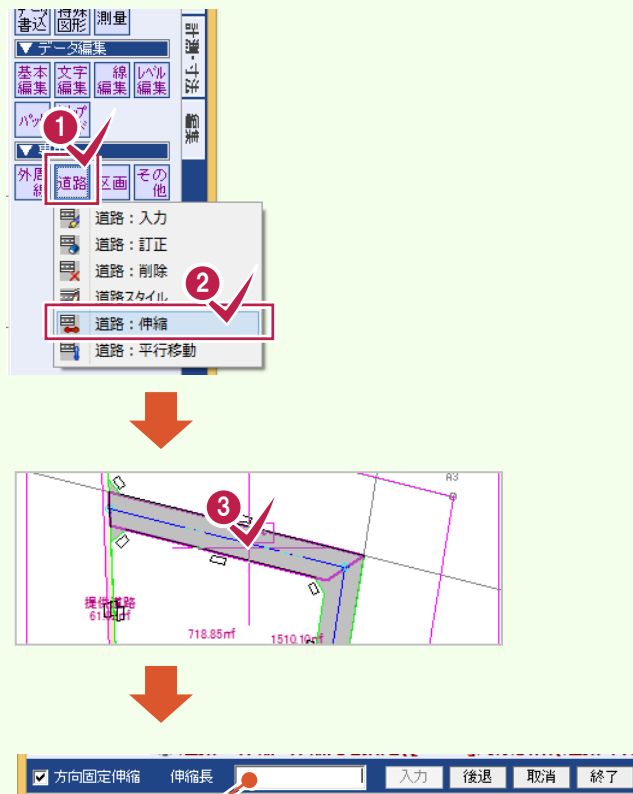


## 道路を削除する



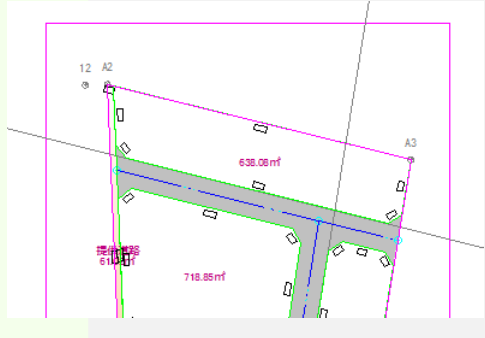
- 1 [専用]グループの[道路]をクリックします。
- 2 [削除]をクリックします。
- 3 削除する道路をクリックします。

## 道路を伸縮する



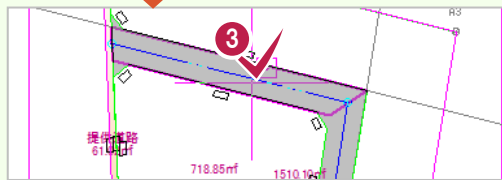
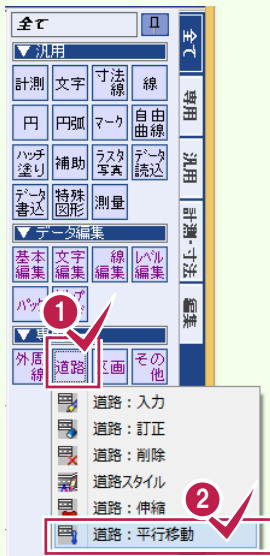
- 1 [専用]グループの[道路]をクリックします。
- 2 [伸縮]をクリックします。
- 3 削除する道路をクリックします。
- 4 5 伸縮する方向と伸縮先をクリックします。

[伸縮長]に距離を入力して伸縮することもできます。

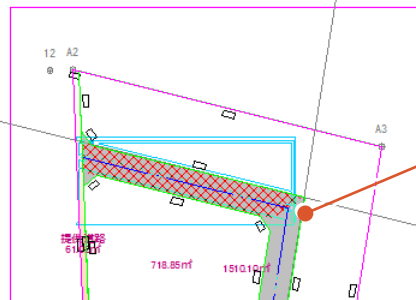




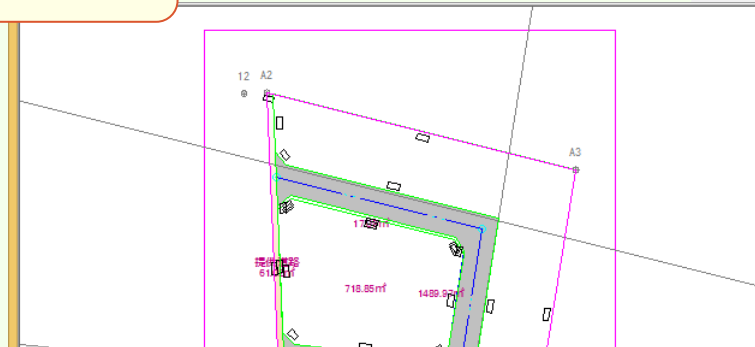
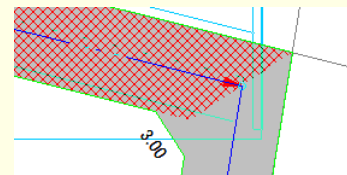
## 道路を平行移動する



道路を平行移動した際に、隣接する区画も延長する場合は、チェックをオンにします。オフの場合、平行移動して、形状が変わる場合は区画を変形、区画が分断される場合は区画属性を継承して分割、新たな領域ができた場合は無属性の新しい区画となります。



平行移動する道路をクリックすると矢印が表示されます。平行移動距離を入力する場合、矢印の進行方向に向かって右が+、左が-の入力となります。



1 [専用]グループの[道路]をクリックします。

2 [平行移動]をクリックします。

3 平行移動する道路をクリックします。

4 5 [移動距離]に平行移動する距離を入力して、[入力]をクリックします。



## 転回広場を入力する

操作例では多角型の転回広場を入力します。

[全て]-[道路]-[道路スタイル]で、転回広場の設定を確認・変更します。

道路スタイル

隅切り 転回広場

転回広場を付加する(A)

T字型 両側I字型 **多角型** T字型 片側I字型 L字型

左側(L) 右側(R)

寸法値(P) 円の直径(Q)

戻り長(B) 5.50 m

長さ(D) 3.00 m

幅(W) 4.00 m

隅切り(S)  辺長  せん除長

OK キャンセル

[詳細設定]で[選択]のチェックをオンにしておきます。

詳細設定

道路端点の設置方法(S)

自動伸縮

指定した箇所のまま伸縮しない

選択

道路スタイル(B)

OK キャンセル

[全て]-[道路]-[入力]で、道路を入力します。

左 道路幅 5.00 m モード 直線 入力 後退 終了 詳細設定

12 A2 A3

方向角: 103.5909  
距離: 40.21

2710.58 m<sup>2</sup>

提供道路 61.42 m<sup>2</sup>

2482.57 m<sup>2</sup>

端点伸縮設定

道路端点の設置方法(S)

自動伸縮

指定した箇所のまま伸縮しない

OK 後退(B)

端点伸縮設定

道路端点の設置方法(S)

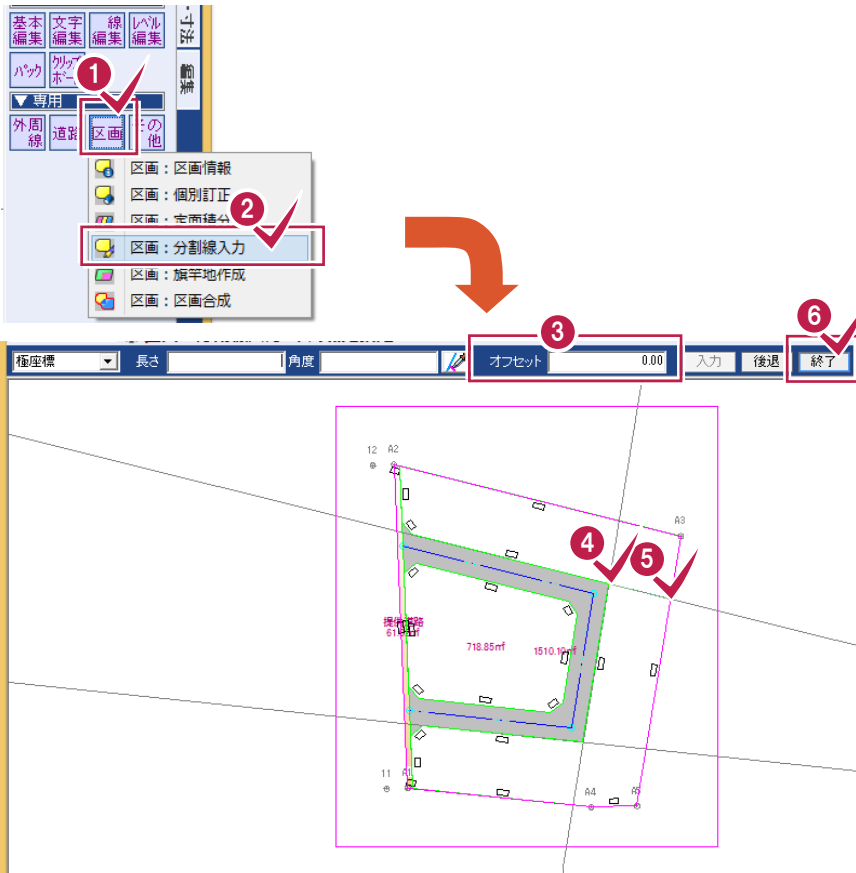
自動伸縮

指定した箇所のまま伸縮しない

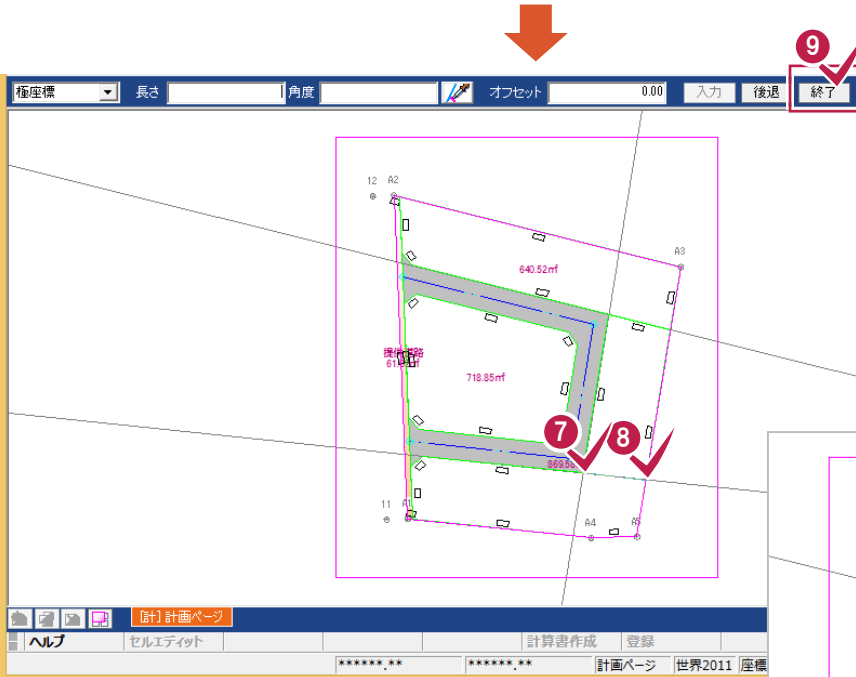
OK 後退(B)

## 7-3 分割線入力で区画を分割する

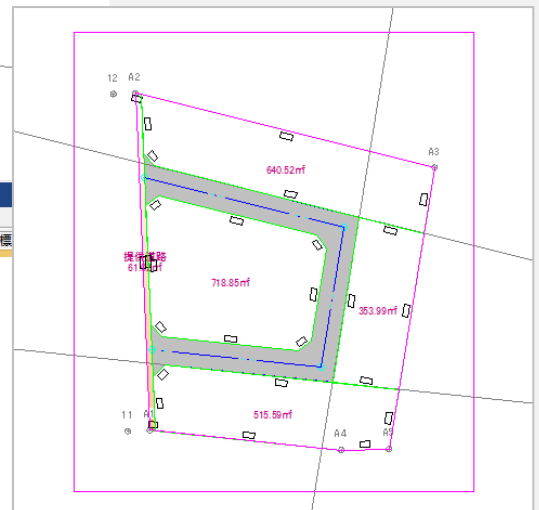
パターン1では、分割線を2本入力して、道路の周りの区画を3つに分割します。



- 1 [専用]グループの[区画]をクリックします。
- 2 [分割線入力]をクリックします。
- 3 インputバーの[オフセット]に「0」と入力します。
- 4 5 1本目の分割線の始点、終点をクリックします。
- 6 [終了]をクリックします。区画が分割され、分割された面積が表示されます



- 7 8 9 2本目の分割線の始点、終点をクリックして[終了]をクリックします。区画が分割され、分割された面積が表示されます。

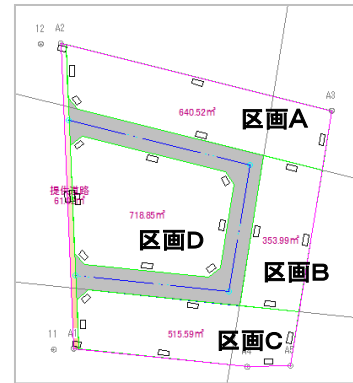


## 7-4 定面積分割で区画を分割する

道路、分割線を入力して4つに分割された区画(区画A、区画B、区画C、区画D:右図参照)を定面積分割で分割します。

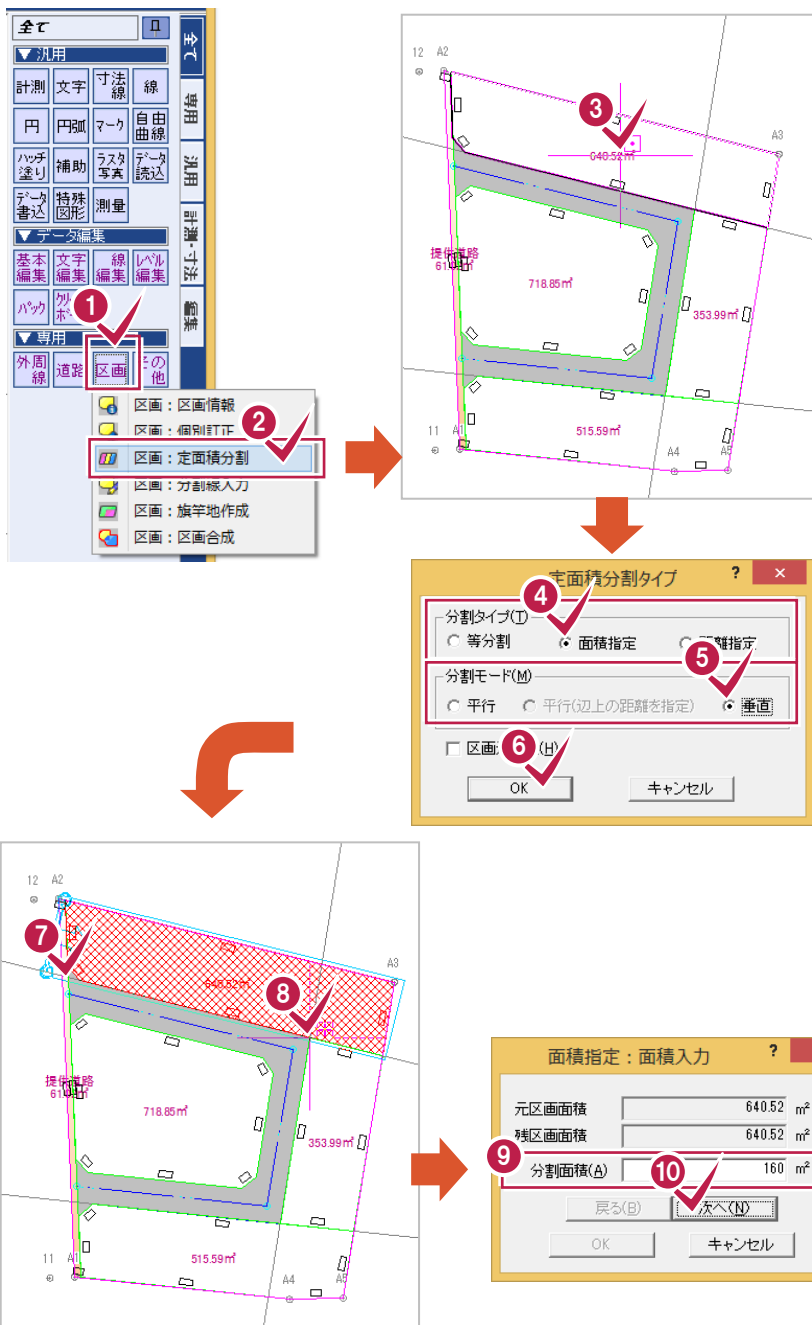
入力例では次のように定面積分割する操作を解説します。

- 区画A: 面積を指定して、道路に垂直に分割します。
- 区画B: 等分割で、道路に垂直に分割します。
- 区画C: 面積を指定して、道路に垂直に分割します。
- 区画D: 面積を指定して道路に平行に2分割してから、上側の区画を道路に垂直に等分割します。



### 区画Aを定面積分割で分割する

区画Aを[区画]-[定面積分割]の[面積指定]を使用して分割します。



- 1 [専用]グループの[区画]をクリックします。
- 2 [定面積分割]をクリックします。
- 3 分割する区画Aをクリックします。

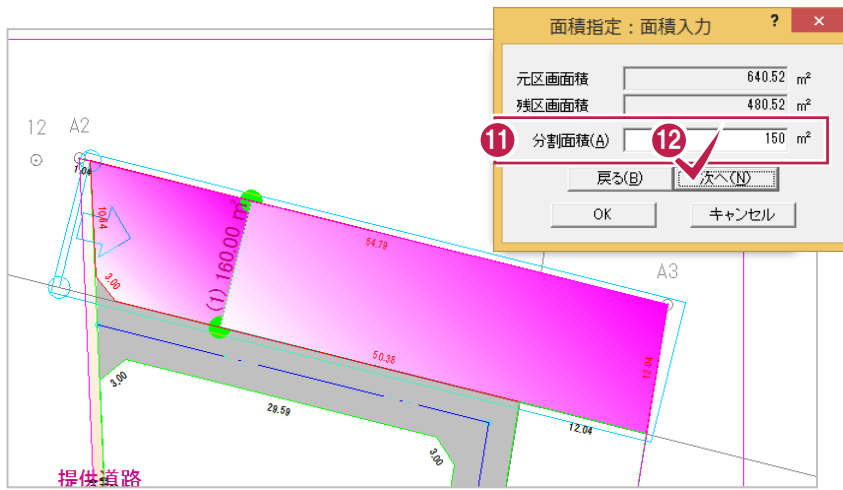
- 4 [分割タイプ]の[面積指定]と、[分割モード]の[垂直]をクリックします。

- 6 [OK]をクリックします。

- 7 8 基準となる線(道路)の2点をクリックします。  
[面積指定: 面積入力]ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。

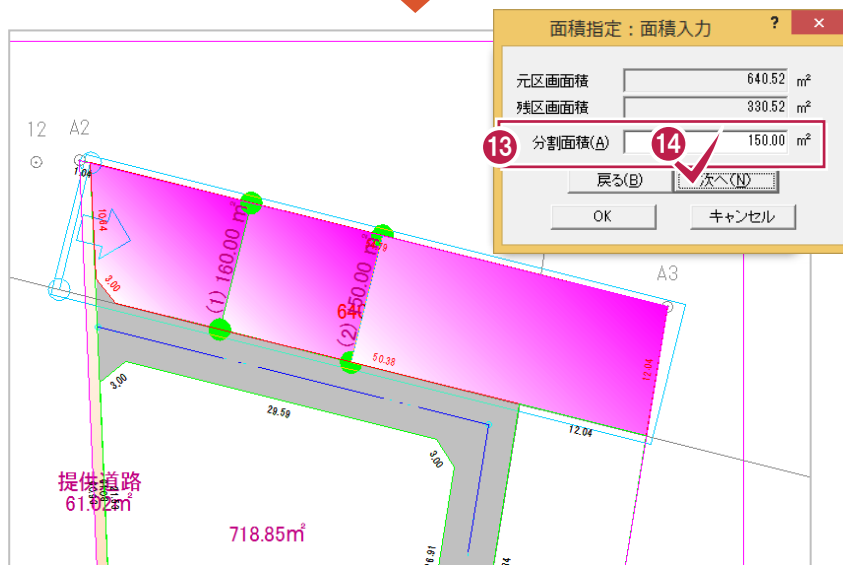
- 9 [分割面積]に分割する区画の面積を入力します。ここでは「160」と入力します。

- 10 [次へ]をクリックします。



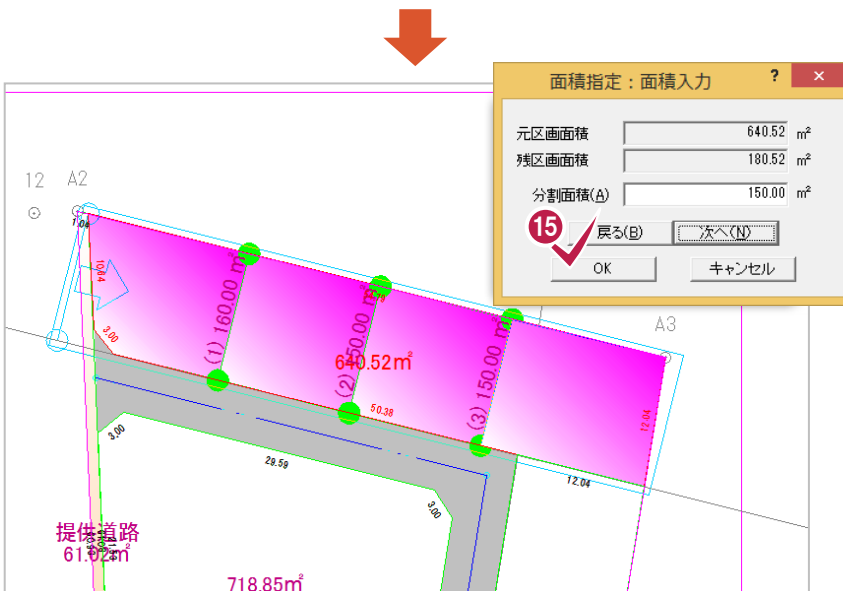
**11** 続けて、[残区画面積]を確認して、[分割面積]に分割する区画の面積を入力します。ここでは「150」と入力します。

**12** [次へ]をクリックします。



**13** 続けて、[残区画面積]を確認して、[分割面積]に分割する区画の面積を入力します。ここでは「150」と入力します。

**14** [次へ]をクリックします。指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。



**15** [残区画面積]を確認します。ここでは、[残区画面積]を最後の区画の面積にするので、そのまま[OK]をクリックします。

定面積分割：区画調整 ?

16 元区画面積 640.52 m<sup>2</sup>

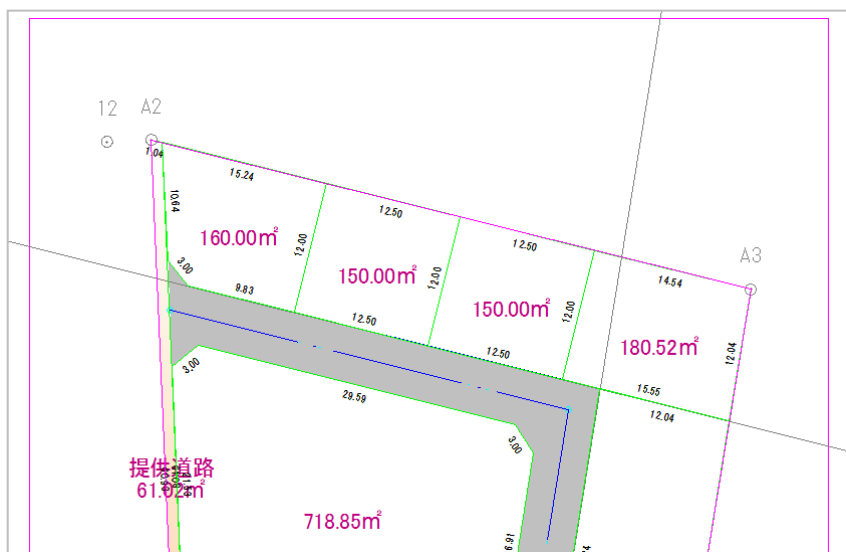
No.	区画名	面積(m <sup>2</sup> )	属性
1		160.00	
2		150.00	
3		150.00	
4		180.52	

残面積 0.00 m<sup>2</sup> 残調整(A)

※面積が0m<sup>2</sup>の区画は無効となり作成されません。  
 ※面積の丸めなどにより、誤差が出る可能性があります。  
 この誤差分の面積は、最後の区画で調整されます。

17 表示更新(R)

OK キャンセル



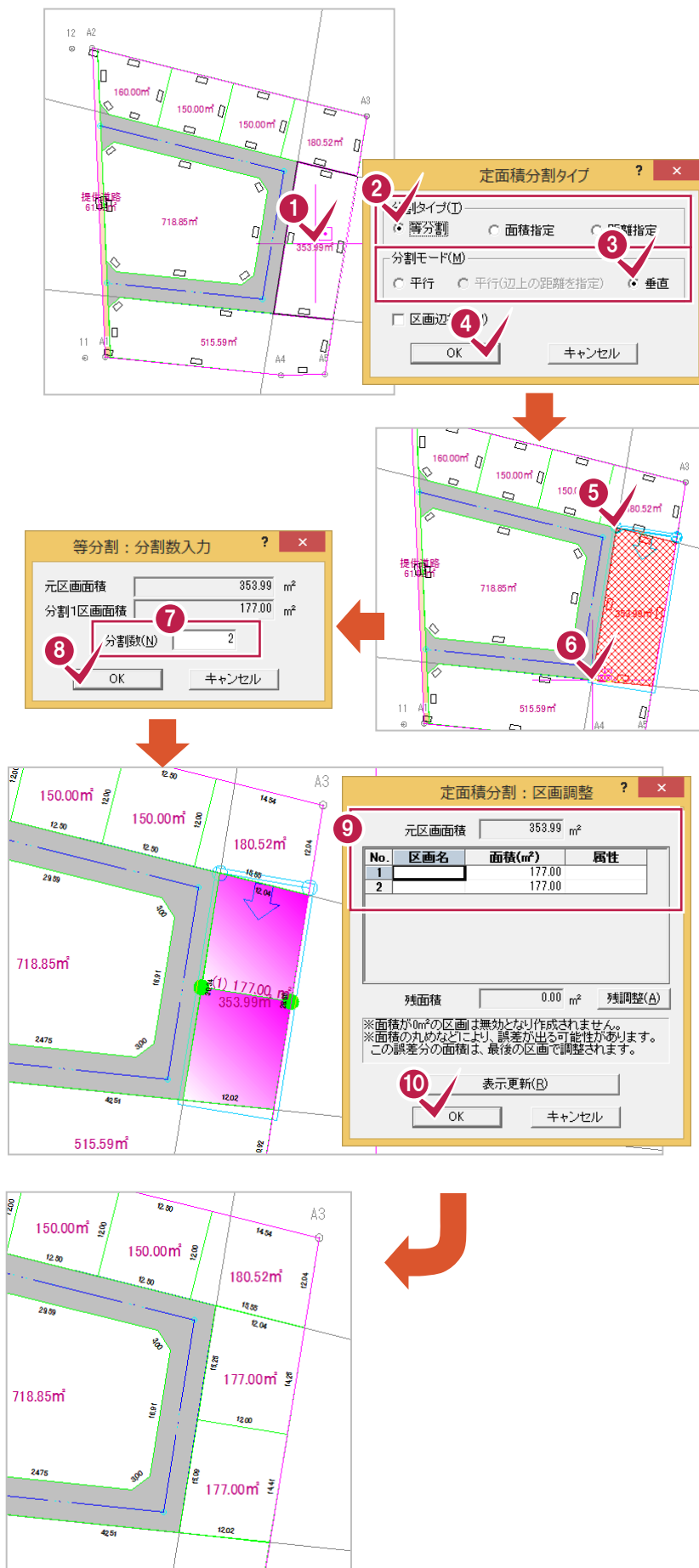
16 [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。  
 ここで区画名、属性を入力することもできますが、本書では後で一括して入力するので、空白のままにしておきます。

17 [OK]をクリックします。



## 区画Bを定面積分割で分割する

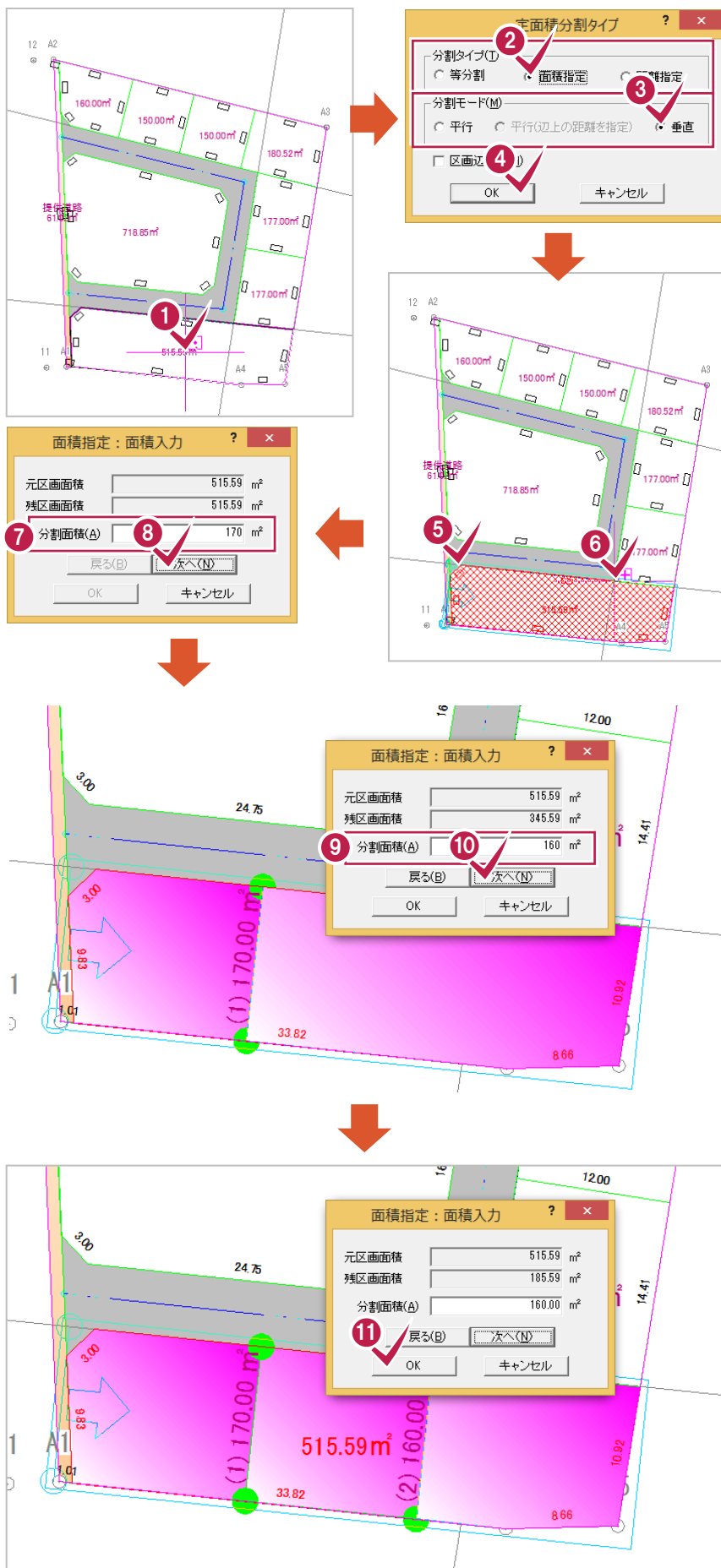
区画Bを[区画]-[定面積分割]の[等分割]を使用して分割します。



- 1** 分割する区画Bをクリックします。
- 2** **3** [分割タイプ]の[等分割]と、[分割モード]の[垂直]をクリックします。
- 4** [OK]をクリックします。
- 5** **6** 基準となる線(道路)の2点をクリックします。  
[等分割: 分割数入力]ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。
- 7** [分割数]に分割数を入力します。  
ここでは「2」と入力します。
- 8** [OK]をクリックします。
- 9** [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。  
本書では、区画名、属性は後で一括入力するので、空のままにしておきます。
- 10** [OK]をクリックします。  
区画が分割され、面積が表示されます。

## 区画Cを定面積分割で分割する

区画Cを[区画]-[定面積分割]の[面積指定]を使用して分割します。



- 1 分割する区画Cをクリックします。
- 2 3 [分割タイプ]の[面積指定]、[分割モード]の[垂直]のチェックをオンにします。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 6 基準となる線(道路)の2点をクリックします。[面積指定:面積入力]ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。
- 7 [分割面積]に分割する区画の面積を入力します。ここでは「170」と入力します。
- 8 [次へ]をクリックします。指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。
- 9 続けて、[残区画面積]を確認して、[分割面積]に分割する区画の面積を入力します。ここでは「160」と入力します。
- 10 [次へ]をクリックします。指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。
- 11 [残区画面積]を確認します。ここでは、[残区画面積]を最後の区画の面積にするので、そのまま[OK]をクリックします。

定面積分割：区画調整 ?

元区画面積 515.59 m<sup>2</sup>

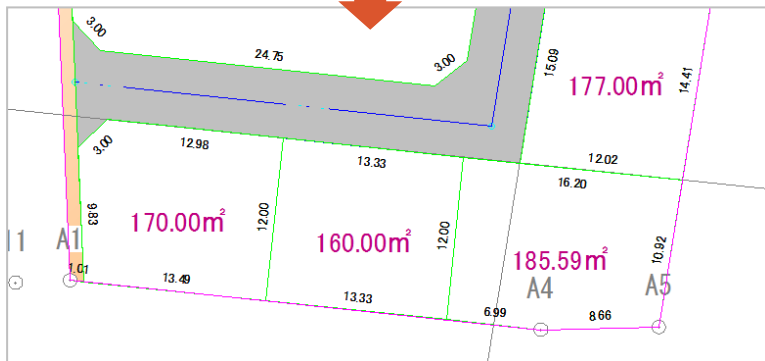
No.	区画名	面積(m <sup>2</sup> )	属性
1		170.00	
2		160.00	
3		185.59	

残面積 0.00 m<sup>2</sup> 残調整(A)

※面積が0m<sup>2</sup>の区画は無効となり作成されません。  
 ※面積の丸めなどにより、誤差が出る可能性があります。  
 この誤差分の面積は、最後の区画で調整されます。

表示更新(B)

OK キャンセル



**12** [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。本書では、区画名、属性は後で一括入力するので、空白のままにしておきます。

**13** [OK]をクリックします。仮分割した区画が確定入力され、操作が終了します。

## 区画Dを定面積分割で分割する

区画Dを[区画]-[定面積分割]の[面積指定]を使用して分割します。

**1** 分割する区画Dをクリックします。

**2 3** [分割タイプ]の[面積指定]、[分割モード]の[平行]のチェックをオンにします。

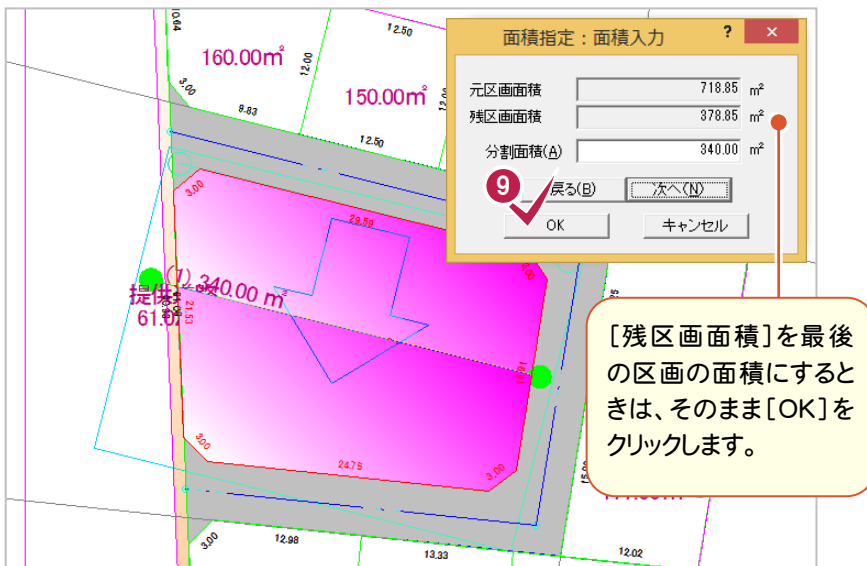
**4** [OK]をクリックします。

**5 6** 基準となる線(道路)の2点をクリックします。[面積指定：面積入力]ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。

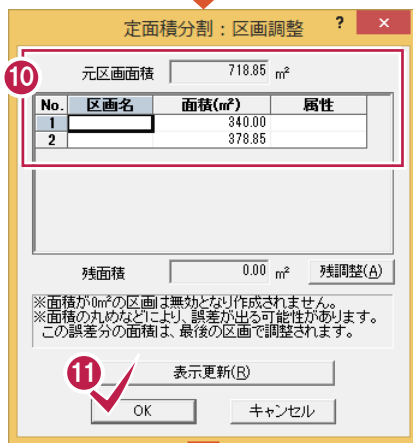
**7** [分割面積]に分割する区画の面積を入力します。ここでは「340」と入力します。

**8** [次へ]をクリックします。

指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。

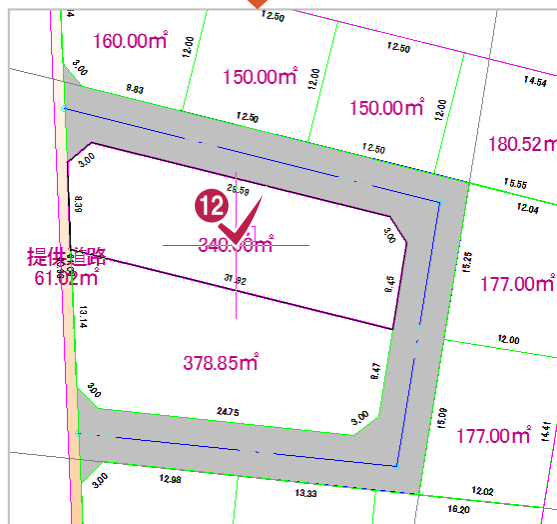


9 [残区画面積]を確認します。ここでは、[残区画面積]を最後の区画の面積にするので、そのまま[OK]をクリックします。

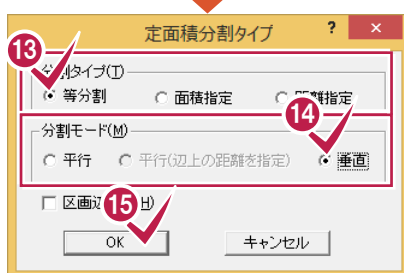


10 [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。本書では、区画名、属性は後で一括入力するので、空白のままにしておきます。

11 [OK]をクリックします。仮分割した区画が確定入力され、操作が終了します。

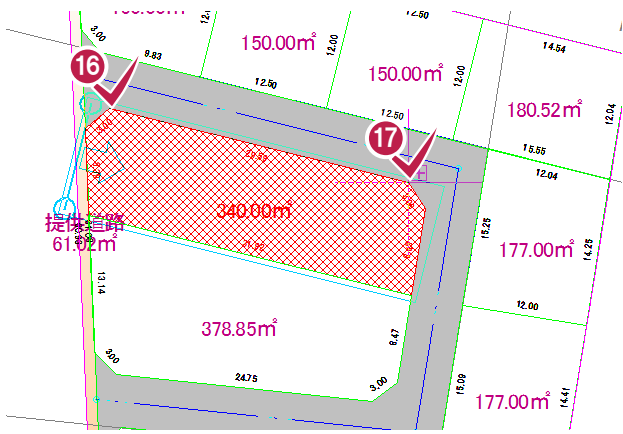


12 続けて上側の区画を分割するので、上側の区画をクリックします。



13 14 [分割タイプ]の[等分割]、[分割モード]の[垂直]のチェックをオンにします。

15 [OK]をクリックします。



等分割：分割数入力

元区画面積 340.00 m<sup>2</sup>

分割1区画面積 170.00 m<sup>2</sup>

分割数(N) 2

OK キャンセル



定面積分割：区画調整

元区画面積 340.00 m<sup>2</sup>

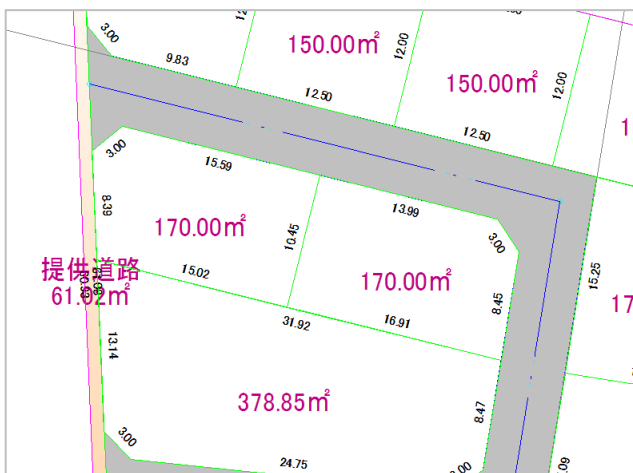
No.	区画名	面積(m <sup>2</sup> )	属性
1		170.00	
2		170.00	

残面積 0.00 m<sup>2</sup> 残調整(△)

※面積が0m<sup>2</sup>の区画は無効となり作成されません。  
 ※面積の丸めなどにより、誤差が出る可能性があります。  
 この誤差分の面積は、最後の区画で調整されます。

表示更新(B)

OK キャンセル



16 17

基準となる線(道路)の2点をクリックします。  
 [等分割：分割数入力]ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。

18 [分割数]に「2」と入力します。

19 [OK]をクリックします。

20 [面積]セルで分割した面積を確認します。

21 [OK]をクリックします。区画が分割され、面積が表示されます。



## 旗竿地入力で区画を分割する

旗竿地(旗形地・敷地延長・旗竿敷地)を作成し、区画を分割することもできます。ただし、L字型の旗竿地のみ作成可能で、T字型などの旗竿地は作成できません。



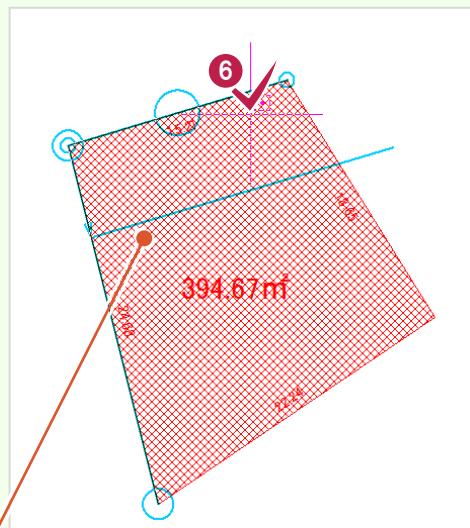
1 2

[専用]グループの[区画] - [旗竿地作成]をクリックします。

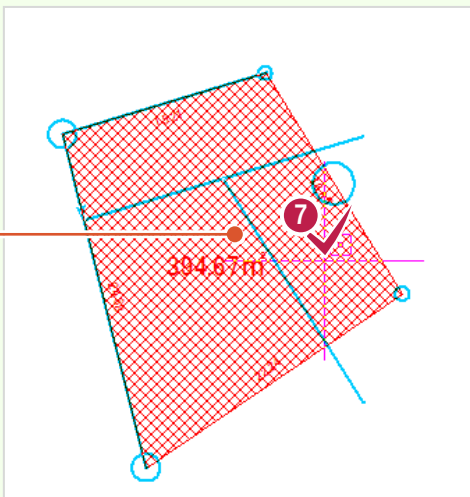
3 旗竿地を作成する区画をクリックします。

4 5

進入口の区画辺、進入口の位置をクリックします。



6 マウスポインタを移動すると、進入路を決めるための基準となる区画辺が表示されますので、指定する区画辺が表示された状態でクリックします。



7 マウスポインタを移動すると、敷地を決めるための基準となる区画辺が表示されますので、指定する区画辺が表示された状態でクリックします。

○印が表示されている区画辺に平行な線が表示されます。



旗竿地作成：面積・距離入力

元区画面積 394.67 m<sup>2</sup>

面積計算時の面積指定対象(M)  
 旗竿地敷地部  残区画

旗竿地設定  
 区画名(N) A 区画属性(T) 1 ? 宅地

敷地面積 A-1(1) 170.00 m<sup>2</sup>

進入部面積 A-2(2) 20.58 m<sup>2</sup>

合計面積 A(A) 190.58 m<sup>2</sup>

進入口幅(W) 3.00 m

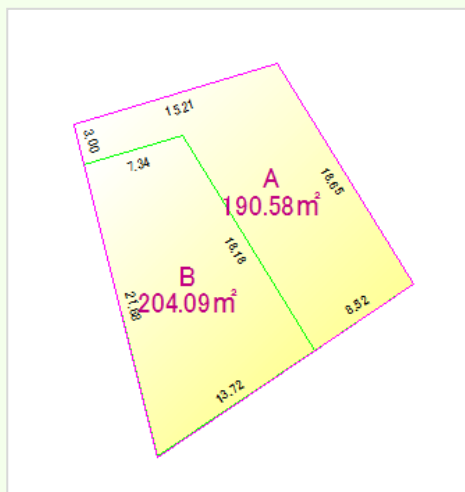
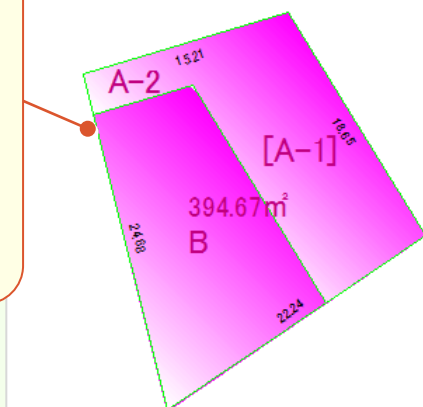
隣切り辺長(S) 3.00 m

残区画設定  
 区画名(P) B 区画属性(Q) 2 宅地

面積 204.09 m<sup>2</sup>

再計算(B) OK キャンセル

[再計算]をクリックすると、A-1(旗竿地敷地面積)、A-2(旗竿地進入部面積)、B(残区画面積)が再計算されて表示されますので確認してください。



8 [面積計算時の面積指定対象]で[旗竿地敷地部]を指定するか、[残区画]を指定するかを選択します。入力例では、[旗竿地敷地部]を選択します

9 [旗竿地設定]の[区画名]に旗竿地の区画名を入力して[区画属性]で区画の属性を設定します。

10 [残区画設定]の[区画名]に残区の区画名を入力して[区画属性]で区画の属性を設定します。

11 [敷地面積 A-1]に旗竿地の敷地面積を入力します。

12 [進入口幅]に進入口幅を入力します。

13 [再計算]をクリックします。A-1(旗竿地敷地面積)、A-2(旗竿地進入部面積)、B(残区画面積)が再計算されてCAD上に表示されます。

8、11～13の操作を繰り返して、旗竿地を決めます。

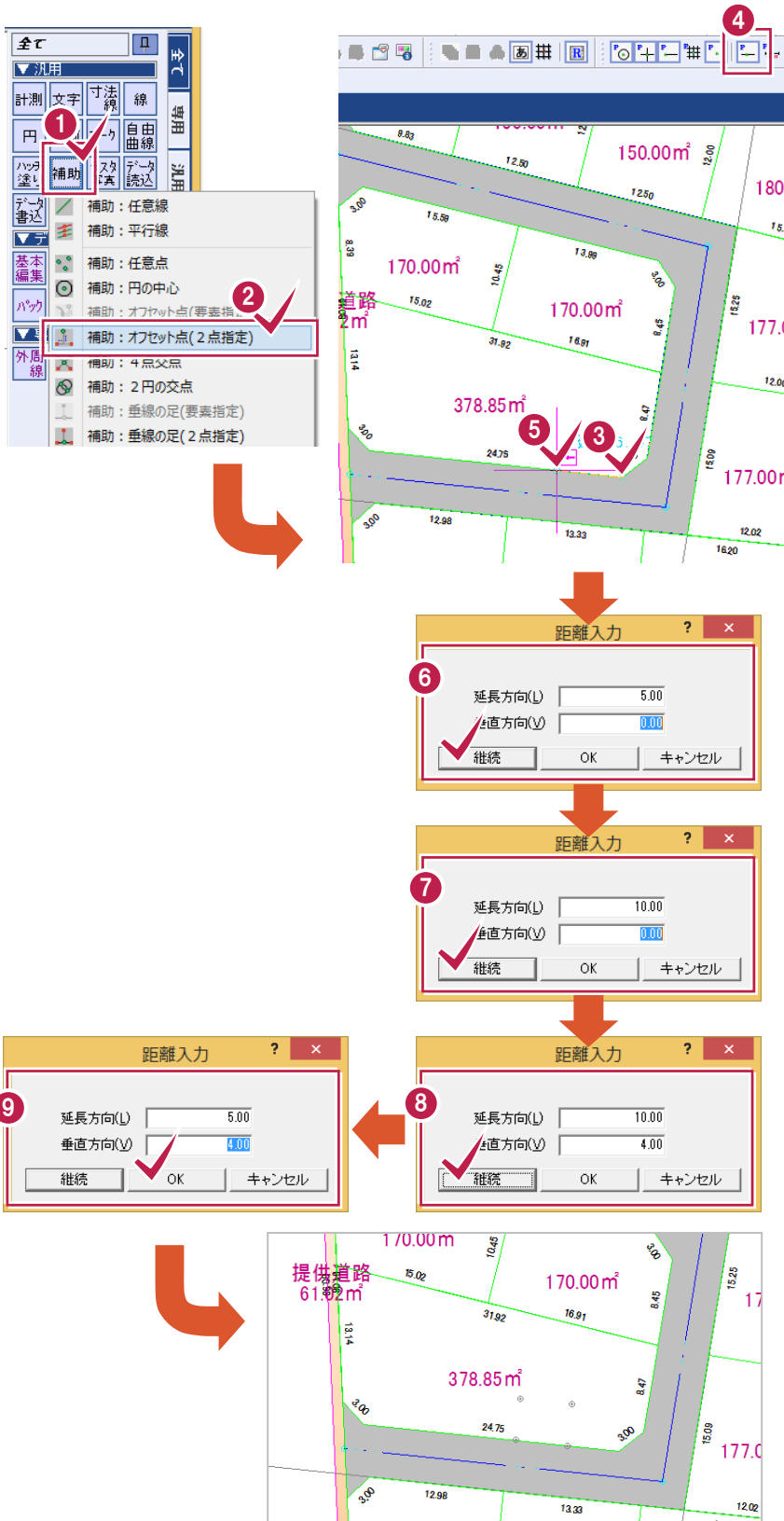
14 旗竿地が確定したら、[OK]をクリックします。区画が分割されます。

ゴミ置場の区画を分割します

入力例では、補助点でゴミ置場の4点を入力してから、[区画]-[分割線入力]で分割線を入力して区画を分割します。

### 区画Dを定面積分割で分割する

[補助]-[オフセット点(2点指定)]で補助点を入力します。



- 1 [汎用]グループの[補助]をクリックします。
- 2 [オフセット点(2点指定)]をクリックします。
- 3 4 5 オフセットの基準となる道路の1点目をクリックし、[ピックアップモード:線上]をオンにして、基準となる道路の2点目をクリックします。
- 6 [延長方向]に「5」、[垂直方向]に「0」を入力し[継続]をクリックして補助点を入力します。
- 7 同様に[延長方向]に「10」、[垂直方向]に「0」を入力し[継続]をクリックして、補助点を入力します。
- 8 同様に[延長方向]に「10」、[垂直方向]に「4」を入力し[継続]をクリックして、補助点を入力します。
- 9 同様に[延長方向]に「5」、[垂直方向]に「4」を入力し[OK]をクリックします。



## 分割線を入力して区画を分割する

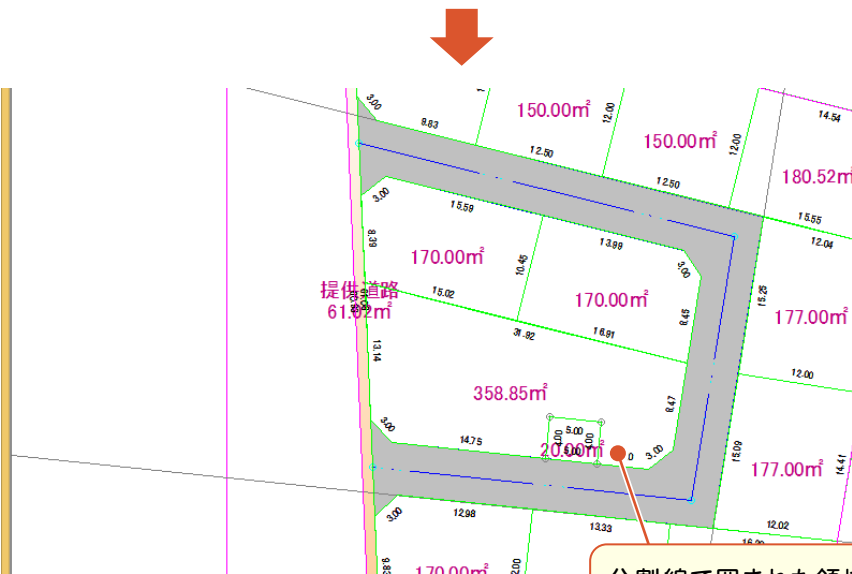
補助点を指定して分割線を入力して、ゴミ置場の区画を分割します。



- 1 [専用]グループの[区画]をクリックします。
- 2 [分割線入力]をクリックします。



- 3 4 5 6 補助点を順にクリックします。
- 7 入力を終了したら、インプットバーの[終了]をクリックします。入力した分割線で区画が分割され、面積が表示されます。



分割線で囲まれた領域が区画になり、分割された面積が表示されます。

## 7-6 区画情報を設定する

入力した区画の情報(名称、属性など)を設定します。

### 公園、ゴミ置場の情報を設定する

公園、ゴミ置場の情報(名称、属性など)を設定します。



No.	区画名	属性	面積(m <sup>2</sup> )
1	提供道路	3 セットバック	6
2			17
3			16
4			18
5			17
6			17
7			16
8			15
9			15
10			18
11			17
12			17
13	ゴミ置場	12 ゴミ置場	2
14	公園	11 公園	35

総面積: 2289.98 m<sup>2</sup>

- 1 [専用]グループの[区画]をクリックします。
- 2 [区画情報]をクリックします。
- 3 No.13の区画をゴミ置場、No.14の区画を公園に設定します。

No.13の  
[区画名]:「ゴミ置場」  
[属性]:「12 ゴミ置場」

No.14の  
[区画名]:「公園」  
[属性]:「11 公園」



### 区画属性ごとの面積比率を確認する

区画情報の[面積比率]タブをクリックすると、区画属性ごとの面積比率を確認することができます。

No.	属性	面積(m <sup>2</sup> )	比率(%)
1	道路	481.63	17.38
2	セットバック	61.02	2.20
3	公園	358.85	12.95
4	ゴミ置場	20.00	0.72
5	無属性	1850.11	66.75
6	合計	2771.61	100.00

# 宅地の情報を一括設定する

宅地の情報(名称、属性など)を一括設定します。

The process is shown in several steps:

- Step 1:** Selecting the range of plots (No. 2 to No. 12) in the main table.
- Step 2:** Clicking the 'Range Correction' button.
- Step 3:** The 'Range Correction' dialog box appears, where 'Start Plot Name (N)' is set to 'No.1'.
- Step 4:** Clicking 'OK' in the 'Range Correction' dialog box.
- Step 5:** The main table now shows plots No. 2 to No. 12 selected.
- Step 6:** Clicking the 'Range Correction' button again.
- Step 7:** The 'Property Bulk Correction' dialog box appears, where the value '2 宅地' is selected.
- Step 8:** Clicking 'OK' in the 'Property Bulk Correction' dialog box.

The final result is shown in the plot plan, where plots No. 2 to No. 12 are highlighted in yellow, indicating they are now residential plots. A callout box states: **区分属性マスタの設定で表示されます。**

1 2

No.2~No.12の[区画名]セルを選択して[範囲訂正]をクリックします。  
[区画名一括訂正]ダイアログが表示されます。

3 4

[開始区画名]を入力して[OK]をクリックします。  
ここでは、No.1から連番で設定するので、「No.1」と入力します。

5 6

No.2~No.12の[区画名]セルを選択して[範囲訂正]をクリックします。  
[区画名一括訂正]ダイアログが表示されます。

7 8

[値]の[▼]をクリックして「2 宅地」を選択し、[OK]をクリックします。  
No.2~No.12の[属性]セルに「2 宅地」が一括入力されます。

7

宅地割り計画データの入力(パターン1)

## 区画を属性順に並べ替える

No.	区画名	属性	面積(m <sup>2</sup> )
1	提供道路	3 セット/ツ	6
2	No.1	2 宅地	17
3	No.2	2 宅地	16
4	No.3	2 宅地	18
5	No.4	2 宅地	17
6	No.5	2 宅地	17
7	No.6	2 宅地	16
8	No.7	2 宅地	15
9	No.8	2 宅地	15
10	No.9	2 宅地	18
11	No.10	2 宅地	17
12	No.11	2 宅地	17
13	ゴミ置場	12 公園	2
14	公園	11 公園	35

総面積 2289.98 m<sup>2</sup>

属性順(S) 上へ(U) 下へ(D)

区画合成(W)

CSV出力(C)...

終了

区画情報コマンド利用中は、UNDO・REDOができません。

1 [属性順]をクリックします。  
区画が属性順に並びます。



No.	区画名	属性	面積(m <sup>2</sup> )
1	No.1	2 宅地	17
2	No.2	2 宅地	16
3	No.3	2 宅地	18
4	No.4	2 宅地	17
5	No.5	2 宅地	17
6	No.6	2 宅地	16
7	No.7	2 宅地	15
8	No.8	2 宅地	15
9	No.9	2 宅地	18
10	No.10	2 宅地	17
11	No.11	2 宅地	17
12	提供道路	3 セット/ツ	6
13	公園	11 公園	35
14	ゴミ置場	12 公園	2

総面積 2289.98 m<sup>2</sup>

並べ替え

属性順(S) 上へ(U) 下へ(D)

完了

CSV出力(C)...

終了

区画情報コマンド利用中は、UNDO・REDOができません。

2 並べ替えが終了したら、  
[完了]をクリックします。

区分が属性順に並べ替わります。

7

宅地割り計画データの入力(パターン1)



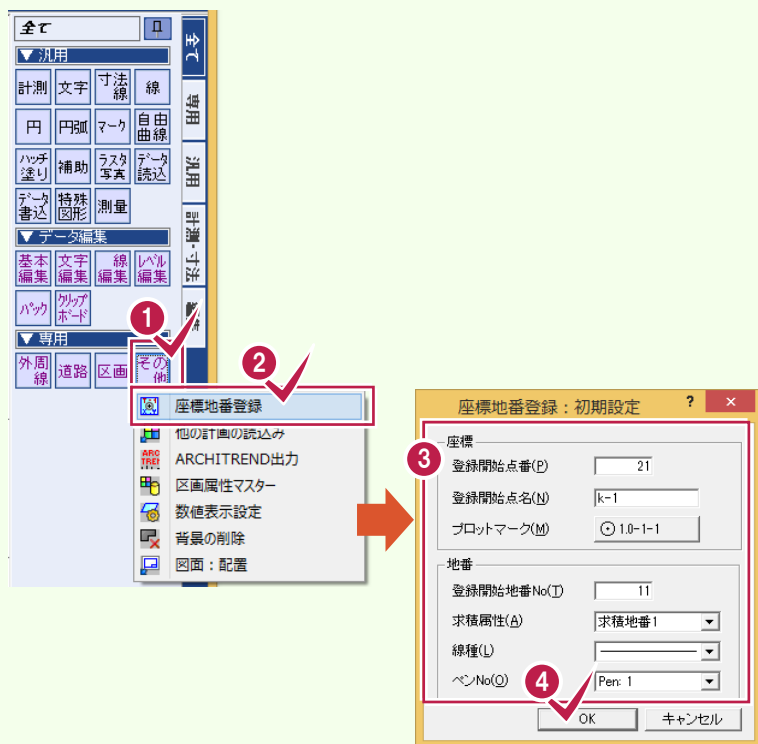
### [上へ][下へ]ボタンで並べ替える

[上へ][下へ]ボタンで並べ替えることもできます。

区画情報一覧で移動する行を選択してから、[上へ]または[下へ]ボタンをクリックすると、選択されている行が1つ上または1つ下へ移動します。

区画により作成された座標、地番を[座標管理][地番管理]に登録する

[その他]－[座標地番登録]で、確定したパターンの宅地割り計画データの区画より、座標地番を登録することができます。



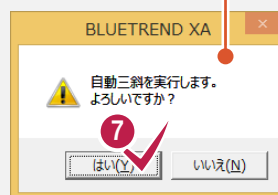
- 1 [専用]グループの[その他]をクリックします。
- 2 [座標地番登録]をクリックします。  
座標地番登録：初期設定]ダイアログが表示されます。
- 3 4 [座標]グループ、[地番]グループの各設定を入力して、[OK]をクリックします。



- 5 登録する座標を確認して、[次へ]をクリックします。
- 6 登録する地番を確認して、[終了]をクリックします。
- 7 入力例では、自動三斜するので[はい]をクリックします。



[ツール]－[条件設定]コマンドの[共通]タブの[登録時の自動三斜]が[する]または[しない]のときは、自動三斜確認のメッセージは表示されません。



# 7-7

## [宅地割り計画]を終了する

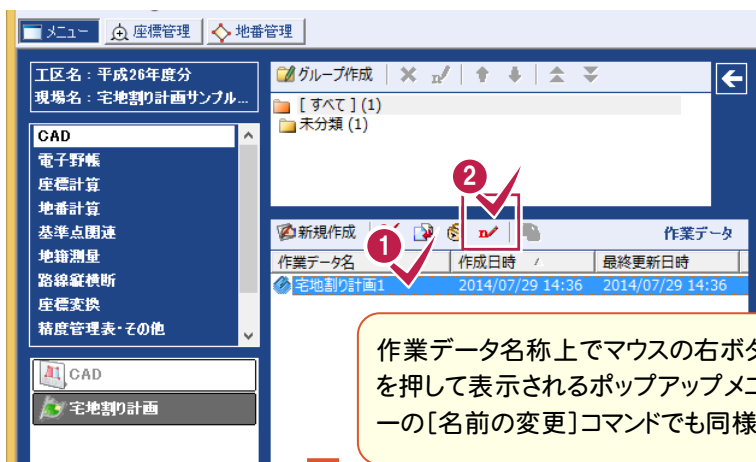


- 1 [データクローズ]をクリックします。  
[宅地割り計画]ウィンドウが閉じ、  
メインメニューへ戻ります。

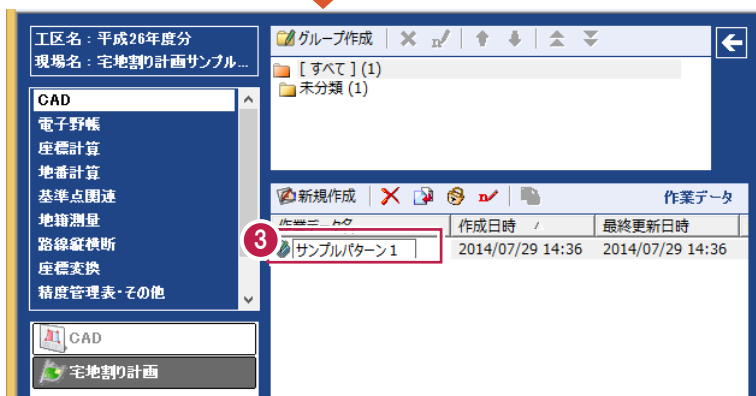
# 7-8

## 作業データ名を変更する

作業データ終了時に自動で名前がつけられますが、管理しやすいように作業データ名を変更しておくことをお勧めします。入力例では、自動でつけられた「宅地割り計画1」を「サンプルパターン1」という名前に変更する例で解説します。



- 1 名前を変更する作業データを、クリックして選択します。
- 2 作業データ一覧の上部に配置されている[データ名称変更]をクリックします。  
選択されている作業データ名称において、文字列入力可能状態になります



- 3 変更後のデータ名称(入力例では、「サンプルパターン1」)を入力して、Enterキーを押します。

### メモ データの保存について

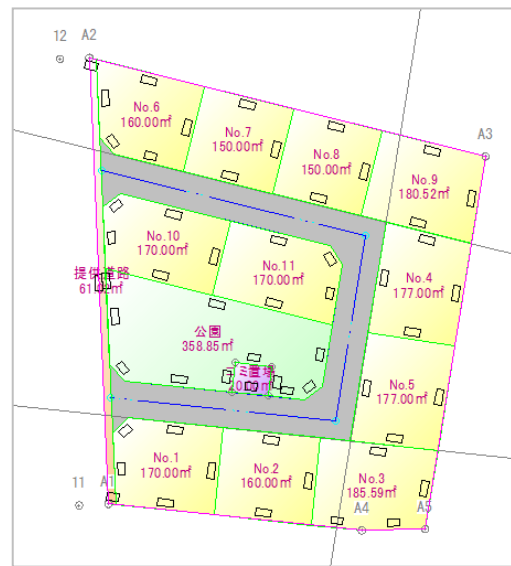
BLUETREND XA での作業データはメモリ上に保存されているため、[ファイル]-[名前を付けて保存]コマンドもしくは[ファイル]-[上書き保存]コマンドを実行するまでハードディスクに保存されていません。ハードディスクに保存せずに、BLUETREND XA を終了したり、コンピューターの電源を切ったりすると、データは消滅します。ハードディスクなどの記憶装置に保存するためには、[ファイル]-[名前を付けて保存]コマンドもしくは[ファイル]-[上書き保存]コマンドを実行してください。

ただし、作業データ単位での保存はできません。複数の作業データを1つの現場データとして保存します。現場データの保存については、「現場データの保存」(P.75)を参照してください。



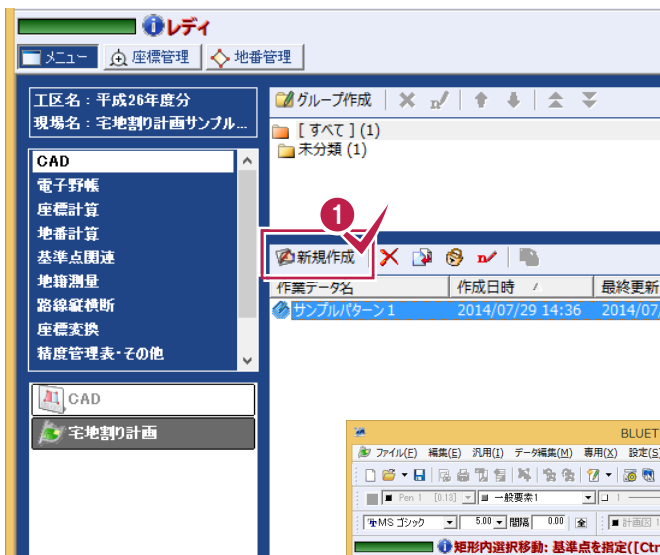
# 8 宅地割り計画データの入力 (パターン2)

[宅地割り計画]プログラムで、パターン1のデータを読み込み、区画を修正してパターン2(右図参照)の宅地割り計画データを入力する操作を解説します。

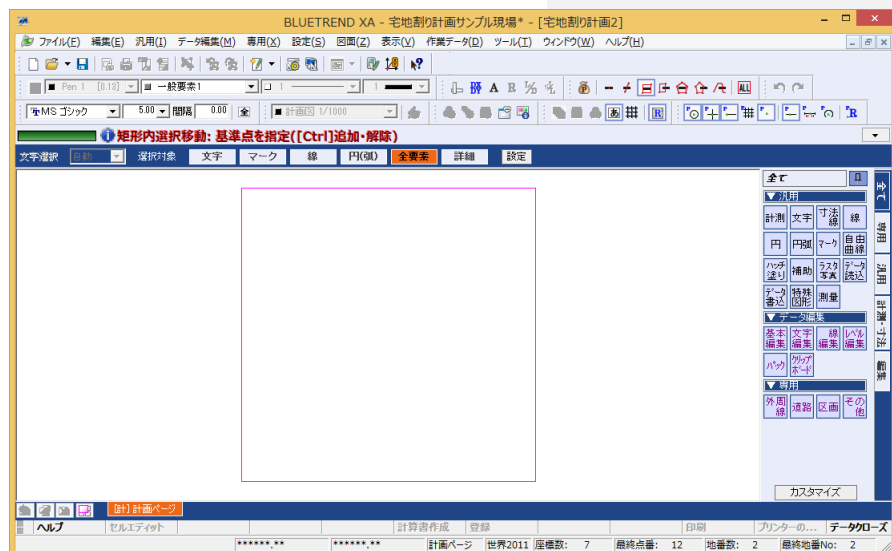


## 8-1 [宅地割り計画]を起動する

[宅地割り計画]を起動します。

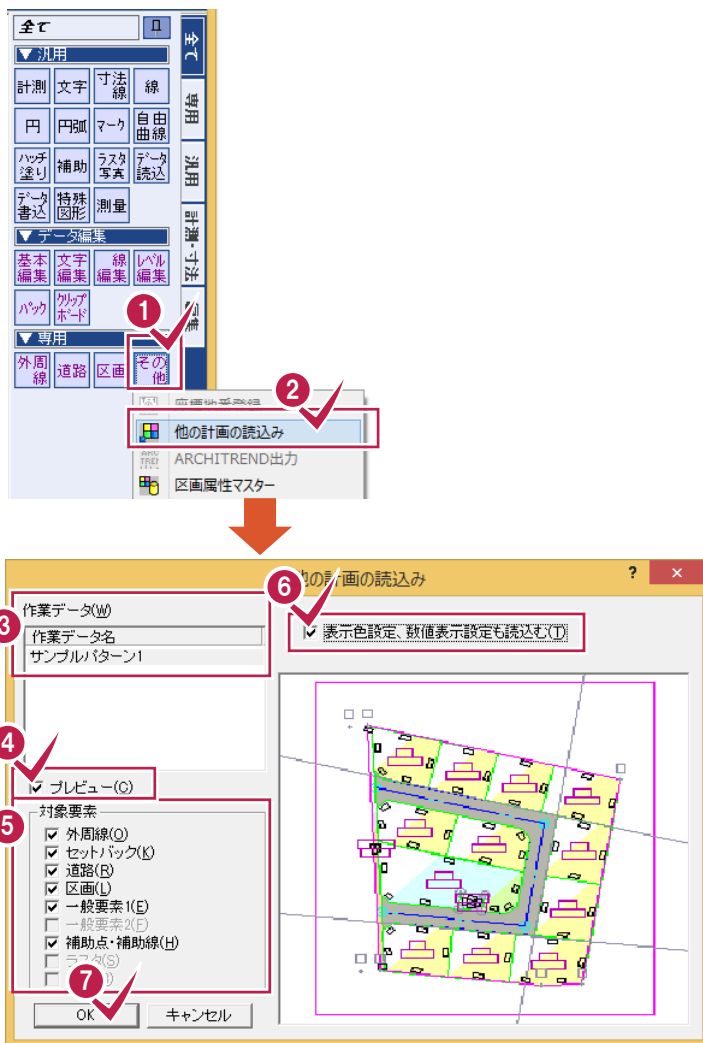


- 1 メインメニューで[CAD]の[宅地割り計画]が選択されていることを確認して、作業データ一覧の上部に配置されている[新規作成]をクリックします。  
[宅地割り計画]ウィンドウが表示されます



パターン1の計画データを読み込みます。

入力例では、区画を変更するので、外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線のデータを読み込みます。



1 [専用]グループの[その他]をクリックします。

2 [他の計画の読み込み]をクリックします。

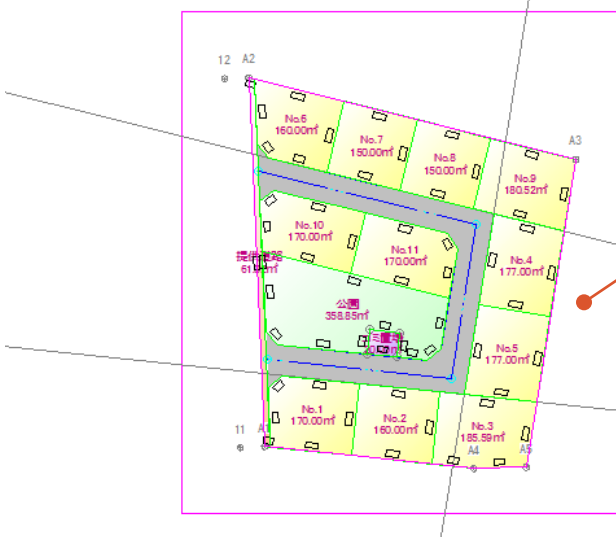
3 [作業データ]で読み込む作業データを選択します。  
ここでは、「サンプルパターン1」が選択されていることを確認します

4 [プレビュー]をクリックしてチェックをオンにします。  
右側に選択されている作業データがプレビュー表示されます

5 [対象要素]で読み込む要素のチェックをオンにします。

6 [表示色設定、数値表示設定も読み込む]のチェックをオンにします。

7 [OK]をクリックします。  
入力例では、「サンプルパターン1」の外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線が読み込まれます



「サンプルパターン1」の外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線が読み込まれます。



# 8-3

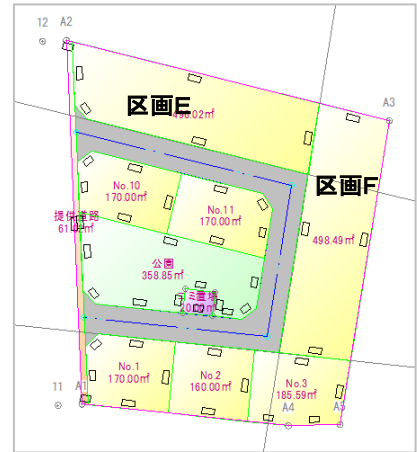
## パターン2の区画を入力する

パターン2の区画を入力します。

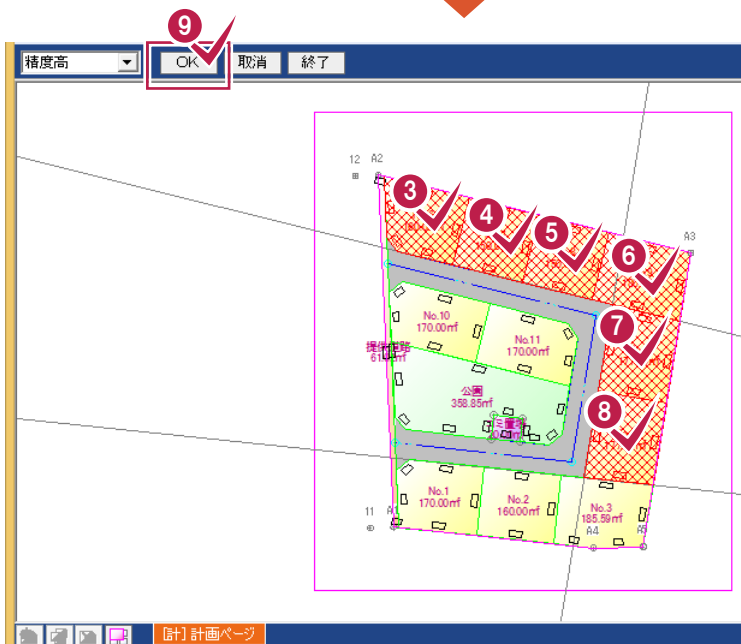
本書ではパターン1の区画No.4~No.9を、区画E、区画Fに変更してから、区画E、区画Fを定面積分割で分割する操作を解説します。

### 【操作手順】

1. パターン1の区画No.4~No.9を合成する。
2. 分割線を入力して、区画E、区画Fに分割する。
3. 区画Eを定面積分割の等分割で分割する。
4. 区画Fを定面積分割の面積指定で分割する。



### パターン1の区画No.4~No.9を合成する



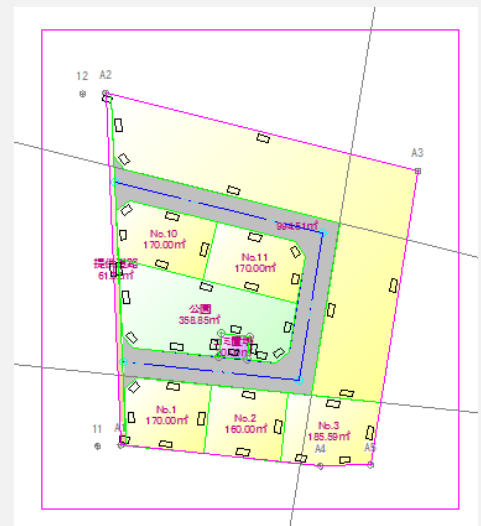
1 [専用]グループの[区画]をクリックします。

2 [区画合成]をクリックします。

3 4 5 6 7 8

区画No.6~No.9、区画No.4~No.5をクリックして選択します。

9 [OK]をクリックします。  
区画No.4~No.9が合成されます。

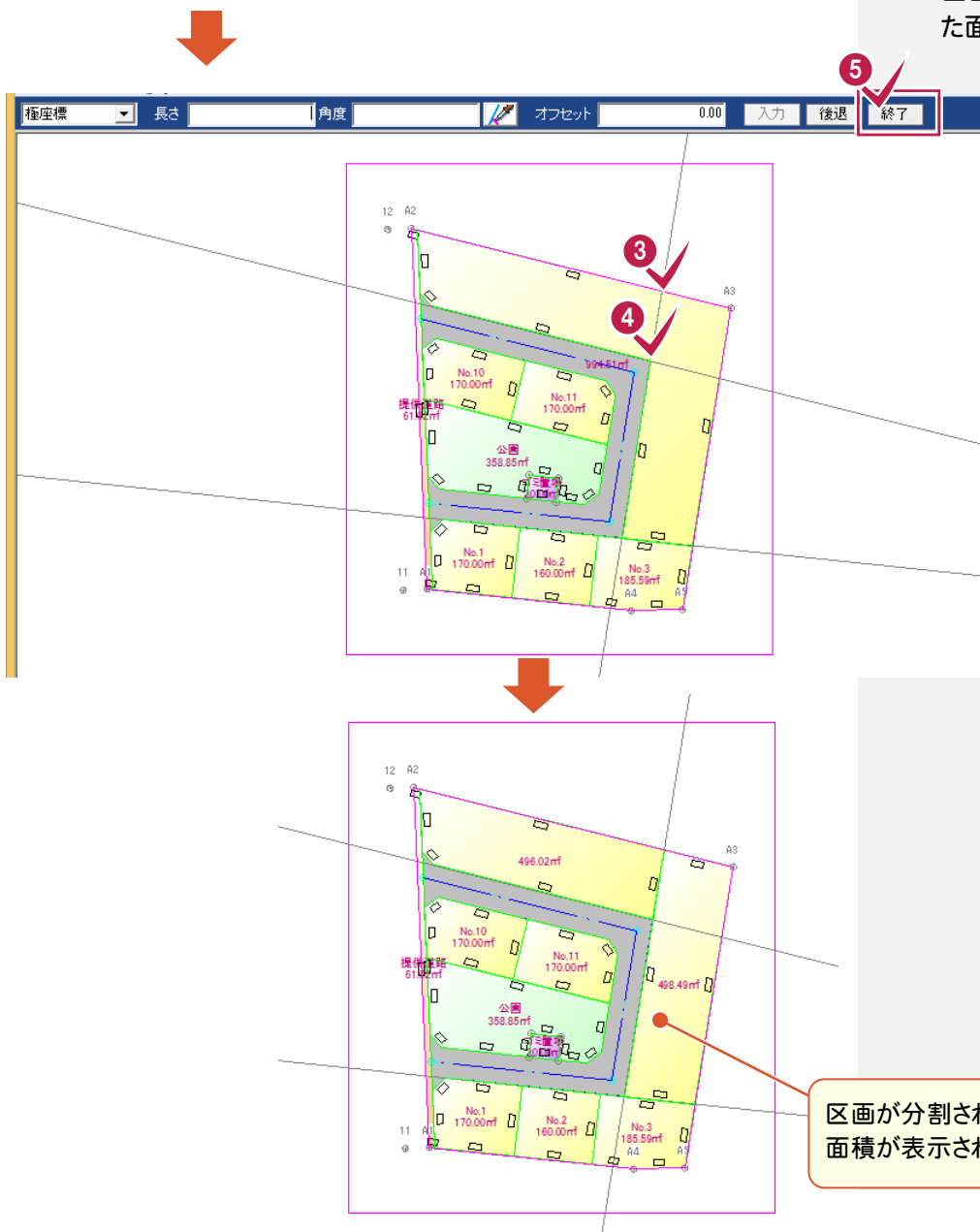


## 分割線を入力する

分割線を入力して、パターン2の区画E、Fに分割します。



- 1 [専用]グループの[区画]をクリックします。
- 2 [分割線入力]をクリックします。
- 3 4 分割線の始点、終点をクリックします。
- 5 [終了]をクリックします。区画が分割され、分割された面積が表示されます。



8

宅地割り計画データの入力(パターン2)

## 区画Eを定面積分割で分割する

区画Eを、等分割で道路に垂直に分割します。

入力例では、[区画]-[定面積分割]の[等分割]を使用して解説します。

1 [専用]グループの[区画]をクリックします。

2 [定面積分割]をクリックします。

3 分割する区画Eをクリックします。  
[定面積分割タイプ]ダイアログが表示されます。

4 5 6 [分割タイプ]の[等分割]、  
[分割モード]の[垂直]をクリックして[OK]をクリックします。

7 8 基準となる線(道路)の2点をクリックします。  
[等分割:分割数入力]ダイアログが表示されます。また、CAD画面には分割する方向が矢印で表示されます。

9 10 [分割数]に分割数(ここでは「3」)を入力し、[OK]をクリックします。

11 [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。  
入力例では、区画名を後で一括入力するので、空白のままにしておきます。

12 [OK]をクリックします。  
区画が分割され、面積が表示されます。

No.	区画名	面積(m <sup>2</sup> )	属性
1		165.34	2 宅地
2		165.34	2 宅地
3		165.34	2 宅地

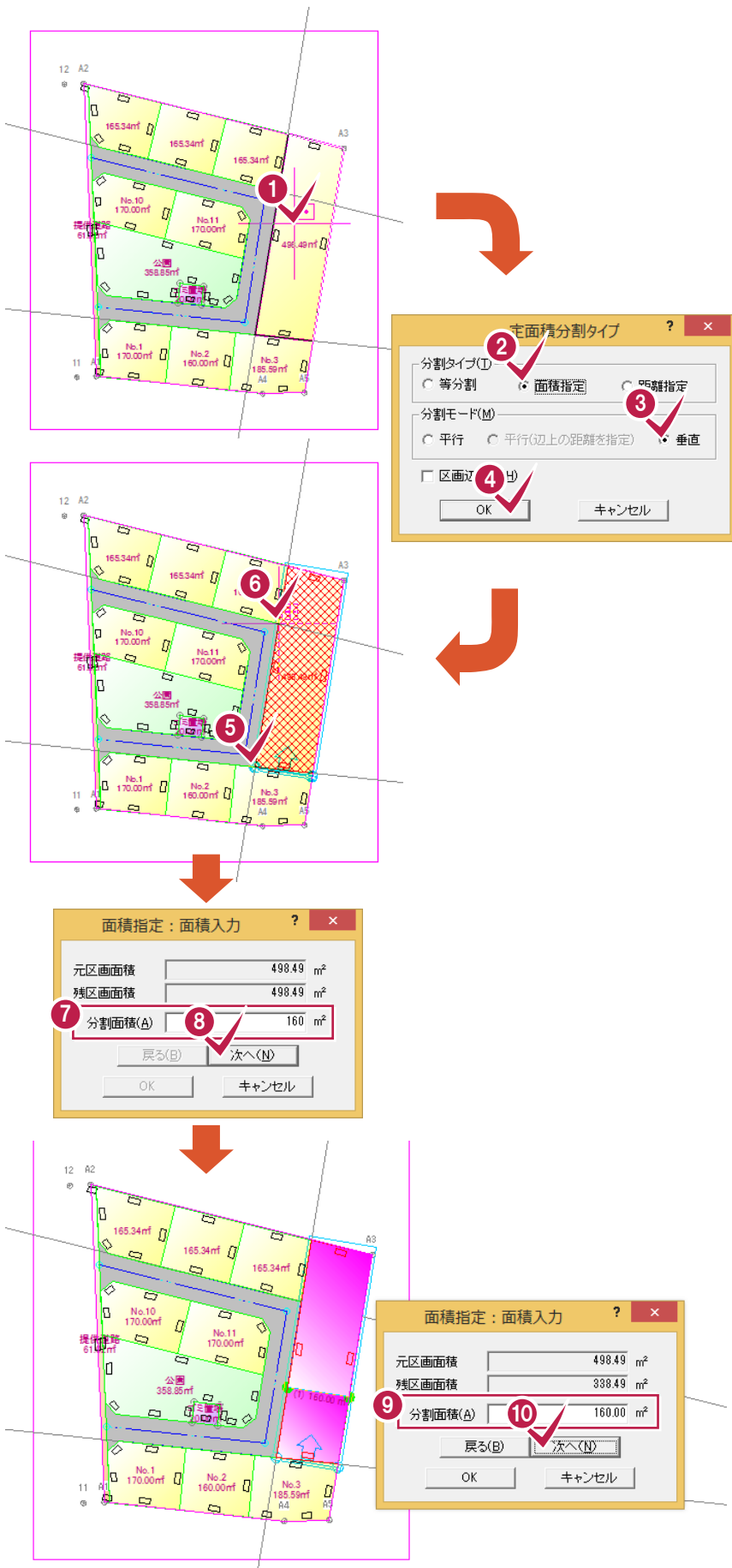
8

宅地割り計画データの入力(パターン2)

## 区画Fを定面積分割で分割する

区画Fを、面積を指定して道路に垂直に分割します。

入力例では、[区画]-[定面積分割]の[面積指定]を使用して解説します。



**1** 分割する区画Fをクリックします。  
[定面積分割タイプ]ダイアログが表示されます。

**2 3 4** [分割タイプ]の[面積指定]、  
[分割モード]の[垂直]をクリックして、  
[OK]をクリックします。

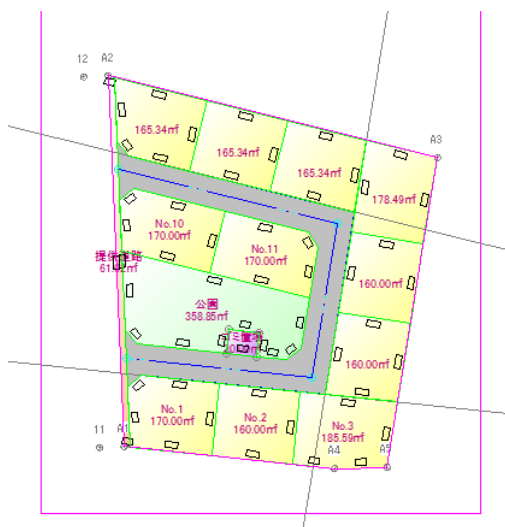
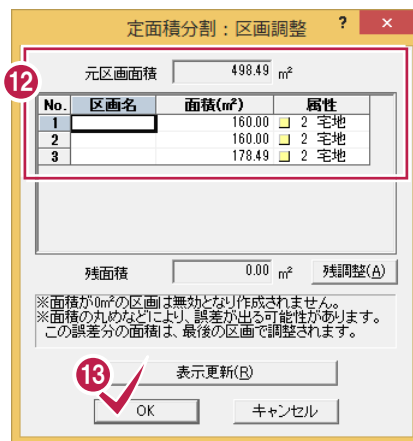
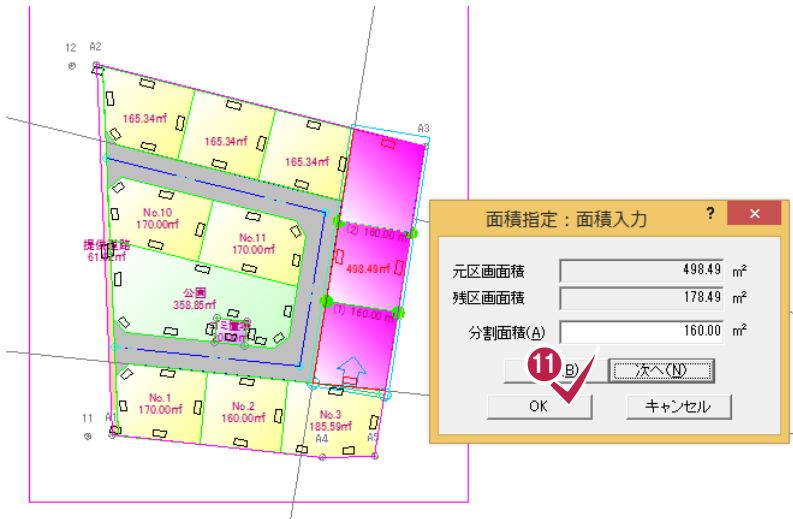
**5 6** 基準となる線(道路)の2点を  
クリックします。  
[面積指定:面積入力]ダイア  
ログが表示されます。また、  
CAD画面には分割する方向  
が矢印で表示されます。

**7 8** [分割面積]に分割する区画  
の面積(ここでは「160」)を入  
力し、[次へ]をクリックします。  
指定した面積で区画が仮分  
割され、表示されます。

**9** 続けて[残区画面積]を確認  
して、[分割面積]に分割す  
る区画の面積を入力します。  
ここでは「160」と入力しま  
す。

**10** [次へ]をクリックします。

指定した面積で区画が仮分割され、表示されます。



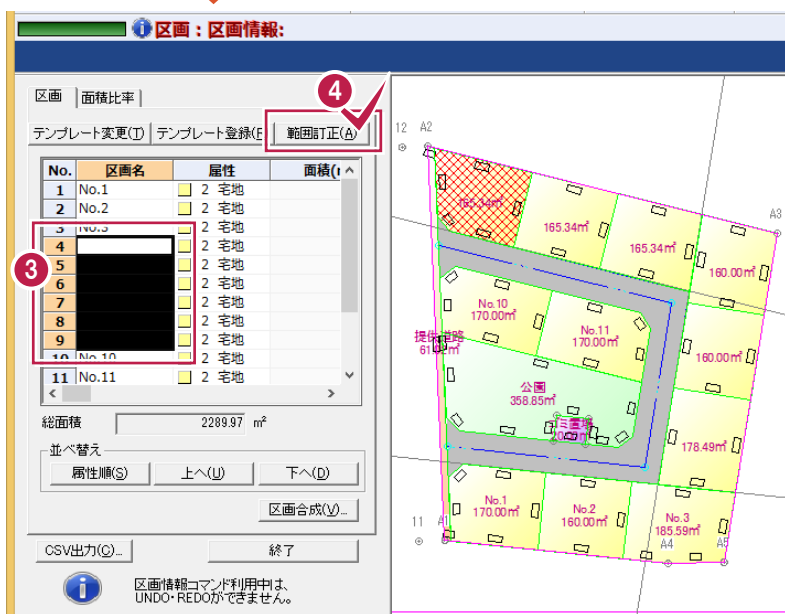
**11** [残区画面積]を確認します。ここでは[残区画面積]を最後の区画の面積にするので、そのまま[OK]をクリックします。

[定面積分割タイプ]ダイアログが表示されます。

**12** [面積]セルで定面積分割した面積を確認します。本書では、区画名、属性は後で一括入力するので、空白のままにしておきます。

**13** [OK]をクリックします。仮分割した区画が確定入力され、操作が終了します。

入力した区画の名称を設定します。



1 [専用]グループの[区画]をクリックします。

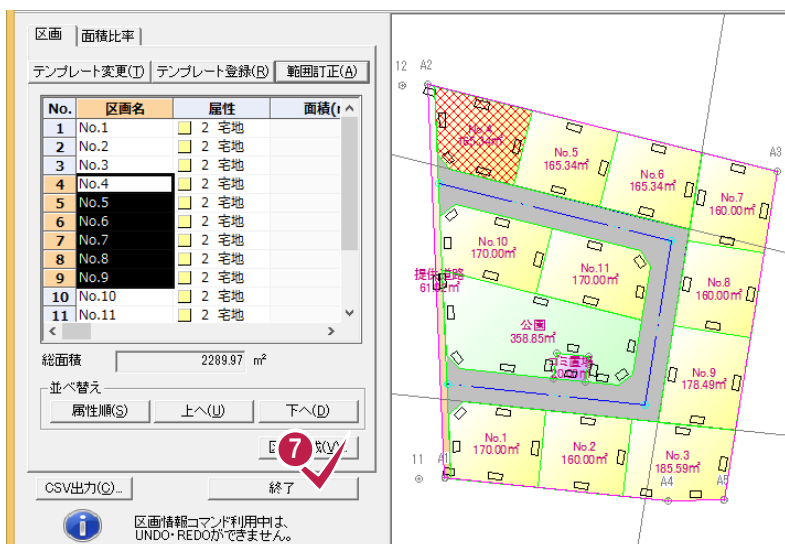
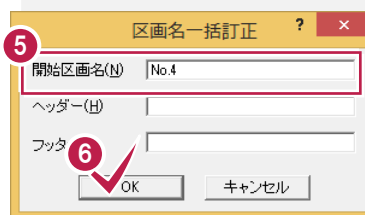
2 [区画情報]をクリックします。  
画面左側に区画情報入力画面が表示されます。

3 No.4～No.9の[区画名]セルを選択します。

4 [範囲訂正]をクリックします。

5 [開始区画名]を入力します。  
ここでは、No.4から連番で設定するので、「No.4」と入力します。

6 [OK]をクリックします。No.4～No.9の[区画名]セルにNo.4から連番で一括入力されます。



7 [終了]をクリックします。



## 8-5

# [宅地割り計画]を終了する

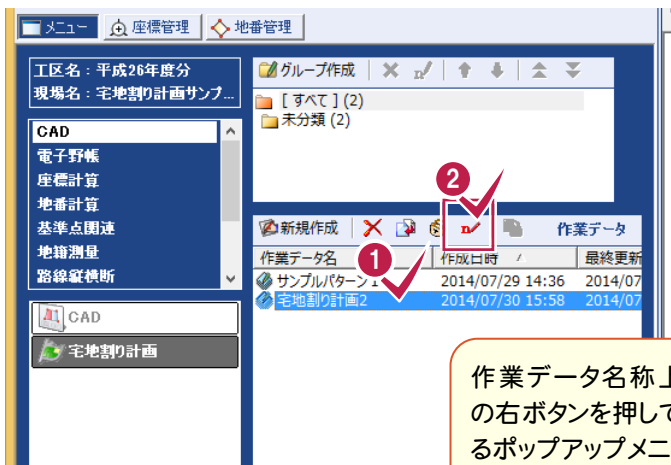


- 1 [データクローズ]をクリックします。

## 8-6

# 作業データ名を変更する

作業データ終了時に自動で名前がつけられますが、管理しやすいように作業データ名を変更しておくことをお勧めします。入力例では、自動でつけられた「宅地割り計画2」を「サンプルパターン2」という名前に変更する例で解説します。

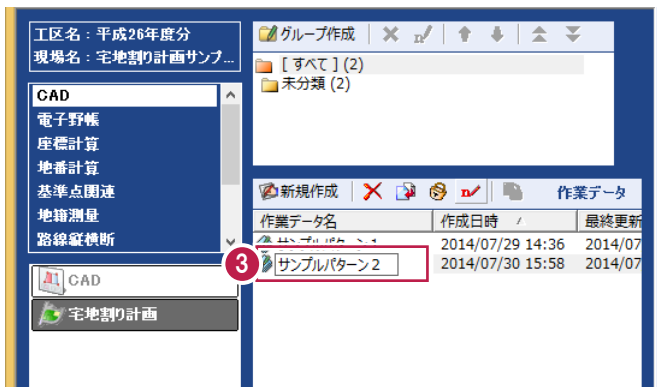


作業データ名称上でマウスの右ボタンを押して表示されるポップアップメニューの[名前の変更]コマンドでも同様。

- 1 [名前を変更する作業データを、クリックして選択します。

- 2 作業データ一覧の上部に配置されている[データ名称変更]をクリックします。選択されている作業データ名称において、文字列入力可能状態になります。

- 3 変更後のデータ名称(入力例では、「サンプルパターン2」)を入力して、Enterキーを押します。



メモ

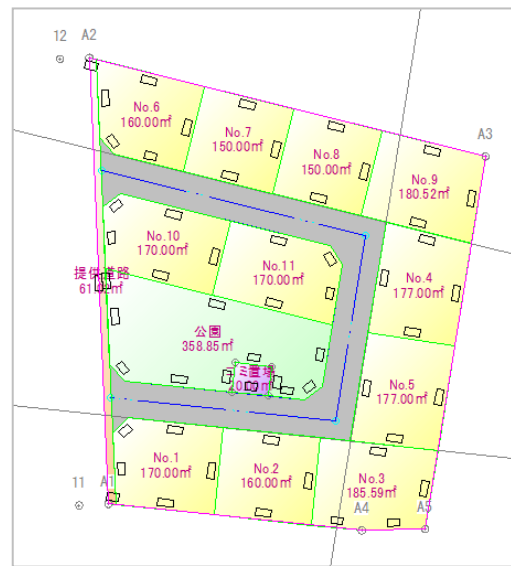
### データの保存について

BLUETREND XA での作業データはメモリ上に保存されているため、[ファイル]-[名前を付けて保存]コマンドもしくは[ファイル]-[上書き保存]コマンドを実行するまでハードディスクに保存されていません。ハードディスクに保存せず、BLUETREND XA を終了したり、コンピューターの電源を切ったりすると、データは消滅します。ハードディスクなどの記憶装置に保存するためには、[ファイル]-[名前を付けて保存]コマンドもしくは[ファイル]-[上書き保存]コマンドを実行してください。

ただし、作業データ単位での保存はできません。複数の作業データを1つの現場データとして保存します。現場データの保存については、「現場データの保存」(P.75)を参照してください。

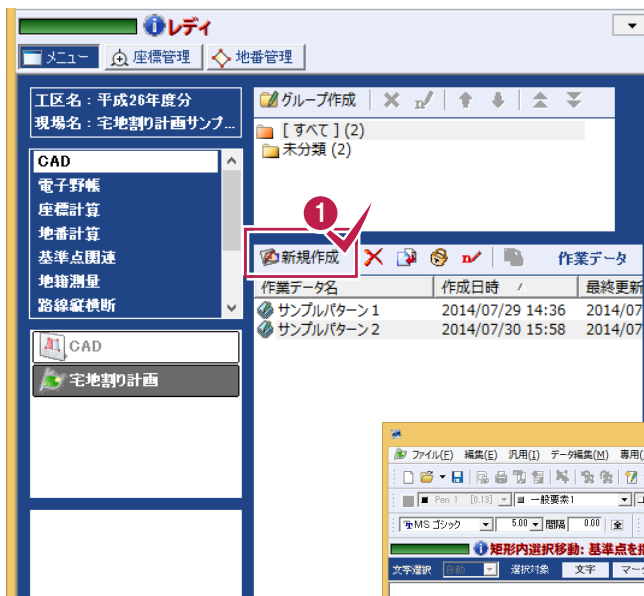
# 9 宅地割り計画データの入力 (パターン3)

[宅地割り計画]プログラムで、パターン1のデータを読み込み、区画を修正してパターン3(右図参照)の宅地割り計画データを入力する操作を解説します。

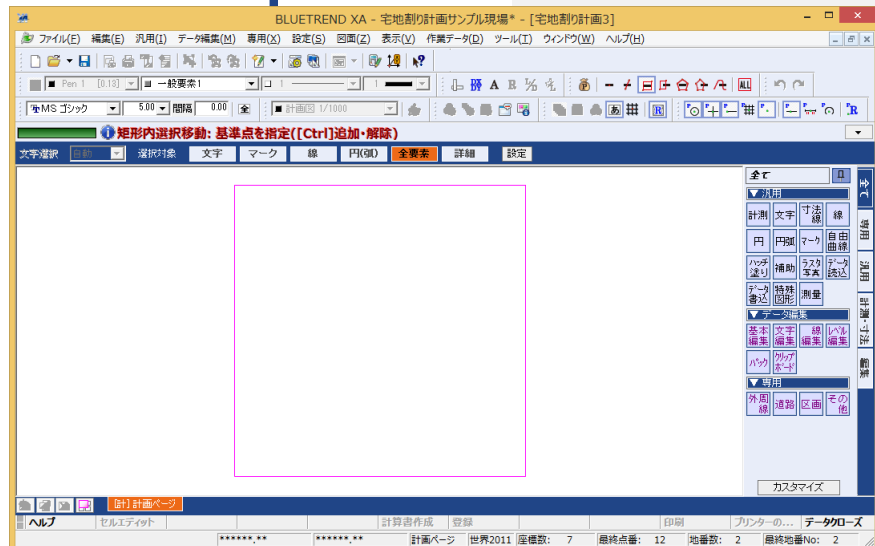


## 9-1 [宅地割り計画]を起動する

[宅地割り計画]を起動します。



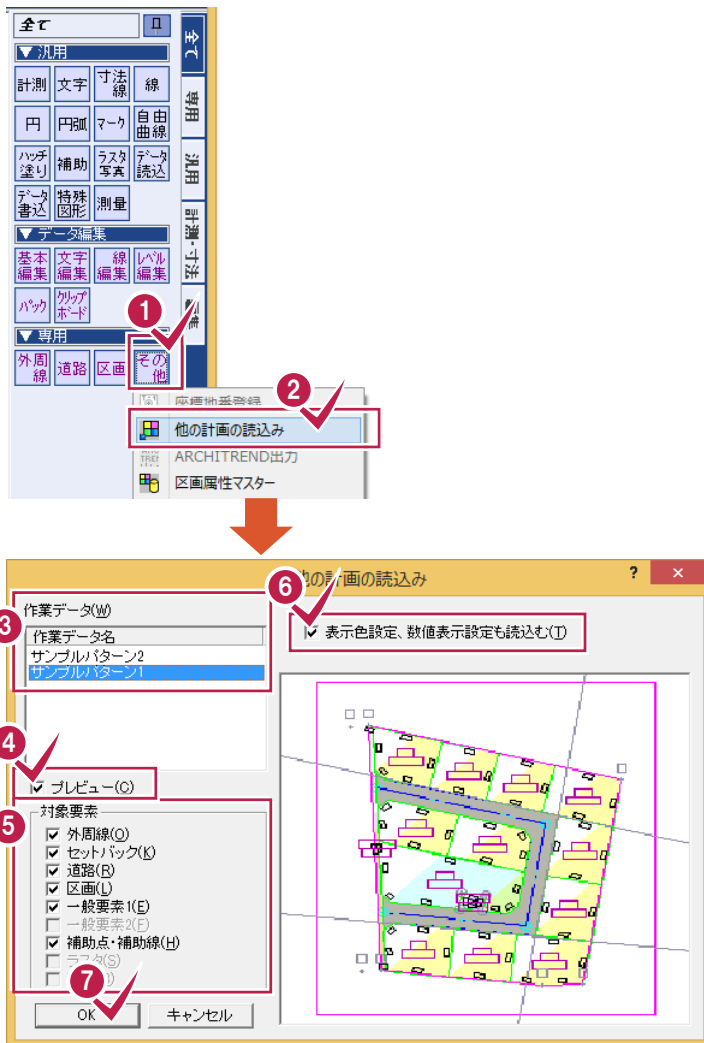
- 1 メインメニューで[CAD]の[宅地割り計画]が選択されていることを確認して、作業データ一覧の上部に配置されている[新規作成]をクリックします。  
[宅地割り計画]ウィンドウが表示されます。





パターン1の計画データを読み込みます。

入力例では、区画を変更するので、外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線のデータを読み込みます。



1 [専用]グループの[その他]をクリックします。

2 [他の計画の読み込み]をクリックします。

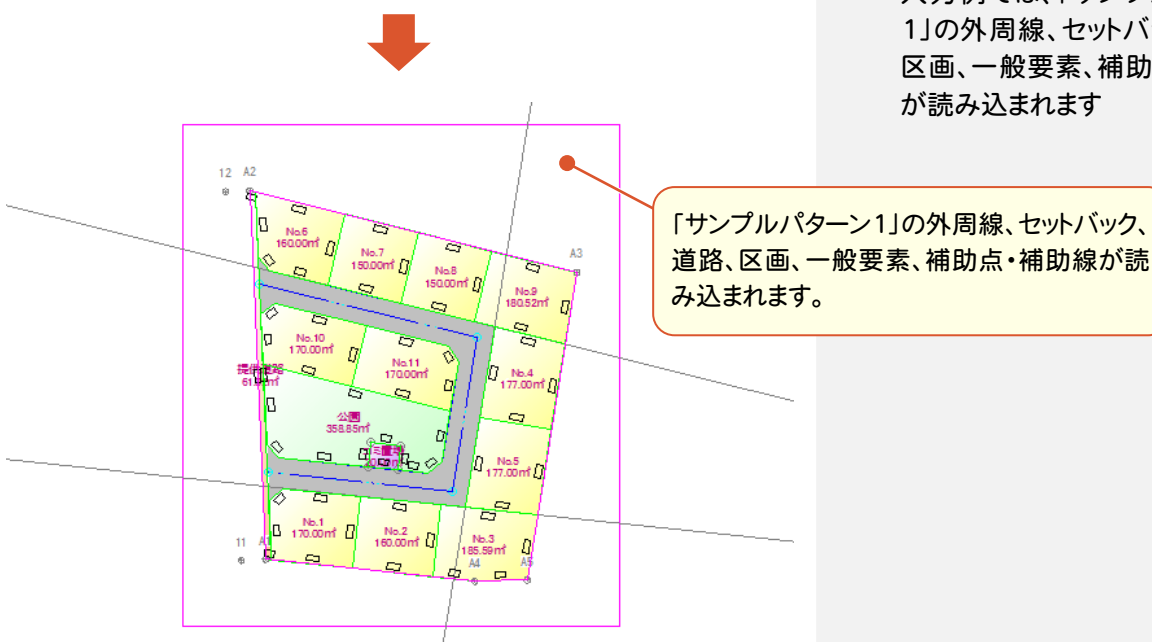
3 [作業データ]で読み込む作業データを選択します。  
ここでは、「サンプルパターン1」が選択されていることを確認します

4 [プレビュー]をクリックしてチェックをオンにします。  
右側に選択されている作業データがプレビュー表示されます

5 [対象要素]で読み込む要素のチェックをオンにします。

6 [表示色設定、数値表示設定も読み込む]のチェックをオンにします。

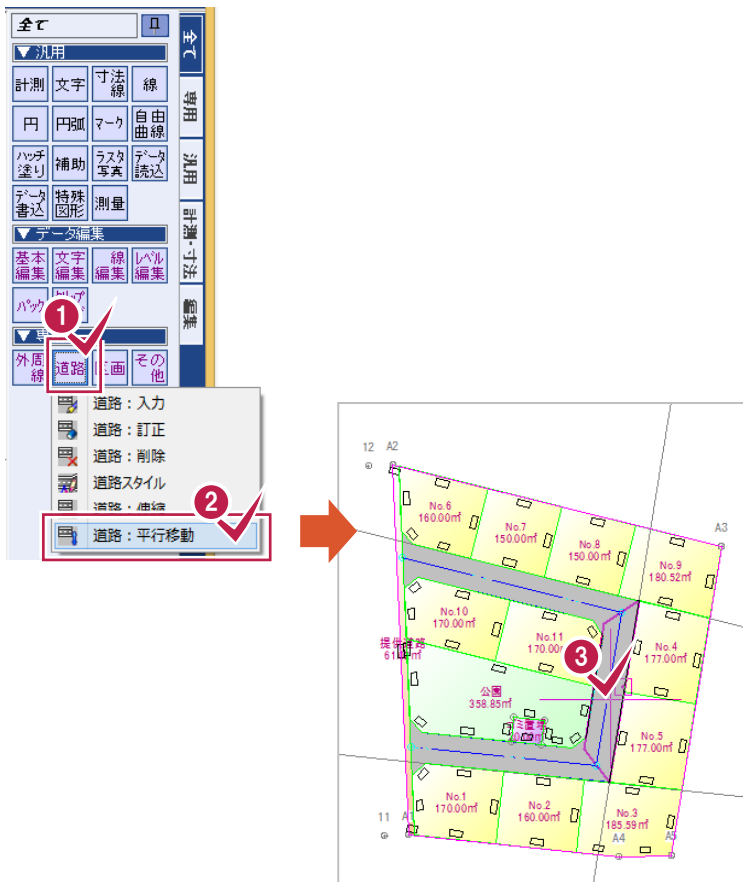
7 [OK]をクリックします。  
入力例では、「サンプルパターン1」の外周線、セットバック、道路、区画、一般要素、補助点・補助線が読み込まれます



# 9-3

## 道路を移動する

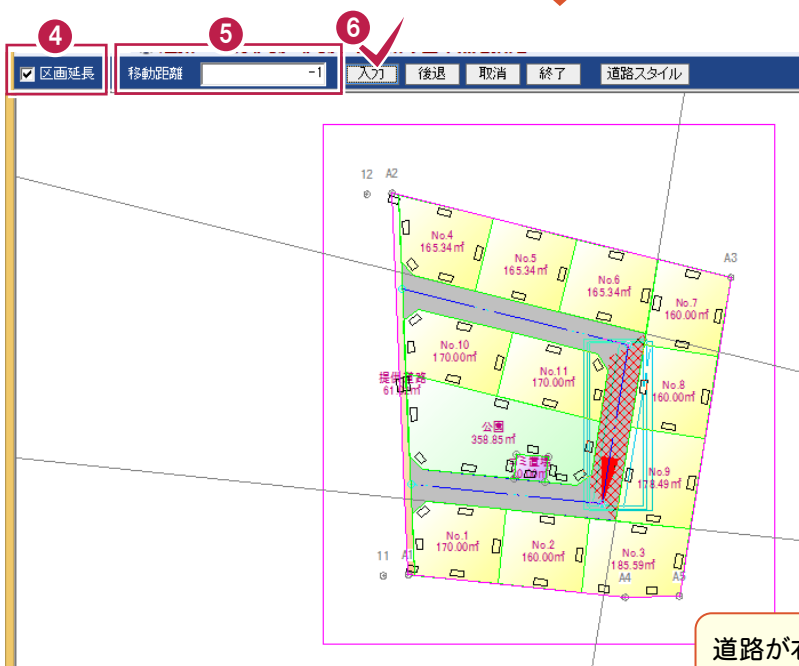
道路を移動します。  
ここでは、読み込んだパターン1の道路を右側に1m移動します。



- 1 [専用]グループの[道路]をクリックします。
- 2 [平行移動]をクリックします。
- 3 平行移動する道路をクリックします。

- 4 入力例では、道路を平行移動する際に隣接する区画も延長するので、[区画延長]のチェックをオンにします。

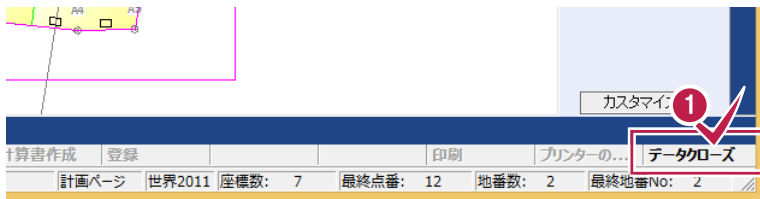
- 5 6  
インプットバーの[移動距離]に「-1」と入力し、[入力]をクリックします。  
道路が右側に1m移動して、右側の区画が自動修正されます。



道路が右側に1m移動して、右側の区画が延長されます。

## 9-4

# [宅地割り計画]を終了する

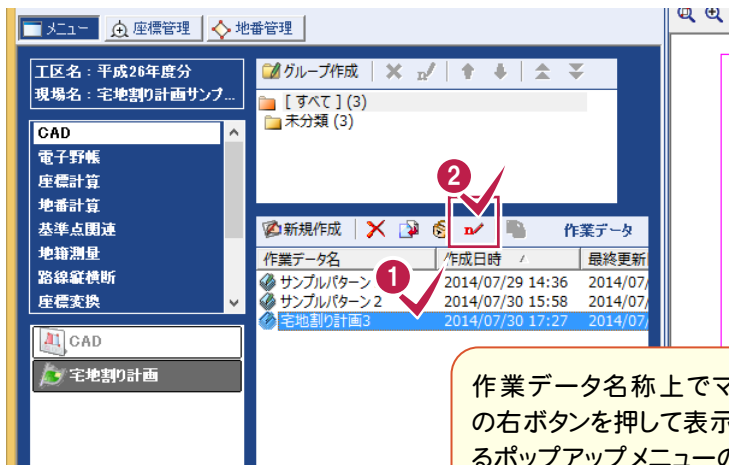


- 1 [データクローズ]を、クリックします。

## 9-5

# 作業データ名を変更する

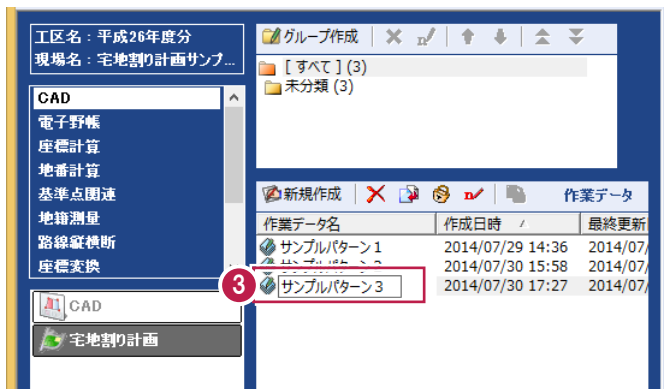
作業データ終了時に自動で名前がつけられますが、管理しやすいように作業データ名を変更しておくことをお勧めします。入力例では、自動でつけられた「宅地割り計画3」を「サンプルパターン3」という名前に変更する例で解説します。



作業データ名称上でマウスの右ボタンを押して表示されるポップアップメニューの[名前の変更]コマンドでも同様。

- 1 名前を変更する作業データを、クリックして選択します。
- 2 作業データ一覧の上部に配置されている[データ名称変更]をクリックします。選択されている作業データ名称において、文字列入力可能状態になります。

- 3 変更後のデータ名称(入力例では、「サンプルパターン3」)を入力して、Enterキーを押します。



メモ

### データの保存について

BLUETREND XA での作業データはメモリ上に保存されているため、[ファイル]-[名前を付けて保存]コマンドもしくは[ファイル]-[上書き保存]コマンドを実行するまでハードディスクに保存されていません。ハードディスクに保存せず、BLUETREND XA を終了したり、コンピューターの電源を切ったりすると、データは消滅します。ハードディスクなどの記憶装置に保存するためには、[ファイル]-[名前を付けて保存]コマンドもしくは[ファイル]-[上書き保存]コマンドを実行してください。

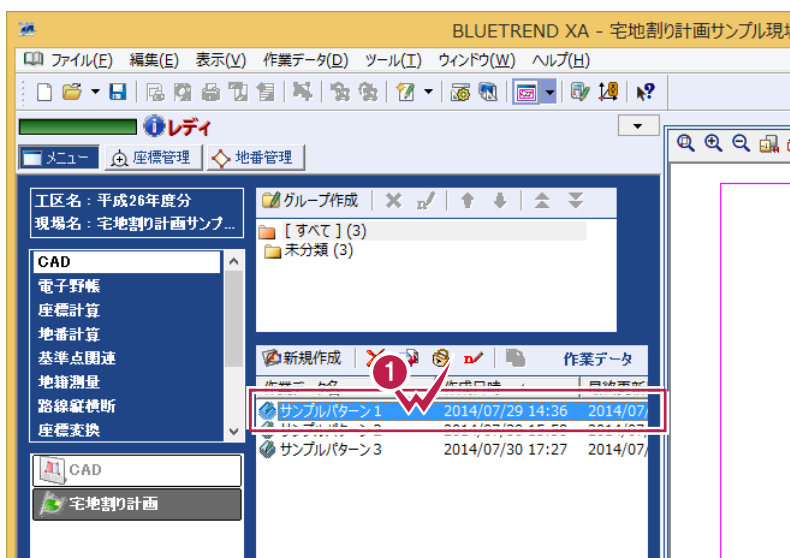
ただし、作業データ単位での保存はできません。複数の作業データを1つの現場データとして保存します。現場データの保存については、「現場データの保存」(P.75)を参照してください。

# 10 図面の自動作成

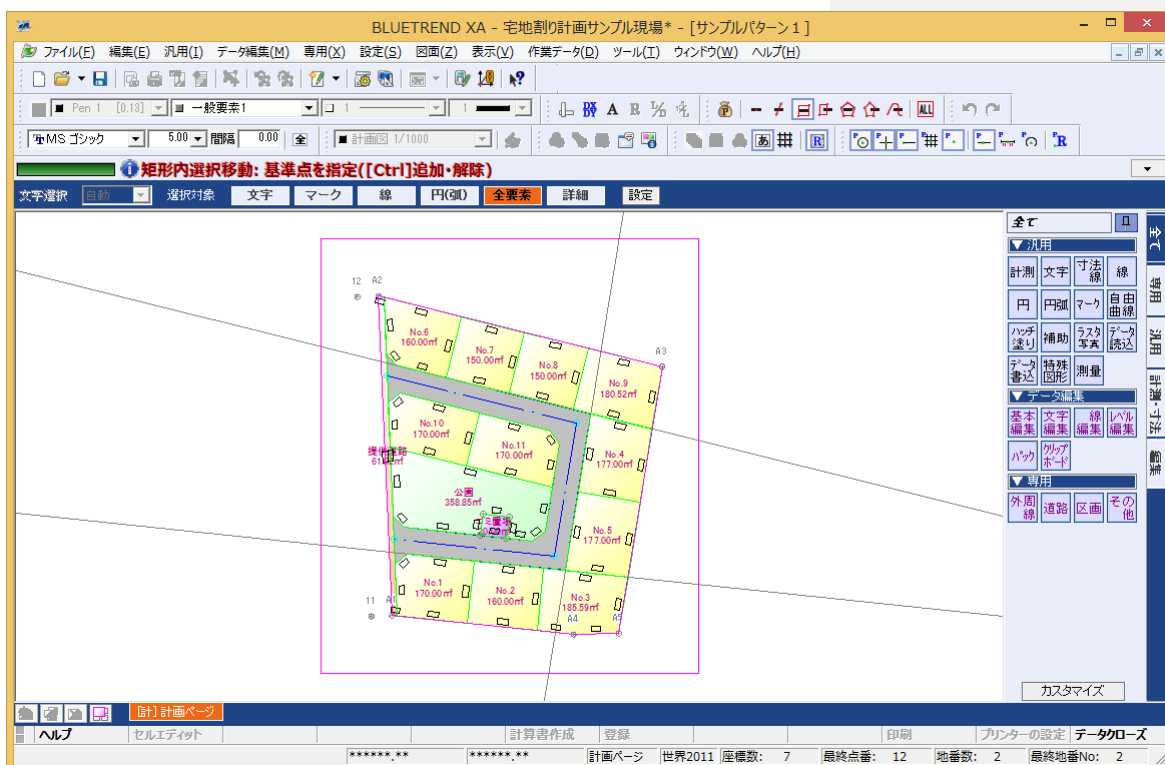
入力した宅地割り計画データを基に図面を作成します。  
ここでは、パターン1の図面を作成する操作を解説します。

## 10-1 [宅地割り計画]を起動する

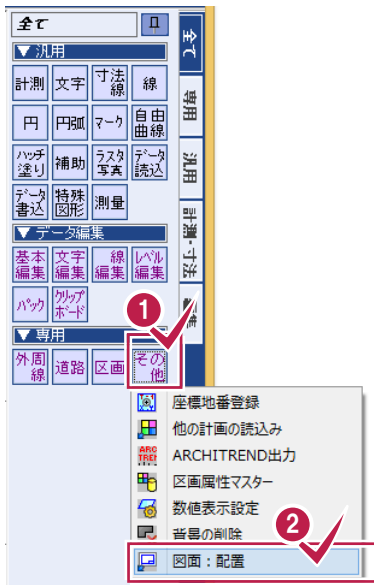
「サンプルパターン1」を選択して、「宅地割り計画」を起動します。



1 「サンプルパターン1」をダブルクリックして、「宅地割り計画」を起動します。



図面を自動で描かせるために図面スタイル(線の太さ、文字のサイズ、フォントなど)を設定します。



1 [専用]グループの[その他]をクリックします。

2 [配置]をクリックします。

3 [スタイル]をクリックします。  
[図面スタイル]ダイアログが表示されます。

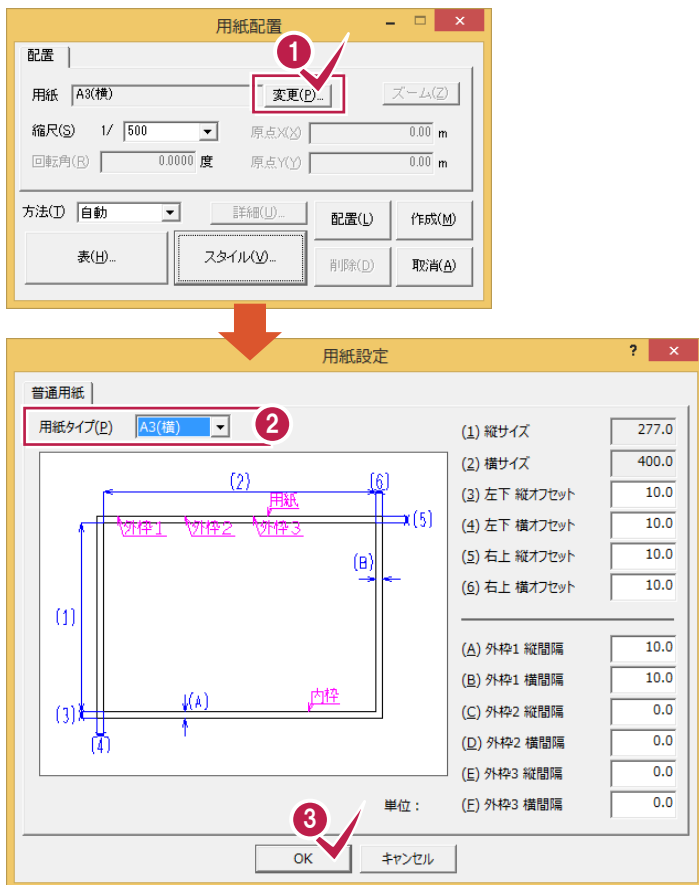
4 結線、マーク、区画記号、辺長などのスタイルを設定します。  
ここでは、確認のみとします。

5 設定を終了したら、[OK]をクリックします。  
[用紙配置]ダイアログへ戻ります。

## 10-3 図面を配置する

用紙サイズ、縮尺、表を設定し、配置位置を決定して図面を配置します。

### 用紙サイズを設定する



- 1 [用紙配置]ダイアログの[用紙]の[変更(B)]をクリックします。
- 2 [用紙タイプ]を設定します。  
ここでは、[用紙タイプ]が「A3(横)」に設定されていることを確認します。
- 3 [OK]をクリックします。

### 表を設定する



- 1 [表]をクリックします。
- 2 [表を配置する]のチェックがオンであることを確認して、表示する項目、表属性などを設定します。  
ここでは、確認のみとします。
- 3 [OK]をクリックします。

## 用紙に割り付ける

縮尺、配置方法を設定して、図面を用紙に割り付けます。

1 縮尺(S) 1/250 原点(X) 0.00 m  
回転角(B) 0.0000 度 原点(Y) 0.00 m

2 方法(C) CAD指定 詳細(D)... 配置(L) 作成(M)

3 詳細(D)...

4 配置詳細設定(CAD指定)

5 基準点  
左下(1) 右上(3)  
左下(2) 右下(4)  
方向  
0度固定(0)  
方向指定(D)  
横(H) 縦(V)

6 配置(L) 作成(M)

7 用紙内側に図面が納まるように用紙枠を移動し、クリックで確定します。

用紙を割り付けるごとに、タブが増えていきます。

1 2

[縮尺]で「250」、[方法]で「CAD指定」を選択します。

3

[詳細]をクリックします。  
[配置詳細設定(CAD指定)]ダイアログが表示されます。

4 5

[基準点][方向]を確認して、[OK]をクリックします。  
[用紙配置]ダイアログへ戻ります。

6

[配置]をクリックします。

7

用紙内側に図面が納まるように用紙枠を移動し、クリックで確定します。

### メモ 用紙の割り付けをやり直す場合

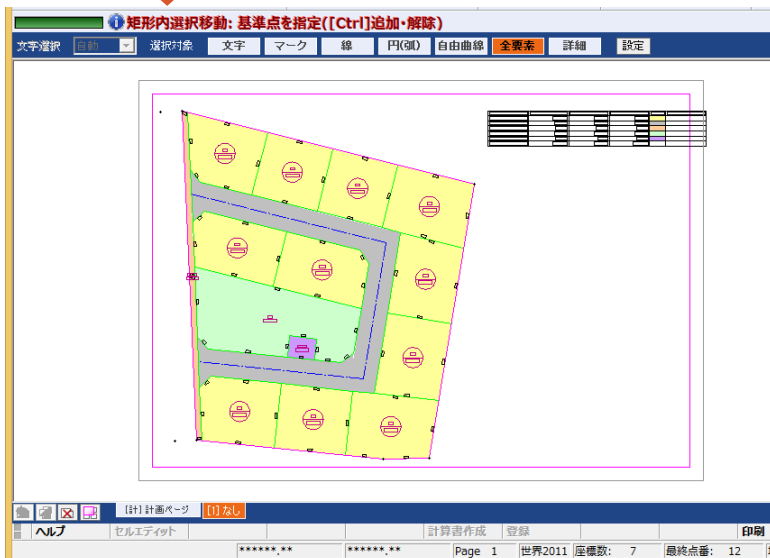
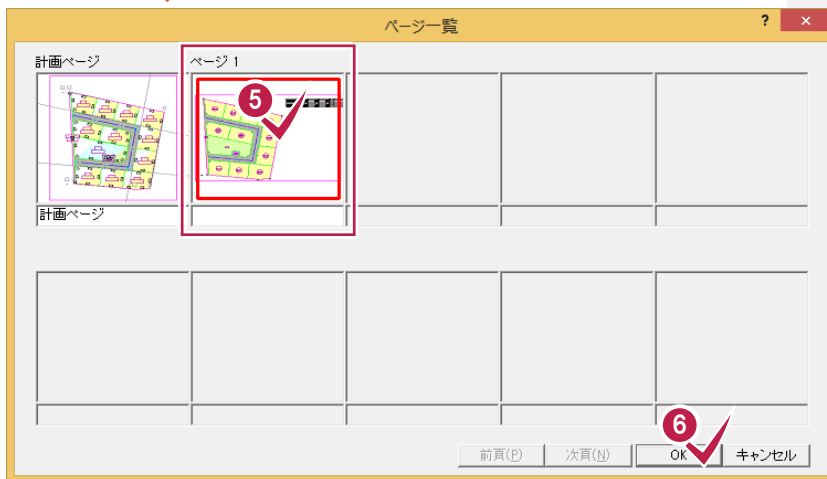
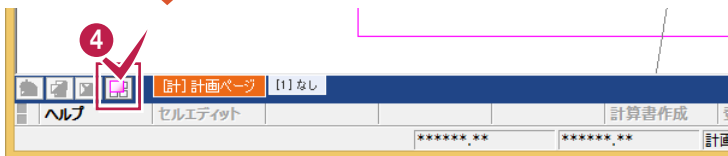
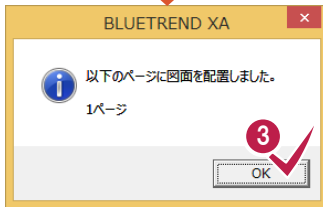
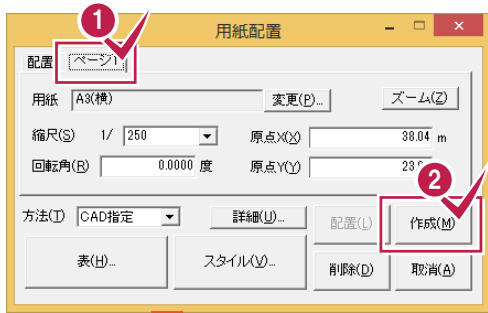
[配置]ボタンをクリックし用紙の割り付けを行うごとに、[用紙配置]ダイアログに配置した用紙(ページ)のタブが増えていきます。用紙の割り付けをやり直す場合は、再度用紙の割り付けを行うことをお勧めします。ページ削除を行う場合は、[ページ]タブをクリックしてから[削除]ボタンをクリックしてください。

10

図面の自動作成



## 図面を自動作成する



1 2

[ページ1]タブをクリックして、[作成]をクリックします。

図面が自動作成され、処理が終了すると確認のメッセージが表示されます。

3

[OK]をクリックします。

4

[ページ:一覧]のアイコンをクリックします。  
[ページ一覧]ダイアログが表示されます。

5 6

図面が自動作成されたページ(「ページ1」)をクリックして、[OK]をクリックします。

「ページ1」が表示されます。



# 11 図面の編集

[図面]-[配置]コマンドで図面を自動作成した後は、図面の細かい編集を行います。  
入力例では、線を引く、文字を入力する、寸法線を入力する、重なっている文字を移動する、表を移動する、方位マークを入力するなど、汎用CADの機能を使って図面を仕上げる流れで解説します。

## 11-1 線を入力する

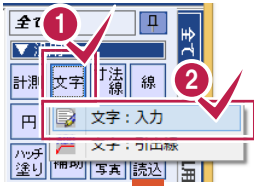
1 [汎用]グループの[線]をクリックします。

2 [入力]をクリックします。

3 4 線の始点、終点をクリックします。

5 [終了]をクリックします。

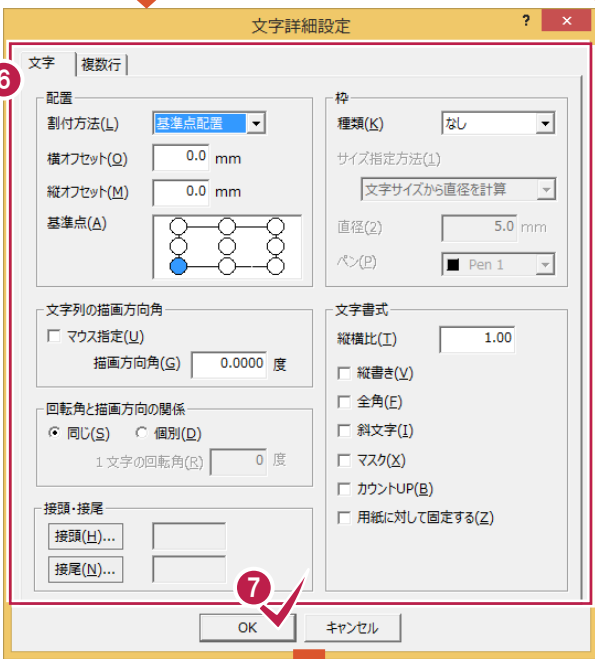
# 11-2 文字を入力する



- 1 [汎用]グループの[文字]をクリックします。
- 2 [入力]をクリックします。



- 3 [汎用]グループの[文字]をクリックします。
- 4 [参照]をクリックします。

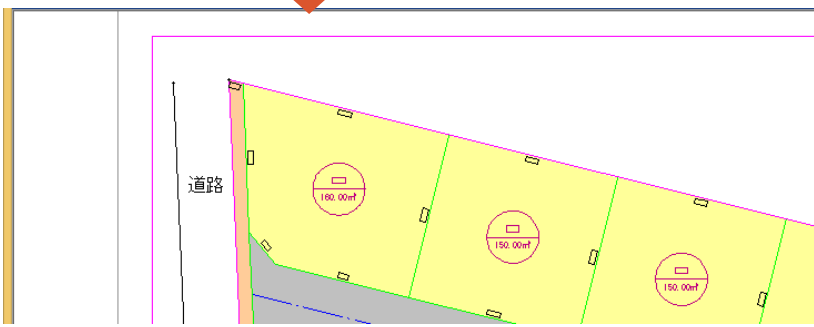
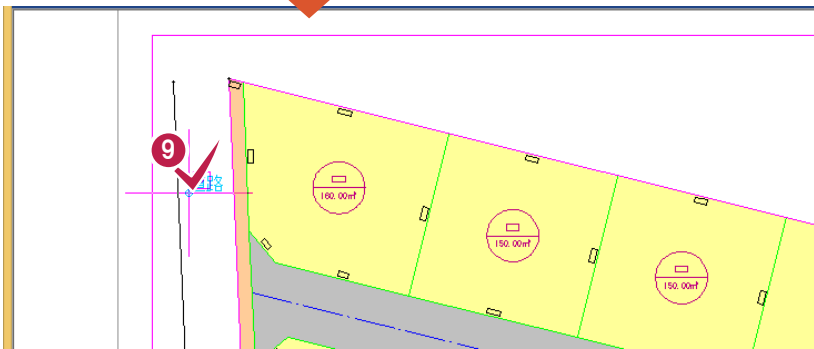


[文字列参照]をクリックし、画面に配置済みの文字を指定することにより、その文字列が自動で入力されます。

- 3 4 配置する文字を入力し、[フォント][サイズ][間隔]などを設定します。本書では「道路」と入力します。
- 5 [詳細設定]をクリックします。
- 6 文字配置方法、円文字など文字配置に関する各種詳細設定を行います。ここでは、確認のみとします。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 [ピックモード: 交点][ピックモード: 線上]のアイコンをクリックしてオフにします。



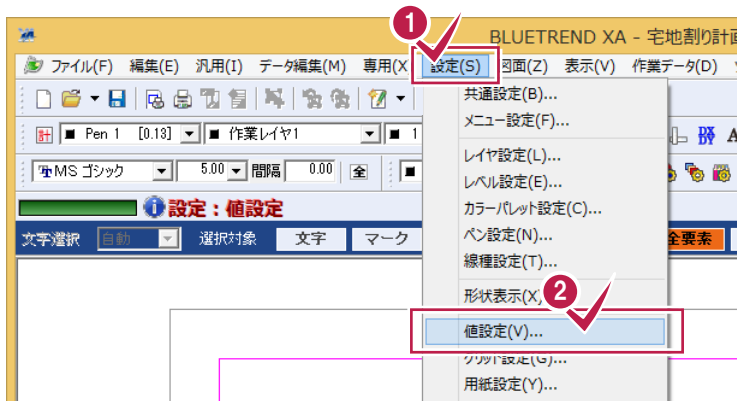
- 9 詳細設定で設定されている基準点位置にマウスカursorが表示されますので、配置する位置をクリックします。



11 図面の自動作成

# 11-3 寸法線を入力する

道路幅の寸法線を入力します。  
 入力例では、[寸法]-[要素と点の距離]を使用して解説します。



1 2  
 [設定]-[値設定]をクリックします。

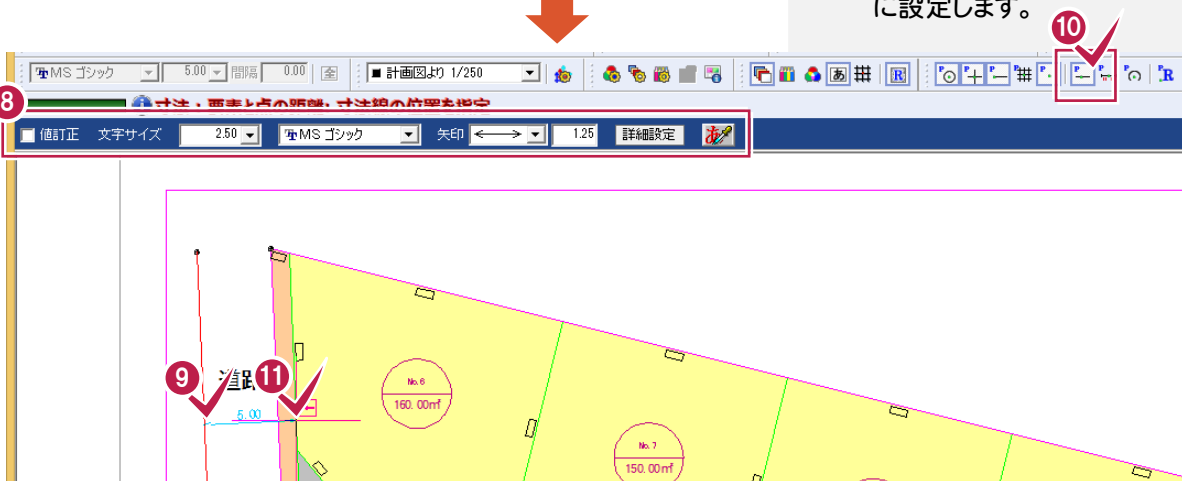


3 4  
 [寸法]タブをクリックして[距離]の桁数を「2桁」に設定します。

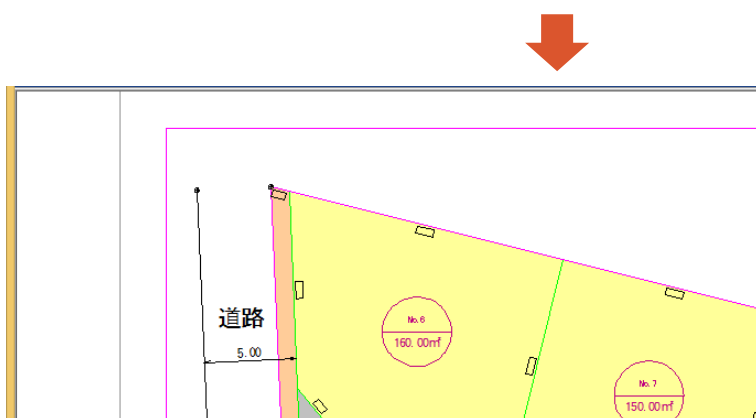
5 [OK]をクリックします。

6 7  
 [汎用]グループの[寸法線]-[要素と点の距離]をクリックします。

8  
 インputバーで、寸法文字の大きさや、矢印の形などを設定します。  
 ここでは、[文字]のサイズを「2.50」に設定します。



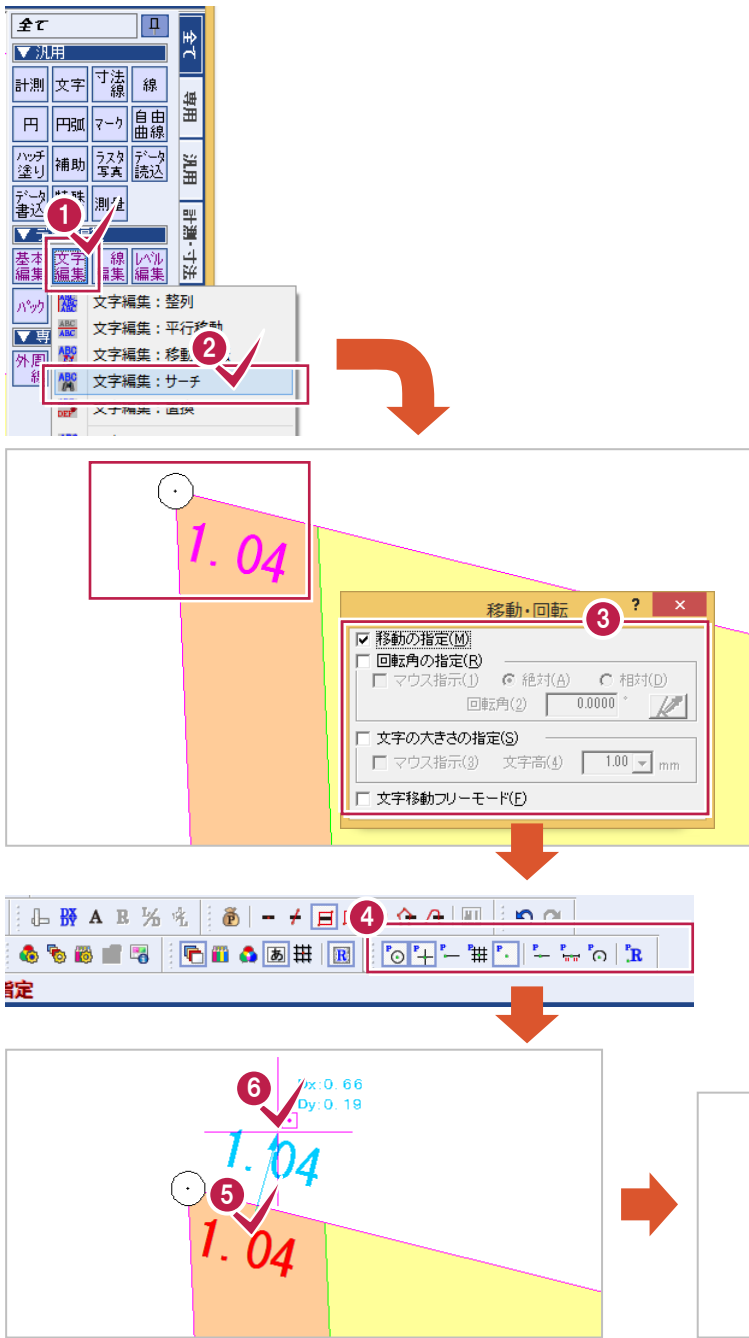
10



9 10 11  
 寸法線を入力する道路線をクリックして、[ピクモード:線上]のアイコンをクリックしてオンにし、寸法線を入力する位置をクリックします。

11  
 図面の自動作成

重なっている文字列を[文字編集]-[サーチ]ですべて移動します。



1 2

[データ編集]グループの[文字編集]-[サーチ]をクリックします。  
[移動・回転]ダイアログが表示され、対象文字列が作業ウィンドウの中心となるように拡大表示されます。

3

[文字移動時の配置方法を設定]します。  
ここでは、確認のみとします。

4

[ピックアップモード:端点][ピックアップモード:線上]のアイコンをクリックしてオフにします。

5 6

重複文字がなくなるまで、上記①～⑥の操作を繰り返します。  
重複文字がなくなると、メッセージが表示されます。

7

用紙内側に図面が納まるように用紙枠を移動し、クリックで確定します。

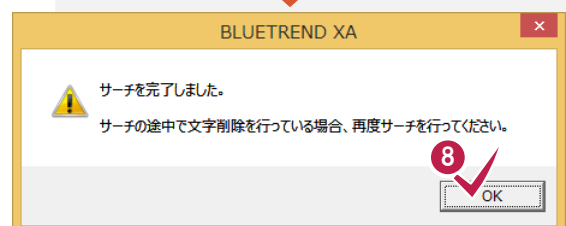
8

[OK]をクリックして終了します。

7

重複文字がなくなるまで[サーチ]コマンドを実行。

8



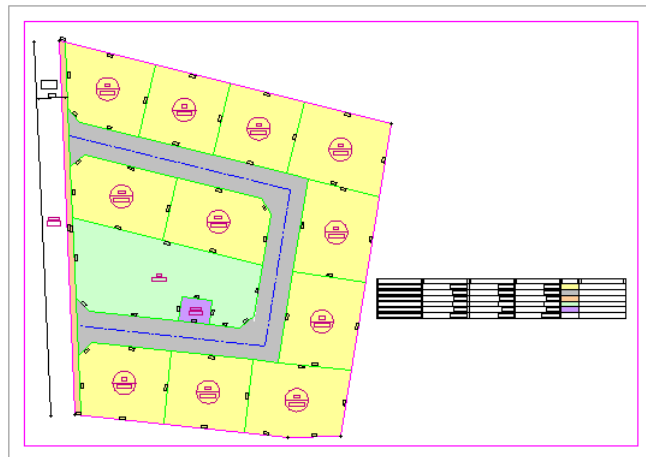
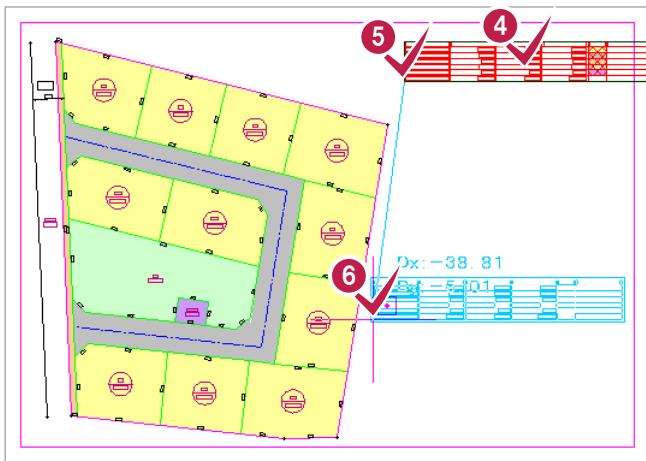
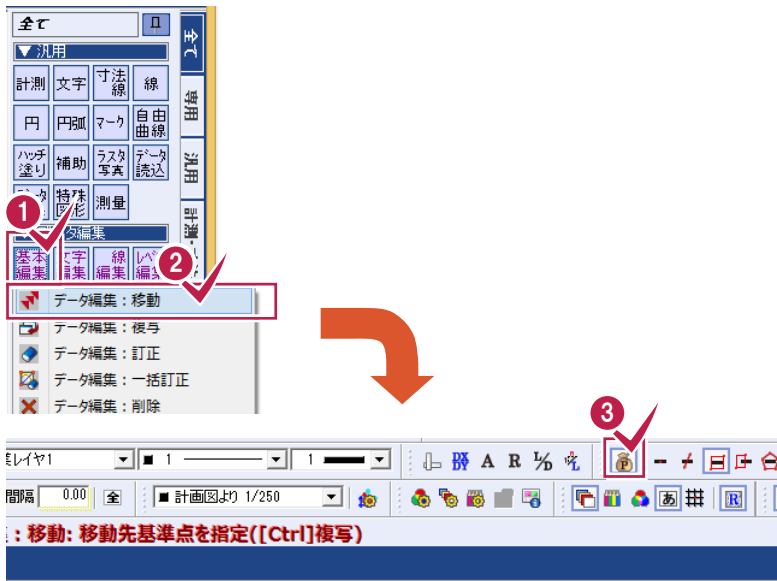
メモ

以前使ったコマンドを使う場合

右クリックで表示されるポップアップメニューで、最大 5 回まで以前に使用したコマンドの履歴が残ります。[サーチ]コマンドなど連続して実行する場合に使用すると便利です。



表を[基本編集]-[移動]で移動します。



1 2

[データ編集]グループの[基本編集]-[移動]をクリックします。

3

表はパック化されているので、[パック指定]のアイコンをクリックしてオンにします。

4 5 6

表をクリックし、移動元の基準点、移動先の基準点をクリックします。

7

表の移動が終了したら、[パック指定]のアイコンをクリックしてオフに戻します。

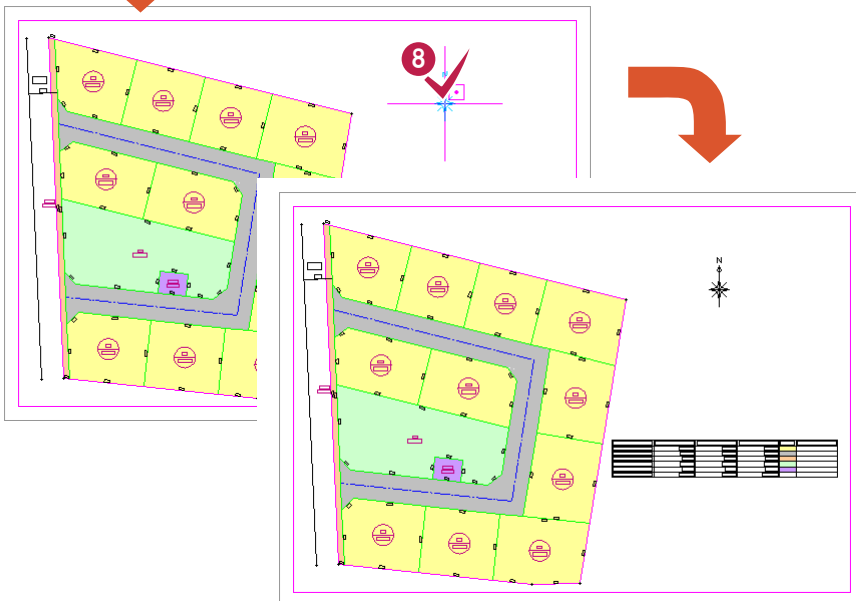
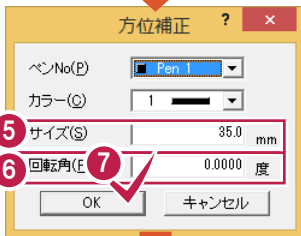
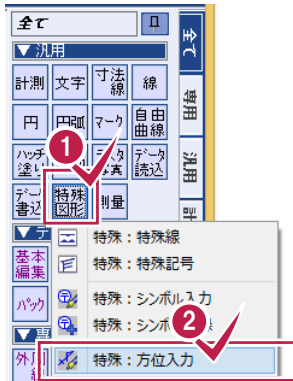
**メモ** 表の編集について

表は、[データ編集]-[パック]-[解除]でパックを解除することもできます。

表の[備考]に文字列を入力して、表のパック化に追加した場合は、[データ編集]-[パック]-[入力]を実行してください。

# 11-6 方位マークを入力する

方位マークを[特殊・測量]-[方位入力]で入力します。



1 2

[汎用]グループの[特殊図形]-[方位入力]をクリックします。

3 4

配置する方位マークをクリックして選択し、[配置]をクリックします。

5 6

[サイズ]に表示させたい大きさをmm単位で入力し(入力例では初期値)、[回転角]に方位マークの回転角度を入力します。(初期値には図面の回転角が連動します。)

7

[OK]をクリックします。

8

配置する位置をクリックします。

# 12 現場データの保存

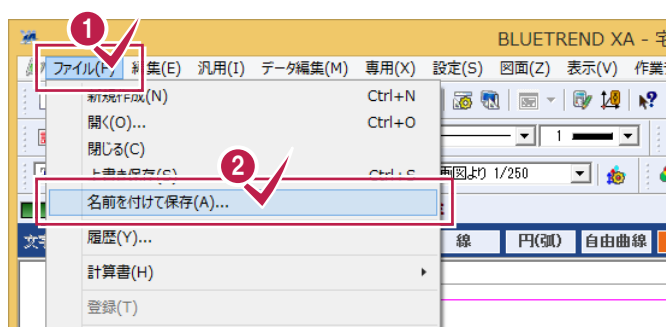
BLUETREND XAでの作業データはメモリ上に保存されているために、[ファイル]－[名前を付けて保存]コマンドもしくは[ファイル]－[上書き保存]コマンドを実行するまでハードディスクに保存されていません。ハードディスクに保存せずに、BLUETREND XAを終了したり、コンピューターの電源を切ったりするとデータが消滅します。

[上書き保存]と[名前を付けて保存]の違いは、現場ファイル名を変えずにそのとき保存するか、名前を変えて別ファイルに保存するかです。新規の現場データでは[名前を付けて保存]、内容を変更してそのまま保存する場合は、[上書き保存]を選択します。

こまめに保存することで、不慮の事故によってシステムダウンした場合に影響が少なく済みます。作業データを入力・変更したとき、各作業を終了するたびに保存することをお勧めします。

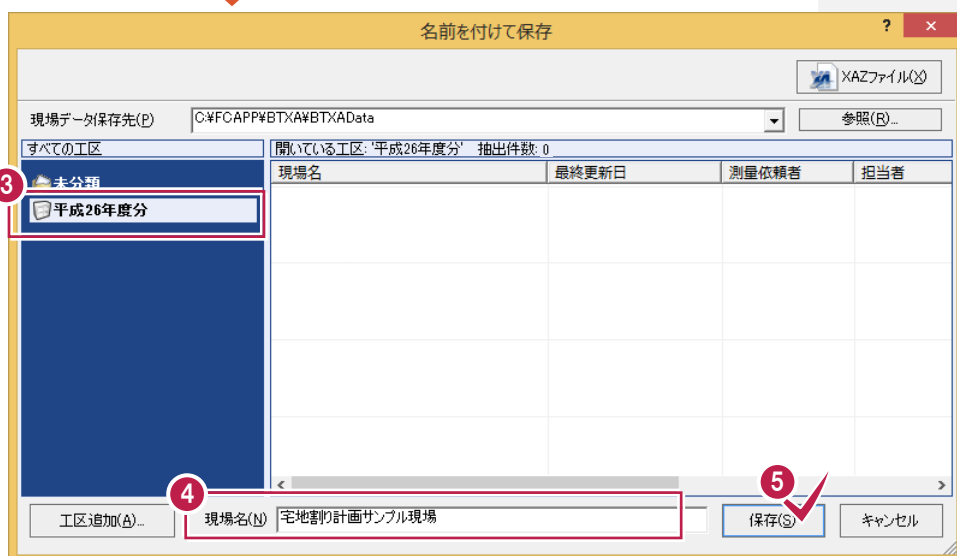
ただし、作業データ単位での保存はできません。[ファイル]－[名前を付けて保存]コマンドを実行して複数の作業データを1つの現場データとして保存します。

## 12-1 現場データを保存する



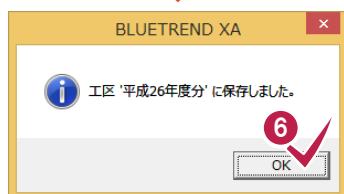
1 2  
[ファイル]－[名前を付けて保存]をクリックします。

3 4  
[工区][現場名]などを確認します。



5 [保存]をクリックします。

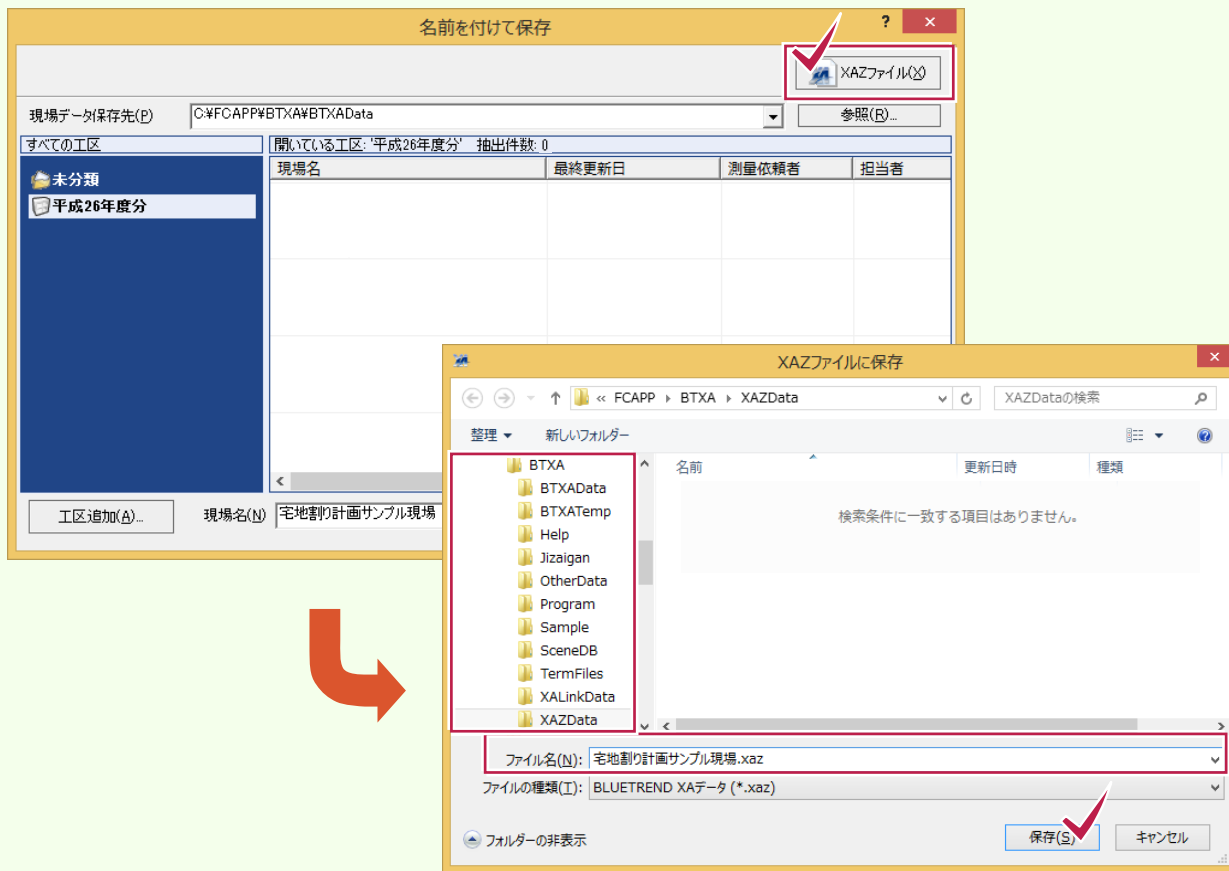
6 [OK]をクリックします。





## XAZ ファイルについて

[名前を付けて保存]ダイアログで[XAZ ファイル]を選択すると、データを xaz 形式に圧縮して指定したフォルダーに保存することができます。



## 上書き保存について

上書き保存を実行すると、前回保存したデータに上書きされ、前回のデータはなくなります。

前回のデータを残す場合は、[ファイル]—[名前を付けて保存]コマンドを使用してください。

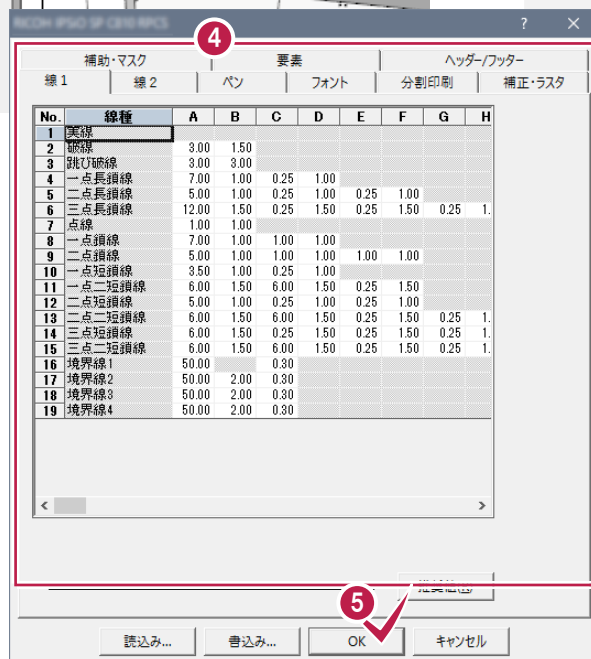
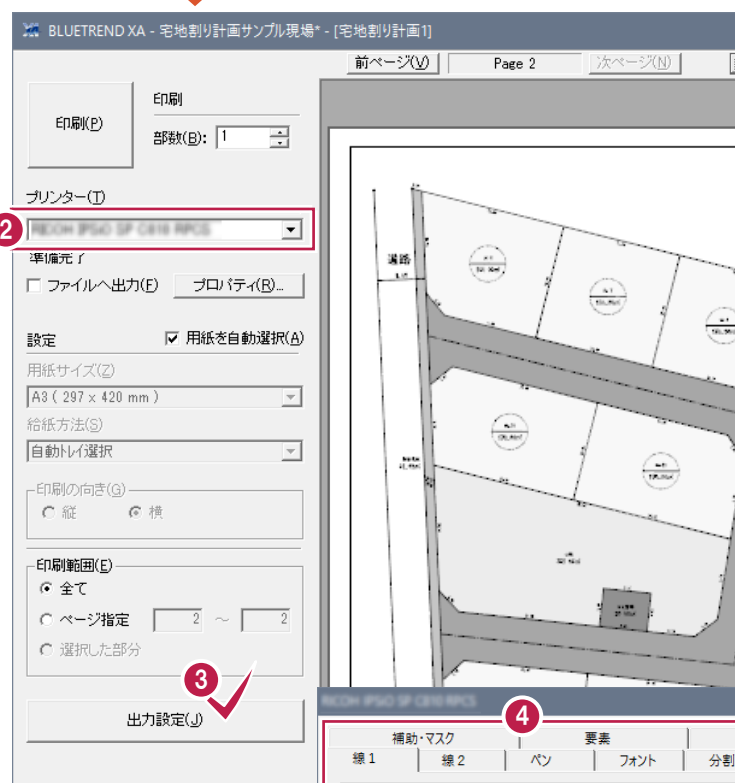
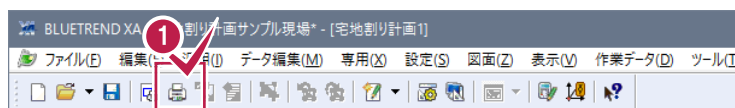


# 13 図面の印刷

作成した図面を印刷します。

入力例では、[ファイル]–[印刷]コマンドでプリンターへ出力します。

## 13-1 図面を印刷する



1 [印刷]のアイコンをクリックします。  
[印刷]ダイアログが表示されます。

2 3 [プリンター名]ボックスで、使用するプリンターを選択して、[出力設定]をクリックします。  
選択したプリンターの出力設定に関するダイアログが表示されます。

4 5 各タブをクリックして、プリンターの出力設定を確認し[OK]をクリックします。

6 [印刷]をクリックします。  
印刷が実行されます。

